

基準6 教育の成果

資料6-1-①-1

2013/8/6

JABEE プログラム修了学生の認定について

JABEE プログラム修了の認定については、2013 年度第1回 JABEE 委員会での申し合わせに基づき、次のように行う。

- ①専攻科委員会は、複合システムデザイン工学プログラムおよび建築学プログラムそれぞれの修了要件を満たす履修者を確認し、JABEE 委員会にプログラム修了候補者として推薦する。
- ②JABEE 委員会は、専攻科委員会から推薦されたプログラム修了候補者がそれぞれの教育プログラムの修了要件を満たし、学習教育目標を達成していることを確認のうえ、プログラム修了者として認定する。

◆専攻科委員会において JABEE プログラム修了の認定に関わる学生の JABEE 委員会への推薦にあたっては、以下のように申合せらる。

1. 推薦を受けようとする学生から JABEE プログラム修了認定申請書が提出されていること。
2. 推薦を受けようとする学生について履修する教育プログラムの修了要件を満たしていること。
 - a) 複合システムデザイン工学プログラム履修学生については、専攻科委員会で修得単位を確認する。
 - b) 建築学プログラム履修学生については、あらかじめプログラム担当者会議でプログラム修了要件を満たすことの確認を行って、専攻科委員会に報告する。
3. 推薦を受けようとする学生から学位記のコピーが提出され学位の取得が確認できること。
4. JABEE 委員会への推薦は、特別な理由がない限り、前・後期各1回とする。

◆JABEE 委員会において、JABEE プログラム修了の認定に関わる学生の修了認定にあたっては、以下のように申合せらる。

1. 専攻科委員会から JABEE 修了候補者の推薦があれば、JABEE 委員会を招集し、当該候補者の修了認定を行う。
2. それぞれの JABEE 修了候補者について、プログラム修了要件を満たし、プログラムの学習・教育目標を達成していることを確認のうえ、JABEE 修了を認定する。

(出典 平成 26 年 4 月 15 日 専攻科委員会資料)

資料6-1-①-2

達成状況の自己点検(機械工学科-生産システム工学専攻)

学籍番号 _____ 氏名 _____

(チェック方法)

1. 修得した科目に○印を付ける。(修得=成績が60点以上、追認試験で合格した科目も○)
2. 各項目(A-1など)の中で1科目以上修得していれば、達成の欄に○印を付ける。
3. これまでの学修を振り返り、今後の学修計画を立てる。

学習・教育到達目標	本科				専攻科						
	4年	修得	5年	修得	達成	1年	修得	2年	修得	達成	
(A) 技術者としての基礎力	(A-1)	○保健・体育Ⅳ◆		○保健・体育Ⅴ◆			△応用数学特論◆				
		○応用数学Ⅰ					△健康科学特論◆				
		○応用数学Ⅱ					△現代物理◆				
		○応用物理Ⅱ									
		△解析Ⅲ◆									
	(A-2)	△文学Ⅰ◆					△日本語表現技法◆				
		△文学Ⅱ◆					△人文社会特論◆				
		△文学Ⅲ◆					△コミュニケーション特論◆				
		△文学Ⅳ◆									
		△社会科学Ⅰ◆									
	(A-3)	△社会科学Ⅱ◆									
		△社会科学Ⅲ◆									
							◎情報技術特論※				
	(A-4)	○材料力学Ⅱ		○機械動力学			△応用電磁工学		△計算機システム工学		
		○機械振動学		○流体力学			△回路網理論		△知的制御システム		
		○水力学		○熱工学			△システム制御特論		△ロボット工学		
○工業熱力学			○生産システム工学			△固体物性論		△材料強度・材料組織学			
○機械材料学Ⅱ			○アクチュエータ工学			△流体力学特論		△トライボロジー・摩擦特論			
○機械工作法Ⅲ			○計測工学			△品質管理工学		△量子電子工学			
○メカトロニクス			○制御工学			△ソフトコンピューティング		△音響振動学			
○機械設計法			△材料力学Ⅲ			△通信ネットワーク特論					
			△エネルギー機械			△応用ソフトウェア開発					
			△材料工学			△アナログ電子回路					
			△応用情報処理			△デジタル信号処理					
						△弾塑性力学					
						△熱・物質移動論					
						△生産・精密工学					
(B) 持てる知識を使う応用力		(B-1)	◎機械工学実験実習Ⅳ		◎機械工学実験実習Ⅴ						
			◎設計製図Ⅱ		◎設計製図Ⅲ						
	(B-2)	○機械工学実習Ⅰ		◎卒業研究☆							
(B-3)								◎創造実験※☆			
(C) 社会と自らを高める発展力	(C-1)	△校外実習☆		◎卒業研究☆		◎生産システム工学特別研究Ⅰ☆		◎生産システム工学特別研究Ⅱ☆			
	(C-2)					◎生産システム工学特別実習☆					
(D) 地球の一員としての倫理力	(D-1)			○環境科学		◎社会技術論※					
	(D-2)			○技術者倫理		◎知的財産権特論※					
(E) 社会とかかわるためのコミュニケーション力	(E-1)	○英語総合演習◆		△実用工業英語◆		◎上級英語演習※					
		○独語◆		△英米文学◆		◎専攻英語講読					
				△英語会話◆							
				△英語演習◆							
				△時事英語◆							
				△コミュニケーション◆							
				△独語講読◆							
			△中国語◆								
	(E-2)			◎卒業研究☆		◎生産システム工学特別実習☆		◎創造実験※☆			
	(E-3)	△校外実習☆		◎卒業研究☆		◎生産システム工学特別研究Ⅰ☆		◎生産システム工学特別研究Ⅱ☆			
					◎生産システム工学特別実習☆		◎技術表現技法				
					△インターンシップ☆		◎創造実験※☆				

凡例 ◎ 必修科目、○ 履修科目、△ 選択科目、● コース履修科目、◆ 一般科目、※ 専攻共通科目
☆ 複数の達成に関わる科目

(プログラム修了要件)

・複合システムデザイン工学プログラムを修了するためには、(A-1)~(E-3)の学習・教育到達目標をすべて達成する必要があります。

(出典 専攻科資料)

表4 学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ

複合システムデザイン工学プログラム 科目系統図(機械工学科-生産システム工学専攻)(H26年度 本科4・5年生、専攻)

学習教育目標	本科4年		本科5年		専攻科1年		専攻科2年	専攻科修了要件	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期		
(A) 技術者としての基礎力	(A-1) <ul style="list-style-type: none"> ○保健・体育Ⅳ◆ ○応用数学Ⅰ ○応用数学Ⅱ ○応用物理Ⅱ △解析Ⅲ◆	△文学Ⅰ◆ △文学Ⅱ◆ △社会科学Ⅰ◆ △社会科学Ⅱ◆ △社会科学Ⅲ◆	△文学Ⅲ◆ △文学Ⅳ◆ △社会科学Ⅰ◆ △社会科学Ⅱ◆ △社会科学Ⅲ◆	○保健・体育Ⅴ◆ △応用数学特論◆ △健康科学特論◆	△日本語表現法◆ △人文学社会特論◆ △コミュニケーション特論◆	◎情報技術特論※ ◎応用計測工学※ ◎材料サイエンス※ ◎一般工業力学※	△計算機システム工学 △知的制御システム △ロボティクス △アナログ電子回路 △デジタル信号処理 △弾塑性力学 △熱・物質移動論 △生産・精密加工学	△量子電子工学 △音響振動工学	3科目中2科目以上修得 3科目中1科目以上修得 4科目必修 21科目中9科目以上修得
(B) 持てる知識を使う応用力	(B-1) <ul style="list-style-type: none"> ◎機械工学基礎実習Ⅳ ◎設計製図Ⅱ ○機械工学演習Ⅰ (B-2) <ul style="list-style-type: none"> ○卒業研究 (B-3) <ul style="list-style-type: none"> ○卒業研究 	○材料力学Ⅱ ○機械振動学 ○水力学 ○工業熱力学Ⅱ ○機械材料学Ⅱ ○機械工作法Ⅲ ○メカトロニクス ○機械設計法	○機構力学 ○流体力学 ○熱工学 ○生産システム工学 ○アクチュエータ工学 ○計測工学 ○制御工学 △材料力学Ⅲ △エネルギー機械 △材料工学 △応用情報処理	△応用電磁工学 △回路網理論 △システム制御特論 △固体物性論 △流体力学特論 △品質管理工学	◎情報技術特論※ ◎応用計測工学※ ◎材料サイエンス※ ◎一般工業力学※	△デジタル電子工学 △通信ネットワーク特論 △応用ソフトウェア開発 △アナログ電子回路 △デジタル信号処理 △弾塑性力学 △熱・物質移動論 △生産・精密加工学	△計算機システム工学 △知的制御システム △ロボティクス △材料強度・材料組織学 △トラバロジ-軸受特論	△量子電子工学 △音響振動工学	(本科で達成) (本科で達成) 1科目必修 1科目必修 3科目必修 1科目選択 1科目必修 1科目必修 1科目必修 2科目必修
(C) 社会と自らを高める差圧力	(C-1) △校外実習※ (C-2) <ul style="list-style-type: none"> ○英語総合演習◆ ○独語◆ 	○技術者倫理※ △実用工業英語◆ △英文文字◆ △英語会話◆ △英語演習◆ △時事英語◆ △コミュニケーション◆ △独語講読◆ △中国語◆ △韓国語◆ △工業英語 ◎卒業研究	◎機械工学基礎実習Ⅳ ◎設計製図Ⅱ ○機械工学演習Ⅰ ○卒業研究	◎情報技術特論※ ◎応用計測工学※ ◎材料サイエンス※ ◎一般工業力学※	◎情報技術特論※ ◎応用計測工学※ ◎材料サイエンス※ ◎一般工業力学※	△デジタル電子工学 △通信ネットワーク特論 △応用ソフトウェア開発 △アナログ電子回路 △デジタル信号処理 △弾塑性力学 △熱・物質移動論 △生産・精密加工学	△計算機システム工学 △知的制御システム △ロボティクス △材料強度・材料組織学 △トラバロジ-軸受特論	△量子電子工学 △音響振動工学	(本科で達成) (本科で達成) 1科目必修 1科目必修 3科目必修 1科目選択 1科目必修 1科目必修 1科目必修 2科目必修
(D) 地球の一員としての倫理力	(D-1) <ul style="list-style-type: none"> ○英語総合演習◆ ○独語◆ (D-2) <ul style="list-style-type: none"> ○環境科学※ 	○技術者倫理※ △実用工業英語◆ △英文文字◆ △英語会話◆ △英語演習◆ △時事英語◆ △コミュニケーション◆ △独語講読◆ △中国語◆ △韓国語◆ △工業英語 ◎卒業研究	◎機械工学基礎実習Ⅳ ◎設計製図Ⅱ ○機械工学演習Ⅰ ○卒業研究	◎情報技術特論※ ◎応用計測工学※ ◎材料サイエンス※ ◎一般工業力学※	◎情報技術特論※ ◎応用計測工学※ ◎材料サイエンス※ ◎一般工業力学※	△デジタル電子工学 △通信ネットワーク特論 △応用ソフトウェア開発 △アナログ電子回路 △デジタル信号処理 △弾塑性力学 △熱・物質移動論 △生産・精密加工学	△計算機システム工学 △知的制御システム △ロボティクス △材料強度・材料組織学 △トラバロジ-軸受特論	△量子電子工学 △音響振動工学	(本科で達成) (本科で達成) 1科目必修 1科目必修 3科目必修 1科目選択 1科目必修 1科目必修 1科目必修 2科目必修
(E) 社会と関わるためのコミュニケーション力	(E-1) <ul style="list-style-type: none"> ○英語総合演習◆ ○独語◆ (E-2) △校外実習※ (E-3) △校外実習※	○技術者倫理※ △実用工業英語◆ △英文文字◆ △英語会話◆ △英語演習◆ △時事英語◆ △コミュニケーション◆ △独語講読◆ △中国語◆ △韓国語◆ △工業英語 ◎卒業研究	◎機械工学基礎実習Ⅳ ◎設計製図Ⅱ ○機械工学演習Ⅰ ○卒業研究	◎情報技術特論※ ◎応用計測工学※ ◎材料サイエンス※ ◎一般工業力学※	◎情報技術特論※ ◎応用計測工学※ ◎材料サイエンス※ ◎一般工業力学※	△デジタル電子工学 △通信ネットワーク特論 △応用ソフトウェア開発 △アナログ電子回路 △デジタル信号処理 △弾塑性力学 △熱・物質移動論 △生産・精密加工学	△計算機システム工学 △知的制御システム △ロボティクス △材料強度・材料組織学 △トラバロジ-軸受特論	△量子電子工学 △音響振動工学	(本科で達成) (本科で達成) 1科目必修 1科目必修 3科目必修 1科目選択 1科目必修 1科目必修 1科目必修 2科目必修

凡例 ◎必修科目 ○履修科目(本科) △選択科目 ◆一般科目 ※専攻共通科目
 必修科目は色つきで示してある。必修科目のうち、複数の小項目の履修に際する科目毎に色を変えて示した。

(出典 専攻科資料)

資料6 - 1 - ① - 2

達成状況の自己点検(電気情報工学科一生産システム工学専攻)

学籍番号 _____ 氏名 _____

(チェック方法)

1. 修得した科目に○印を付ける。(修得＝成績が60点以上、追認試験で合格した科目も○)
2. 各項目(A-1など)の中で1科目以上修得していれば、達成の欄に○印を付ける。
3. これまでの学修を振り返り、今後の学修計画を立てる。

学習・教育到達目標	本科				専攻科						
	4年	修得	5年	修得	達成	1年	修得	2年	修得	達成	
(A) 技術者としての基礎力	(A-1)	○保健・体育Ⅳ◆		○保健・体育Ⅴ◆			△応用数学特論◆				
		○応用数学Ⅰ					△健康科学特論◆				
		○応用数学Ⅱ					△現代物理◆				
		○応用物理Ⅱ									
		△解析Ⅲ◆									
	(A-2)	△文学Ⅰ◆					△日本語表現技法◆				
		△文学Ⅱ◆					△人文社会特論◆				
		△文学Ⅲ◆					△コミュニケーション特論◆				
		△文学Ⅳ◆									
		△社会科学Ⅰ◆									
		△社会科学Ⅱ◆									
	(A-3)						◎情報技術特論※				
							◎応用計測工学※				
							◎材料デザイン工学※				
	(A-4)						◎一般工業力学※				
		○電気磁気学Ⅲ		○電気材料			△応用電磁工学		△計算機システム工学		
		○電気回路Ⅲ		○信号処理			△回路網理論		△知的制御システム		
		○電子デバイスⅡ		△電気機器設計			△システム制御特論		△ロボット工学		
		○電気機器Ⅱ		△電子回路設計			△固体物性論		△材料強度・材料組織学		
		○電子回路Ⅰ		○電子回路Ⅱ			△流体力学特論		△トライボロジー・触変特論		
○電力工学			△パワー・エレクトロニクス			△品質管理工学		△量子電子工学			
○制御工学			△ソフトウェア工学			△ソフトコンピューティング		△音響振動学			
○コンピュータ工学			△エネルギー変換工学			△通信ネットワーク特論					
△電気法規			△通信工学			△通信ネットワーク特論					
△情報通信法規			○情報ネットワーク工学			△応用ソフトウェア開発					
			△高電圧工学			△アナログ電子回路					
			△数値計算工学			△デジタル信号処理					
						△弾塑性力学					
					△熱・物質移動論						
					△生産・精密工学						
(B) 持てる知識を使う応用力	(B-1)	◎電気情報応用実験Ⅰ		◎電気情報応用実験Ⅱ							
	(B-2)	○電気情報工学演習									
	(B-3)			◎卒業研究☆				◎創造実験※☆			
(C) 社会と自らを高める発展力	(C-1)	△校外実習☆		◎卒業研究☆		◎生産システム工学特別研究Ⅰ☆		◎生産システム工学特別研究Ⅱ☆			
	(C-2)					◎生産システム工学特別実験☆					
(D) 地球の一員としての倫理力	(D-1)			○環境科学		◎社会技術論※					
	(D-2)			○技術者倫理		◎知的財産権特論※					
(E) 社会とかかわるためのコミュニケーション力	(E-1)	○英語総合演習◆		△実用工業英語◆		◎上級英語演習※					
		○独語◆		△英米文学◆		◎専攻英語講読					
				△英語会話◆							
				△英語演習◆							
				△時事英語◆							
				△コミュニケーション◆							
	(E-2)			◎卒業研究☆		◎生産システム工学特別実験☆		◎創造実験※☆			
	(E-3)	△校外実習☆		◎卒業研究☆		◎生産システム工学特別研究Ⅰ☆		◎生産システム工学特別研究Ⅱ☆			
						◎生産システム工学特別実験☆		◎技術表現技法			
						△インターンシップ☆		◎創造実験※☆			

凡例 ◎ 必修科目、○ 履修科目、△ 選択科目、● コース履修科目、◆ 一般科目、※ 専攻共通科目
☆ 複数の達成に関わる科目

(プログラム修了要件)

・複合システムデザイン工学プログラムを修了するためには、(A-1)~(E-3)の学習・教育到達目標をすべて達成する必要があります。

(出典 専攻科資料)

複合システムデザイン工学プログラム 科目系統図(電気情報工学科-生産システム工学専攻)(H26年度 本科4・5年生、専攻科)

学習教育目標	本科4年		本科5年		専攻科1年		専攻科2年		専攻科修了要件
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
(A) 技術者としての基礎力	(A-1) ○保健・体育Ⅳ◆ ○応用数学Ⅰ ○応用数学Ⅱ ○応用物理Ⅱ △解剖Ⅲ◆ △文学Ⅰ◆ △文学Ⅱ◆ △社会科学Ⅰ◆ △社会科学Ⅱ◆ △社会科学Ⅲ◆	△文学Ⅲ◆ △文学Ⅳ◆ △社会科学Ⅰ◆ △社会科学Ⅱ◆ △社会科学Ⅲ◆	○保健・体育Ⅴ◆	△応用数学特論◆ △現代物理◆ △健康科学特論◆	△日本語表現法◆ △人文社会特論◆ △コミュニケーション特論◆	◎情報技術特論※ ◎応用計測工学※ ◎材料子工学※ ◎一般工業力学※	△計算機システム工学 △知的制御システム △ロボティクス △材料強度・材料組織学 △トライボロジー-軸受特論	△量子電子工学 △音響振動工学	(A-1) 3科目中2科目以上修得 (A-2) 3科目中1科目以上修得 (A-3) 4科目必修 (A-4) 21科目中9科目以上修得
(B) 持てる知識を使う応用力	(B-1) ○電気学Ⅲ ○電気回路Ⅲ ○電子デバイスⅡ ○電気機器Ⅱ ○電子回路Ⅰ ○電力工学 ○制御工学 ○コンピュータ工学 △電気法規 △情報通信法規 ◎電気情報応用実験Ⅰ ○電気情報工学演習	○電気材料 ○信号処理 △電気機器設計 △電子回路 ○電子回路Ⅱ △パワーエレクトロニクス △ソフトウェア工学 △エレクトロニクス交換工学 △通信工学	◎電気情報応用実験Ⅱ	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究			(B-1) (本科で達成) (B-2) (本科で達成) (B-3) 1科目必修 (C-1) 3科目必修 1科目選択 (C-2) 1科目必修 (D-1) 1科目必修 (D-2) 1科目必修 (E-1) 2科目必修
(C) 社会と自らを高める発展力	(C-1) △校外実習※		◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	(本科で達成) (本科で達成) 1科目必修 3科目必修 1科目選択 1科目必修 1科目必修 1科目必修 2科目必修
(D) 地球の一員としての倫理力	(D-1) △校外実習※		◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	(本科で達成) (本科で達成) 1科目必修 3科目必修 1科目選択 1科目必修 1科目必修 1科目必修 2科目必修
(E) 社会と係わるためのコミュニケーション力	(E-1) ○英語総合演習◆ ○英語◆		◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	(本科で達成) (本科で達成) 1科目必修 3科目必修 1科目選択 1科目必修 1科目必修 1科目必修 2科目必修
(E-2)			◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	(本科で達成) (本科で達成) 1科目必修 3科目必修 1科目選択 1科目必修 1科目必修 1科目必修 2科目必修
(E-3)	△校外実習※		◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	◎卒業研究	(本科で達成) (本科で達成) 1科目必修 3科目必修 1科目選択 1科目必修 1科目必修 1科目必修 2科目必修

凡例 ◎必修科目 ○履修科目(本科) △選択科目 ◆一般科目 ※専攻共通科目
必修科目は色つきで示してある。必修科目のうち、複数の小項目の達成に係る科目は科目毎に色を変えて示した。

(出典 専攻科資料)

資料6-1-①-2

達成状況の自己点検(電子制御工学科-生産システム工学専攻)

学籍番号 _____ 氏名 _____

(チェック方法)

1. 修得した科目に○印を付ける。(修得=成績が60点以上、追認試験で合格した科目も○)
2. 各項目(A-1など)の中で1科目以上修得していれば、達成の欄に○印を付ける。
3. これまでの学修を振り返り、今後の学修計画を立てる。

学習・教育到達目標	本科				専攻科						
	4年	修得	5年	修得	達成	1年	修得	2年	修得	達成	
(A) 技術者としての基礎力	(A-1)	○保健・体育Ⅳ◆		○保健・体育Ⅴ◆			△応用数学特論◆				
		○応用数学Ⅰ					△健康科学特論◆				
		○応用数学Ⅱ					△現代物理◆				
		○応用物理Ⅱ									
		△解析Ⅲ◆									
	(A-2)	△文学Ⅰ◆					△日本語表現技法◆				
		△文学Ⅱ◆					△人文社会特論◆				
		△文学Ⅲ◆					△コミュニケーション特論◆				
		△文学Ⅳ◆									
		△社会科学Ⅰ◆									
		△社会科学Ⅱ◆									
	(A-3)						◎情報技術特論※				
							◎応用計測工学※				
	(A-4)	○電磁気学Ⅱ		○電子制御設計			△応用電磁工学		△計算機システム工学		
		○電気回路Ⅱ		○自動制御			△回路網理論		△知的制御システム		
		○電子デバイス		○マイコン制御			△システム制御特論		△ロボット工学		
○電子回路Ⅱ			○計算機工学Ⅱ			△固体物性論		△材料強度・材料組織学			
○パルス回路設計			○情報伝送			△流体力学特論		△トライボロジー・摩擦特論			
○計算機工学Ⅰ			○電気電子材料			△品質管理工学		△量子電子工学			
○材料力学Ⅱ			○ロボット制御工学			△ソフトコンピューティング		△音響振動学			
○機械設計法			△熱流体工学概論			△通信ネットワーク特論					
○機械運動学			△ソフトウェア工学			△応用ソフトウェア開発					
			△電子物性			△アナログ電子回路					
			△システム工学			△デジタル信号処理					
						△弾塑性力学					
						△熱・物質移動論					
					△生産・精密工学						
(B) 持てる知識を使う応用力	(B-1)	◎工学実験実習Ⅳ		◎工学実験実習Ⅴ							
	(B-2)			○工学数学							
	(B-3)			◎卒業研究☆				◎創造実験※☆			
(C) 社会と自らを高める発展力	(C-1)	△校外実習☆		◎卒業研究☆		◎生産システム工学特別研究1☆		◎生産システム工学特別研究2☆			
	(C-2)					◎生産システム工学特別実習☆					
(D) 地球の一員としての倫理力	(D-1)			○環境科学		◎社会技術論※					
	(D-2)			○技術者倫理		◎知的財産特論※					
(E) 社会とかがわるためのコミュニケーション力	(E-1)	○英語総合演習◆		△実用工業英語◆		◎上級英語演習※					
		○独語◆		△英米文学◆		◎専攻英語講読					
				△英語会話◆							
				△英語演習◆							
				△時事英語◆							
				△コミュニケーション◆							
	(E-2)			◎卒業研究☆		◎生産システム工学特別実習☆		◎創造実験※☆			
		△校外実習☆		◎卒業研究☆		◎生産システム工学特別研究1☆		◎生産システム工学特別研究2☆			
	(E-3)					◎生産システム工学特別実習☆		◎技術表現技法			
						△インターンシップ☆		◎創造実験※☆			

凡例 ◎ 必修科目、○ 履修科目、△ 選択科目、● コース履修科目、◆ 一般科目、※ 専攻共通科目
☆ 複数の達成に関わる科目

(プログラム修了要件)

・複合システムデザイン工学プログラムを修了するためには、(A-1)~(E-3)の学習・教育到達目標をすべて達成する必要があります。

(出典 専攻科資料)

複合システムデザイン工学プログラム 科目系統図(電子制御工学科—生産システム工学専攻)(H26年度 本科4・5年生, 専攻科)

学習教育目標	本科4年		本科5年		専攻科1年		専攻科2年		専攻科修了要件	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
(A) 技術者としての基礎力	<ul style="list-style-type: none"> ○保健・体育Ⅳ◆ ○応用数学Ⅰ ○応用数学Ⅱ ○応用物理Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> △文学Ⅲ◆ △文学Ⅳ◆ △社会科学Ⅰ◆ △社会科学Ⅱ◆ △社会科学Ⅲ◆ 	<ul style="list-style-type: none"> ○保健・体育Ⅴ◆ 	<ul style="list-style-type: none"> △応用数学特論◆ △健康科学特論◆ 	<ul style="list-style-type: none"> △現代物理◆ 				3科目中2科目以上修得	(A-1)
	<ul style="list-style-type: none"> △解析Ⅲ◆ △文学Ⅰ◆ △文学Ⅱ◆ △社会科学Ⅰ◆ △社会科学Ⅱ◆ △社会科学Ⅲ◆ 	<ul style="list-style-type: none"> △電気工学Ⅱ △電気回路Ⅱ △電子回路Ⅱ △電子デバイス ○ハリス回路設計 ○計算機工学Ⅰ ○材料工学Ⅱ ○機構設計法 ○機構運動学 		<ul style="list-style-type: none"> △日本語表現法◆ △人文社会特論◆ △コミュニケーション特論◆ 				3科目中1科目以上修得	(A-2)	
				<ul style="list-style-type: none"> ◎情報技術特論※ ◎応用計測工学※ ◎材料サイエンス※ ◎一般工業力学※ 				4科目必修	(A-3)	
			<ul style="list-style-type: none"> ○電子制御設計 ○自動制御 ○マイコン制御 ○計算機工学Ⅱ ○情報伝送 ○電気電子材料 ○ロボット制御工学 ○熱流体工学概論 ○ソフトラウェア工学 △電子物性 △システム工学 	<ul style="list-style-type: none"> ◎情報技術特論※ ◎応用計測工学※ ◎材料サイエンス※ ◎一般工業力学※ 	<ul style="list-style-type: none"> △計算機システム工学 △知的制御システム △ロボット工学 △材料強度・材料組織学 △トライボロジー・摩擦特論 			21科目中9科目以上修得	(A-4)	
(B) 持てる知識を使う応用力			<ul style="list-style-type: none"> ◎工業実験実習Ⅳ ○工業数学 					(本科で達成)	(B-1)	
			<ul style="list-style-type: none"> ◎卒業研究 					(本科で達成)	(B-2)	
			<ul style="list-style-type: none"> ◎卒業研究 					(本科で達成)	(B-3)	
(C) 社会と自らを高める発展力			<ul style="list-style-type: none"> ◎校外実習※ 					3科目必修 1科目選択	(C-1)	
			<ul style="list-style-type: none"> ○環境科学※ 					1科目必修	(C-2)	
			<ul style="list-style-type: none"> ○英語総合演習◆ ○独語◆ 					1科目必修	(D-1)	
(D) 地球の一員としての備り力			<ul style="list-style-type: none"> ○技術者倫理※ 					1科目必修	(D-2)	
(E) 社会と係わるためのコミュニケーション力			<ul style="list-style-type: none"> △美用工業英語◆ △英米文学◆ △英語会話◆ △英語演習◆ △時事英語◆ △コミュニケーション◆ △韓国語◆ △中国語◆ △韓国語◆ 					2科目必修	(E-1)	
			<ul style="list-style-type: none"> ◎卒業研究 ◎卒業研究 					2科目必修	(E-2)	
								5科目必修 1科目選択	(E-3)	

凡例 ◎必修科目 ○履修科目(本科) △選択科目 ◆一般科目 ※専攻共通科目
必修科目は色つきで示してある。必修科目のうち、複数の小項目の達成に係わる科目は科目毎に色を変えて示した。

(出典 専攻科資料)

資料6-1-①-2

達成状況の自己点検(物質工学科-物質工学専攻)

学籍番号 _____ 氏名 _____

(チェック方法)

1. 修得した科目に○印を付ける。(修得＝成績が60点以上、追認試験で合格した科目も○)
2. 各項目(A-1など)の中で1科目以上修得していれば、達成の欄に○印を付ける。
3. これまでの学修を振り返り、今後の学修計画を立てる。

学習・教育到達目標	本科				専攻科						
	4年	修得	5年	修得	達成	1年	修得	2年	修得	達成	
(A) 技術者としての基礎力	(A-1)	○保健・体育Ⅳ◆		○保健・体育Ⅴ◆			△応用数学特論◆				
		○応用物理Ⅱ		○生産工学☆			△健康科学特論◆				
		○工業数学Ⅰ		○機械工学概論☆			△現代物理◆				
		○工業数学Ⅱ		○電気工学概論☆							
		○分析化学Ⅰ☆									
		○分析化学Ⅱ☆									
	(A-2)	△文学Ⅰ◆					△日本語表現技法◆				
		△文学Ⅱ◆					△人文社会特論◆				
		△文学Ⅲ◆					△コミュニケーション特論◆				
		△文学Ⅳ◆									
		△社会科学Ⅰ◆									
		△社会科学Ⅱ◆									
	(A-3)						◎情報技術特論※				
							◎応用計測工学※				
	(A-4)	○無機化学-物理化学基礎演習		○生産工学☆			△基礎材料科学		△環境分析化学		
		○分析化学Ⅰ☆		○機械工学概論☆			△高分子合成化学		△タンパク質工学		
○分析化学Ⅱ☆			○電気工学概論☆			△無機工業化学		△生物機能材料			
○無機化学Ⅰ			●無機材料			△バイオテクノロジー		△微生物工学			
○無機化学Ⅱ			●有機材料					△材料化学			
○有機化学Ⅰ			●高分子化学					△セラミックス			
○有機化学Ⅱ			●材料プロセス工学					△機能性材料			
○物理化学Ⅰ			●分子生物学					△化学反応工学			
○物理化学Ⅱ			●酵素化学								
○化学工学Ⅰ			●細胞工学								
○化学工学Ⅱ			●応用微生物学								
○生化学Ⅰ											
○生化学Ⅱ											
○情報工学Ⅰ											
○情報工学Ⅱ											
(B) 持てる知識を 使う応用力	(B-1)	◎物質工学実験Ⅰ									
	(B-2)	◎物質工学実験Ⅱ									
	(B-3)		◎卒業研究☆					◎創造実験※☆			
(C) 社会と自らを 高める発展力	(C-1)	△校外実習☆		◎卒業研究☆		◎物質工学特別研究Ⅰ☆		◎物質工学特別研究Ⅱ☆			
	(C-2)					◎物質工学特別実験☆					
(D) 地球の一員と しての倫理力	(D-1)			○環境科学				◎社会技術論※			
	(D-2)			○技術者倫理				◎知的財産権特論※			
(E) 社会とかかわ るためのコミュ ニケーション力	(E-1)	○英語総合演習◆		△実用工業英語◆				◎上級英語演習※			
		○独語◆		△英米文学◆				◎専攻英語講読			
				△英語会話◆							
				△英語演習◆							
				△時事英語◆							
				△コミュニケーション◆							
	(E-2)			◎卒業研究☆			◎物質工学特別実験☆		◎創造実験※☆		
		(E-3)	△校外実習☆		◎卒業研究☆		◎物質工学特別研究Ⅰ☆		◎物質工学特別研究Ⅱ☆		
						◎物質工学特別実験☆		◎技術表現技法			
						△インターンシップ☆		◎創造実験※☆			

凡例 ◎ 必修科目、○ 履修科目、△ 選択科目、● コース履修科目、◆ 一般科目、※ 専攻共通科目
☆ 複数の達成に関わる科目

(プログラム修了要件)

・複合システムデザイン工学プログラムを修了するためには、(A-1)~(E-3)の学習・教育到達目標をすべて達成する必要があります。

(出典 専攻科資料)

複合システムデザイン工学プログラム 科目系統図(物質工学専攻)(H26年度 本科4・5年生, 専攻科)

学習教育目標	本科4年		本科5年		専攻科1年		専攻科2年		専攻科修了要件
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
(A) 技術者としての基礎力	(A-1) 〇保健・体育Ⅳ 〇応用物理Ⅱ 〇工業数学Ⅰ 〇分析化学Ⅰ 〇解剖Ⅲ △文学Ⅰ △文学Ⅱ △社会科学Ⅰ △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ △社会科学Ⅳ	〇保健・体育Ⅳ 〇工業数学Ⅱ 〇分析化学Ⅱ △文学Ⅲ △文学Ⅳ △社会科学Ⅰ △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ △社会科学Ⅳ	〇健康・体育Ⅴ 〇生産工学 〇機械工学概論 〇電気工学概論	△応用数学特論 △健康科学特論	△現代物理 △人文社会特論 △コミュニケーション特論	〇健康科学特論 〇機械科学特論	△材料化学 △セラミックス △機能性材料 △化学反応工学	3科目中2科目以上修得	(A-1)
(A-2)	△文学Ⅰ △文学Ⅱ △社会科学Ⅰ △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ △社会科学Ⅳ	△文学Ⅲ △文学Ⅳ △社会科学Ⅰ △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ △社会科学Ⅳ	△日本語表現法 △人文社会特論 △コミュニケーション特論	△日本語表現法 △人文社会特論 △コミュニケーション特論	△日本語表現法 △人文社会特論 △コミュニケーション特論	△日本語表現法 △人文社会特論 △コミュニケーション特論	3科目中1科目以上修得	(A-2)	
(A-3)	△文学Ⅰ △文学Ⅱ △社会科学Ⅰ △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ △社会科学Ⅳ	△文学Ⅲ △文学Ⅳ △社会科学Ⅰ △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ △社会科学Ⅳ	〇情報技術特論 〇応用計測工学 〇材料サイエンス 〇一般工業学	〇情報技術特論 〇応用計測工学 〇材料サイエンス 〇一般工業学	〇情報技術特論 〇応用計測工学 〇材料サイエンス 〇一般工業学	〇情報技術特論 〇応用計測工学 〇材料サイエンス 〇一般工業学	4科目必修	(A-3)	
(A-4)	〇無機化学・物理化学基礎演習 〇分析化学Ⅰ 〇無機化学Ⅰ 〇有機化学Ⅰ 〇物理化学Ⅰ 〇化学工学Ⅰ 〇生化学Ⅰ 〇情報工学Ⅰ	〇無機化学・物理化学基礎演習 〇分析化学Ⅱ 〇無機化学Ⅱ 〇有機化学Ⅱ 〇物理化学Ⅱ 〇化学工学Ⅱ 〇生化学Ⅱ 〇情報工学Ⅱ	〇生産工学 〇機械工学概論 〇電気工学概論 ●無機材料 ●有機材料 ●高分子化学 ●材料プロセス工学 ●分子生物学 ●酵素化学 ●細胞工学 ●応用微生物学	△基礎材料科学 △高分子合成化学 △高分子加工化学 △バイオテクノロジー	△基礎材料科学 △高分子合成化学 △高分子加工化学 △バイオテクノロジー	△基礎材料科学 △高分子合成化学 △高分子加工化学 △バイオテクノロジー	12科目中9科目以上修得	(A-4)	
(B) 持てる知識を使う応用力	(B-1) 〇物質工学実験Ⅰ 〇物質工学実験Ⅱ						(本科で達成)	(B-1)	
(B-2)			〇卒業研究					(本科で達成)	(B-2)
(B-3)			〇卒業研究					1科目必修	(B-3)
(C) 社会と自らを高める発展力	(C-1) △校外実習※		〇卒業研究		〇物質工学特別研究Ⅰ 〇物質工学特別実験 △インターンシップ※			3科目必修 1科目選択	(C-1)
(C-2)								1科目必修	(C-2)
(D) 地球の一員としての備り力	(D-1)		〇環境科学※					1科目必修	(D-1)
(D-2)								1科目必修	(D-2)
(E) 社会と係わるためのコミュニケーション力	(E-1) 〇英語総合演習 〇独語		〇技術者倫理※ △実用工業英語 △英米文学 △英語会話 △英語演習 △時事英語 △コミュニケーション △独語講義 △中国語 △韓国語 △韓国語	〇知的財産権特論※ 〇上級英語演習※ 〇専攻英語語読	〇知的財産権特論※ 〇上級英語演習※ 〇専攻英語語読			2科目必修	(E-1)
(E-2)			〇卒業研究		〇物質工学特別実験 〇物質工学特別研究Ⅰ 〇物質工学特別実験 △インターンシップ※			2科目必修	(E-2)
(E-3)	△校外実習※		〇卒業研究		〇物質工学特別実験 〇物質工学特別研究Ⅰ 〇物質工学特別実験 △インターンシップ※			5科目必修 1科目選択	(E-3)

凡例 〇必修科目 ○履修科目(本科) △選択科目 ◆一般科目 ※専攻共通科目
必修科目は色つきで示してある。複数の小項目の達成に係わる科目は科目毎に色を変えて示した。

(出典 専攻科資料)

複合システムデザイン工学プログラム 基礎科目の修得チェックリスト (生産システム工学専攻)

学籍番号

氏名

修得科目一覧

設計・システム系科目目群	情報・論理系科目目群	材料・バイオ系科目目群	力学系科目目群	社会技術系科目目群

【参考】各科目群科目一覧

設計・システム系科目目群	情報・論理系科目目群	材料・バイオ系科目目群	力学系科目目群	社会技術系科目目群
応用計測工学 応用電磁工学 回路網理論 システム制御特論 アナログ電子回路 知的制御システム ロボット工学 集積回路工学 電力システム工学 量子電子工学 品質管理工学 生産・精密加工学 トライボロジー・軸受特論	情報技術特論 応用数学特論 ソフトコンピュテーティング 通信ネットワーク特論 応用ソフトウェア開発 デジタル信号処理 計算機システム工学	材料デザイン工学 固体物性論 材料強度・材料組織学	一般工業力学 音響振動工学 流体力学特論 弾塑性力学 熱・物質移動論 現代物理	知的財産権特論 社会技術論

(出典 専攻科資料)

複合システムデザイン工学プログラム 基礎科目の修得チェックリスト 物質工学専攻)

学籍番号

氏名

修得科目一覧

設計・システム系科目群	情報・論理系科目群	材料・バイオ系科目群	力学系科目群	社会技術系科目群

【参考】各科目群科目一覧

設計・システム系科目群	情報・論理系科目群	材料・バイオ系科目群	力学系科目群	社会技術系科目群
応用計測工学 化学反応工学	情報技術特論 応用数学特論	材料デザイン工学 微生物工学 基礎材料科学 高分子合成化学 無機工業化学 バイオテクノロジー 環境分析化学 タンパク質工学 生物機能材料 材料化学 セラミックス 機能性材料	一般工業力学 現代物理	知的財産権特論 社会技術論

(出典 専攻科資料)

資料1

平成26年4月15日

複合システムデザイン工学プログラム
平成25年度修了者のプログラム修了確認資料

平成25年度修了の21名について、専攻科課程での学修状況は下表の通りです。

専攻	学籍番号	氏名	出身学科	専攻科課程 の修了	専攻科課程における基礎科目修得状況(科目数)				学位取得日 (学位記より抜粋)	JABEE 修了認定 申請書	要件の 確認	
					設計・システム系科目	情報・論理系科目	材料・バイオ系科目	工学系科目				社会技術系科目
生産システム工学専攻			M	○	8	2	1	2	2	平成26年3月14日	○	○
			E	○	8	6	2	1	2	平成26年3月14日	○	○
			M	○	8	4	2	5	2	平成26年3月14日	○	○
			M	○	5	4	2	5	2	平成26年3月14日	○	○
			D	○	9	5	2	3	2	平成26年3月14日	○	○
			M	○	6	3	1	4	2	平成26年3月18日	○	○
			E	○	7	5	1	2	2	平成26年3月14日	○	○
			M	○	9	4	3	5	2	平成26年3月14日	○	○
			M	○	5	3	3	4	2	平成26年3月14日	○	○
			M	○	8	4	1	4	2	平成26年3月14日	○	○
			M	○	6	4	1	4	2	平成26年3月14日	○	○
			D	○	8	4	1	2	2	平成26年3月14日	○	○
			M	○	8	4	2	6	2	平成26年3月14日	○	○
			M	○	7	3	2	5	2	平成26年3月14日	○	○
			D	○	9	5	2	2	2	平成26年3月14日	○	○
			E	○	7	5	2	2	2	平成26年3月14日	○	○
			D	○	7	5	2	5	2	平成26年3月14日	○	○
			C	○	2	2	12	1	2	平成26年3月14日	○	○
			C	○	2	2	11	1	2	平成26年3月14日	○	○
			C	○	2	2	11	1	2	平成26年3月14日	○	○
			C	○	2	2	12	2	2	平成26年3月14日	○	○

なお、個別の修得科目名等は学生ごとの「基礎科目の修得チェックリスト」で確認できます。

【参考】

工学(融合複合・新領域)関連分野 分野別要件

1. 修得すべき知識・能力

本プログラムの修了生は以下の知識・能力を身に付けている必要がある

(1) 基礎工学の知識・能力

基礎工学の内容は、① 設計・システム系科目群、② 情報・論理系科目群、③ 材料・バイオ系科目群、④ カ学系科目群、⑤ 社会技術系科目群の5群からなり、各群から少なくとも1科目、合計6科目についての知識と能力
(2) 以下省略

資料6-1-①-4

建築学プログラム2013年度達成度評価資料(2013年度専攻科2年生用)

太枠内を各自記入!

学籍番号: 氏名:

学習教育目標	授業科目名 (オレンジ部分は建築学プログラムで必須科目)	単位数	必修、選択の別	本科・専攻科	学年	学期	講義・演習・実験	修得単位	評価基準	評価(自動判定)
A-1	応用数学	2	必修	本	4	通	講義	2	知的財産権特論を含み、学習教育目標A-1の対応科目の中から15科目中10科目以上取得していることで学習目標A-1を達成していると評価する。	○
	応用物理	2	必修	本	4	通	講義	2		
	環境科学	2	必修	本	5	前	講義	2		
	CAD・CG	2	必修	本	4	通	演習	2		
	解析Ⅲ	2	選択	本	4	前	講義	2		
	保健・体育Ⅳ	2	必修	本	4	通	実技	2		
	保健・体育Ⅴ	1	必修	本	5	通	実技	1		
	健康科学特論	2	2 単位以上 選択	専	1	前	講義	2		
	応用数学特論	2		専	1	前	講義	2		
	現代物理	2		専	1	後	講義	2		
	応用計測工学	2		専	1	前	講義	2		
	情報技術特論	2		専	1	前	講義	2		
	材料デザイン工学	2		専	1	後	講義	2		
一般工業力学	2	専	1	後	講義	2				
知的財産権特論	2	必修	専	1	前後	講義	2			
A-2	建築計画Ⅱ	2	必修	本	4	通	講義	2	学習教育目標A-2の対応科目の中の5科目全てを取得していることで学習目標A-2を達成していると評価する。	○
	都市計画Ⅰ	2	必修	本	4	通	講義	2		
	都市計画Ⅱ	2	必修	本	5	通	講義	2		
	建築環境	2	必修	本	4	通	講義	2		
	建築設備	2	必修	本	5	通	講義	2		
A-3	構造力学Ⅲ	2	必修	本	4	通	講義	2	学習教育目標A-3の対応科目の中から6科目中4科目以上取得していることで学習目標A-3を達成していると評価する。	○
	構造解析	2	選択	本	5	通	講義	2		
	木質構造	1	必修	本	5	通	講義	1		
	鋼構造	2	必修	本	5	通	講義	2		
	鉄筋コンクリート構造	2	必修	本	5	通	講義	2		
基礎構造	1	必修	本	5	通	講義	1			
A-4	建築材料	2	必修	本	4	通	講義	2	建築材料、建築生産、都市計画Ⅱを含み、学習教育目標A-4の対応科目の中から6科目中4科目以上取得していることで学習目標A-4を達成していると評価する。	○
	建築生産	2	必修	本	5	通	講義	2		
	都市計画Ⅱ	2	必修	本	5	通	講義	2		
	建築史Ⅱ	2	必修	本	4	通	講義	2		
	近代建築論	2	必修	本	5	通	講義	2		
建築意匠論	2	選択	本	5	通	講義	2			
B-1	設計製図Ⅳ	6	必修	本	4	通	実習	6	設計製図Ⅳ、設計製図Ⅴ、建築設計製図、創造設計実習、創造実験・演習、情報デザイン論を含み、学習教育目標B-1の対応科目の中から10科目中7科目以上取得していることで学習目標B-1を達成していると評価する。	○
	設計製図Ⅴ	3	必修	本	5	通	実習	3		
	建築設計製図	2	必修	専	1	前	実習	2		
	創造設計実習	2	必修	専	1	後	実習	2		
	創造実験・演習	3	必修	本	5	通	実習	3		
	情報デザイン論	2	必修	専	1	後	講義	2		
	地域施設計画	2	選択	専	2	前	講義	2		
	地域居住空間計画	2	選択	専	1	前	講義	2		
	建築・地域計画実習	2	選択	専	2	後	実習	2		
企画デザイン論	2	選択	専	2	後	講義	2			
B-2	建築・都市環境論	2	必修	専	1	前	講義	2	建築・都市環境論を取得していることで学習目標B-2を達成していると評価する。	○
B-3	構造計画	2	必修	本	5	通	講義	2	学習教育目標B-3の対応科目の中から5科目中1科目以上取得していることで学習目標B-3を達成していると評価する。	○
	建築構造設計演習	2	選択	専	2	前	演習	2		
	構造制御論	2	選択	専	2	前	講義	2		
	耐震構造論	2	選択	専	1	後	講義	2		
	構造解析学特論	2	選択	専	1	後	講義	2		
B-4	防災計画論	2	必修	専	1	前	講義	2	防災計画論を含み、学習教育目標B-4の対応科目の中から5科目中2科目以上取得していることで学習目標B-4を達成していると評価する。	○
	保存再生論	2	選択	専	1	後	講義	2		
	材料学特論	2	選択	専	1	後	講義	2		
	建築構造材料実験	2	選択	専	1	前	実験	2		
建築生産特論	2	選択	専	2	前	講義	2			

(出典 専攻科資料)

資料6-1-①-4

C-1	設計製図Ⅳ	6	必修	本	4	通	実習	6	設計製図Ⅳ、設計製図Ⅴ、建築設計製図、建築・都市環境論、建築ゼミナール、卒業研究、特別研究を取得していることで学習目標C-1を達成していると評価する。	○
	設計製図Ⅴ	3	必修	本	5	通	実習	3		
	建築設計製図	2	必修	専	1	前	実習	2		
	建築・都市環境論	2	必修	専	1	前	講義	2		
	建築ゼミナール	2	必修	本	4	通	演習	2		
	卒業研究	6	必修	本	5	通	実験	6		
	建築学特別研究	16	必修	専	1, 2	通	実験	16		
C-2	設計製図Ⅳ	6	必修	本	4	通	実習	6	設計製図Ⅳ、設計製図Ⅴ、創造設計実習、建築ゼミナール、卒業研究、特別研究を取得していることで学習目標C-2を達成していると評価する。	○
	設計製図Ⅴ	3	必修	本	5	通	実習	3		
	創造設計実習	2	必修	専	1	後	実習	2		
	建築ゼミナール	2	必修	本	4	通	演習	2		
	卒業研究	6	必修	本	5	通	実験	6		
建築学特別研究	16	必修	専	1, 2	通	実験	16			
D-1	環境科学	2	必修	本	5	前	講義	2	環境科学を含み、学習教育目標D-1の対応科目の中から4科目中3科目以上取得していることで学習目標D-1を達成していると評価する。	○
	文学Ⅰ	2	この内、2科目4単位を選択	本	4	前	講義	2		
	文学Ⅱ	2		本	4	前	講義	2		
	文学Ⅲ	2		本	4	後	講義	2		
	文学Ⅳ	2		本	4	後	講義	2		
	社会科学Ⅰ	2	本	4	前後	講義	2			
	社会科学Ⅱ	2	本	4	前後	講義	2			
	社会科学Ⅲ	2	本	4	前後	講義	2			
	日本語表現法	2	選択	専	1	前	講義	2		
人文社会特論	2	選択	専	1	後	講義	2			
D-2	技術者倫理	2	必修	本	5	後	講義	2	技術者倫理、知的財産権特論、社会技術論を含み、学習教育目標D-2の対応科目の中から6科目中5科目以上取得していることで学習目標D-2を達成していると評価する。	○
	知的財産権特論	2	必修	専	1	前後	講義	2		
	社会技術論	2	必修	専	1	後	講義	2		
	保健・体育Ⅳ	2	必修	本	4	通	実技	2		
	保健・体育Ⅴ	1	必修	本	5	通	実技	1		
健康科学特論	2	選択	専	1	前	講義	2			
E-1	技術表現技法	2	必修	専	1, 2	後	演習	2	技術表現技法を取得していることで学習目標E-1を達成していると評価する。	○
E-2	専攻英語講読	2	必修	専	1	前後	講義	2	専攻英語講読、上級英語演習を含み、学習教育目標E-2の対応科目の中から6科目中5科目以上取得していることで学習目標E-2を達成していると評価する。 (平成24年度専攻科入学生から、本科5年次に中国語と韓国語を追加)	○
	上級英語演習	2	必修	専	1	前後	演習	2		
	英語総合演習	2	必修	本	4	通	演習	2		
	独語	3	必修	本	4	通	講義	3		
	実用工業英語	2	この内、1科目2単位を選択	本	5	通	講義	2		
	英米文学	2		本	5	通	講義	2		
	英語会話	2		本	5	通	講義	2		
	英語演習	2		本	5	通	講義	2		
	時事英語	2	本	5	通	講義	2			
	コミュニケーション	2	本	5	通	講義	2			
	独語購読	2	本	5	通	講義	2			
	中国語	2	本	5	通	講義	2			
韓国語	2	本	5	通	講義	2				
コミュニケーション特論	2	選択	専	1	後	講義	2			

(出典 専攻科資料)

資料6-1-②-1 修得単位数が最も少なかった学科別下位2名程度の達成状況確認資料

機械工学科 平成25年度準学士課程修了生 学生M01(一般82+専門88=170単位、自由選択を除く)の修得単位数説明資料

◎ : 必修(必修)科目 △ : 選択科目 (): 複数の達成目標に關係する科目

学習教育目標	細目	授業科目名								目標別の全履修単位数 (自由選択科目を除く)	学生M01 目標別の全修得単位数 (自由選択科目を除く)	
		本科(準学士課程) 機械工学科										
		1年 通年	2年 通年	3年 通年	4年 前期	4年 後期	5年 前期	5年 後期				
A. 技術者としての 基礎力	一般科目	数学分野	数学Ⅰ(3) 数学Ⅱ(3)	微分・積分(3) 代数・幾何(2)	解析Ⅰ(3) 解析Ⅱ(2)	△解析Ⅲ(自由選択)					一般科目単位数:49 専門科目単位数:68 計単位数:117 ◎必修単位数有り	一般科目単位数:49 専門科目単位数:61 計単位数:110 ◎必修単位数有り
		理科分野	物理Ⅰ(2) 化学Ⅰ(3)	物理Ⅱ(3) 化学Ⅱ(2)								
		社会分野	歴史Ⅰ(2)	現代社会(2)	地理(2)	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ					
		保健体育分野	保健・体育Ⅰ(3)	保健・体育Ⅱ(2)	保健・体育Ⅲ(2)	保健・体育Ⅳ(2)		保健・体育Ⅴ(1)				
		基礎教養分野	音楽Ⅰ(1) 情報リテラシ(1)	音楽Ⅱ(1)		△文学Ⅰ △文学Ⅱ	△文学Ⅲ △文学Ⅳ					
	専門科目	一般基礎知識			応用物理Ⅰ(2)	応用物理Ⅱ(2)						
		材料と構造に関する力学			材料力学Ⅰ(2) 機械材料学Ⅰ(2)	応用数学Ⅰ(2) 応用数学Ⅱ(2) 材料力学Ⅱ(2) 機械材料学Ⅱ(1)		△材料力学Ⅲ(2) △材料工学Ⅰ(1)				
		エネルギーと環境に関する力学				水力学(2) 工業熱力学(2)		流体力学(2) 熱工学(△)未修得 △エネルギー機械 機械動力学(△)未修得				
		機械システムの運動・振動・騒音に関する知識			工業力学(2) 機構学(2)	機械振動学(2)						
		機械システムの設計・生産加工に関する知識		機械工作法Ⅰ(1)	機械工作法Ⅱ(1)	機械工作法Ⅲ(1) 機械設計法(2)		生産システム工学(2)				
一般	情報と計測・制御に関する知識	図形情報ワークショップⅠ(1)	図形情報ワークショップⅡ(2)	情報処理(1) 基礎電気電子工学(1)		メカトロニクス(1)	△マイクロエレクトロニクス(△)未修得 計測工学(2) 制御工学(△)未修得 △応用情報処理					
	ものづくりの基礎となる知識・技術	◎機械工学実験実習Ⅰ(3) 基礎製図Ⅰ(2) ものづくりワークショップ(1)	◎機械工学実験実習Ⅱ(3) 基礎製図Ⅱ(2)	◎機械工学実験実習Ⅲ(3) ◎設計製図Ⅰ(2)								
	幅広い分野に関わる基礎知識											
B. 持てる知識を 使う応用力	一般							一般科目単位数:0 専門科目単位数:22 計単位数:22 ◎必修単位数有り	一般科目単位数:0 専門科目単位数:21 計単位数:21 ◎必修単位数有り			
	専門				◎機械工学実験実習Ⅳ(3) ◎設計製図Ⅱ(3) 機械工学演習Ⅰ(1)		◎設計製図Ⅲ(3) ◎設計製図Ⅳ(3) 機械工学演習Ⅱ(△)未修得 ◎卒業研究(△)	◎必修単位数有り	◎必修単位数有り			
C. 社会と自らを 高める発展力	一般							一般科目単位数:0 専門科目単位数:8 計単位数:8 ◎必修単位数有り	一般科目単位数:0 専門科目単位数:8 計単位数:8 ◎必修単位数有り			
	専門				△校外実習(自由選択)		◎卒業研究(△)	◎必修単位数有り	◎必修単位数有り			
D. 地球の一員として の倫理力	一般	(歴史Ⅰ)(2) (国語Ⅰ)(4) (情報リテラシ)(1)	(現代社会)(2) (国語Ⅱ)(3)	(地理)(2) (国語Ⅲ)(2)	(△文学Ⅰ)(2) (△文学Ⅱ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)	(△文学Ⅲ)(2) (△文学Ⅳ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)		一般科目単位数:20 専門科目単位数:5 計単位数:25 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:20 専門科目単位数:5 計単位数:25 ※落差単位数を超える			
	専門			機械工学セミナー(1)		環境科学(2) 技術者倫理(2)		※落差単位数を超える	※落差単位数を超える			
E. 社会と関わる ためのコミュニケーション力	一般	日本語によるコミュニケーション (ものづくりワークショップ)(1)	国語Ⅱ(3)	国語Ⅲ(2) (機械工学セミナー)(1)	(△校外実習)(自由選択)		(◎卒業研究)(△)	一般科目単位数:9 専門科目単位数:10 計単位数:19 ◎必修単位数有り	一般科目単位数:9 専門科目単位数:10 計単位数:19 ◎必修単位数有り			
	専門	外国語によるコミュニケーション	英語総合Ⅰ(3) 基礎英語演習Ⅰ(1) 基礎英語会話Ⅰ(1)	英語総合Ⅱ(3) 基礎英語演習Ⅱ(1) 基礎英語会話Ⅱ(1)	英語総合Ⅲ(3) 基礎英語演習Ⅲ(1) 基礎英語会話Ⅲ(1)	英語総合演習(2) ドイツ語Ⅰ(2)	△実用工業英語(2) △英米文学 △英語会話 △英語演習 △時事英語 △コミュニケーション △ドイツ語Ⅱ △中国語 △韓国語	一般科目単位数:23 専門科目単位数:1 計単位数:24 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:23 専門科目単位数:1 計単位数:24 ※落差単位数を超える			

本科学生(準学士課程)の達成目標
 ①学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。
 ②実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。
 ③関心のある分野について継続的に学習していくことができる。
 ④地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。
 ⑤日本語および英語の資料等を読み、適切に理解することができる。
 ⑥自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。

機械工学科	
履修単位数(自由選択を除く)	82
一般科目単位数	96
専門科目単位数	178
総履修単位数	75以上
課程修了認定に必要な単位数	82以上
一般科目単位数	167以上
履修単位数-課程修了認定必要単位数: 「落差単位数」と呼称	7
一般科目単位数	14
専門科目単位数	11
総単位数	

(出典 企画部作成資料)

資料6-1-②-1 修得単位数が最も少なかった学科別下位2名程度の達成状況確認資料

機械工学科 平成25年度準学士課程修了生 学生M02(一般79+専門91=170単位、自由選択を除く)の修得単位数説明資料

◎: 必修(必修)科目 △: 選択科目 (): 複数の達成目標に関係する科目

学習教育目標	細目	授業科目名								目標別の全履修単位数 (自由選択科目を除く)	学生M02 目標別の全履修単位数 (自由選択科目を除く)		
		1年				2年							
		1年 通年	2年 通年	3年 通年	4年 前期	4年 後期	5年 前期	5年 後期					
A. 技術者としての 基礎力	一般科目 教養基礎知識	数学分野	数学Ⅰ(3) 数学Ⅱ(3)未修得	微分・積分(3) 代数・幾何(2)	解析Ⅰ(3) 解析Ⅱ(2)	△解析Ⅲ(自由選択)						一般科目単位数:49 専門科目単位数:68 計単位数:117 ◎必修得単位有り	一般科目単位数:46 専門科目単位数:64 計単位数:110 ◎必修得単位有り
		理科学分野	物理Ⅰ(2) 化学Ⅰ(3)	物理Ⅱ(3) 化学Ⅱ(2)									
		社会科学分野	歴史Ⅰ(2)	現代社会(2)	地理(2)	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ						
		保健体育分野	保健・体育Ⅰ(3)	保健・体育Ⅱ(2)	保健・体育Ⅲ(2)	保健・体育Ⅳ(2)					保健・体育Ⅴ(1)		
		基礎教養分野	音楽Ⅰ(1) 情報リテラシー(1)	音楽Ⅰ(1)		△文学Ⅰ △文学Ⅱ	△文学Ⅲ △文学Ⅳ						
	専門科目 専門基礎知識	一般基礎知識			応用物理Ⅰ(2)	応用物理Ⅱ(2) 応用数学Ⅰ(2) 応用数学Ⅱ(2)							
		材料と構造に関する 力学			材料力学Ⅰ(2) 機械材料学Ⅰ(2)	材料力学Ⅱ(2) 機械材料学Ⅱ(1)			△材料力学Ⅲ(2) △材料工学Ⅰ(1)				
		エネルギーと環境に 関する力学				水力学(2) 工業力学(2) 機械工学(2)			流体力学(2) 熱工学(2) △エネルギー機械 機械動力学(2)				
		機械システムの運動・ 振動・騒音に関する知識			工業力学(2) 機械工学(2)	機械振動学(2)							
		機械システムの設計・ 生産加工に関する知識		機械工作法Ⅰ(1)	機械工作法Ⅱ(1)	機械工作法Ⅲ(1) 機械設計法(2)			生産システム工学(2)				
		図形情報ワークショップ に関する知識	図形情報ワークショップⅠ(1)	図形情報ワークショップⅡ(2)	情報処理(1) 基礎電気電子工学(1)		メカトロニクス(1)		アクチュエータ工学(1) 計測工学(2) 制御工学(2)未修得 △応用情報処理				
		ものづくりの基礎となる 知識・技術	◎機械工学実験実習Ⅰ(3) 基礎製図Ⅰ(2) ものづくりワークショップ(1)	◎機械工学実験実習Ⅱ(3) 基礎製図Ⅱ(2)	◎機械工学実験実習Ⅲ(3) ◎設計製図Ⅰ(2)								
		幅広い分野に関わる 基礎知識											
B. 持てる知識を 使う応用力	一般									一般科目単位数:0 専門科目単位数:22 計単位数:22 ◎必修得単位有り	一般科目単位数:0 専門科目単位数:21 計単位数:21 ◎必修得単位有り		
	専門				◎機械工学実験実習Ⅳ(3) ◎設計製図Ⅱ(3) 機械工学演習Ⅰ(1)			◎機械工学実験実習Ⅴ(3) ◎設計製図Ⅲ(3) ◎卒業研究Ⅰ(8) ◎卒業研究Ⅱ(8)		一般科目単位数:0 専門科目単位数:8 計単位数:8 ◎必修得単位有り	一般科目単位数:0 専門科目単位数:8 計単位数:8 ◎必修得単位有り		
C. 社会と自らを 高める発展力	一般									一般科目単位数:0 専門科目単位数:8 計単位数:8 ◎必修得単位有り	一般科目単位数:0 専門科目単位数:8 計単位数:8 ◎必修得単位有り		
	専門				△校外実習(自由選択)			◎卒業研究(8)		一般科目単位数:0 専門科目単位数:8 計単位数:8 ◎必修得単位有り	一般科目単位数:0 専門科目単位数:8 計単位数:8 ◎必修得単位有り		
D. 地球の一員と しての倫理力	一般	(歴史Ⅰ)(2) (国語Ⅰ)(4) (情報リテラシー)(1)	(現代社会)(2) (国語Ⅱ)(3)	(地理)(2) (国語Ⅲ)(2)	(△文学Ⅰ)(2) (△文学Ⅱ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)	(△文学Ⅲ)(2) (△文学Ⅳ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)				一般科目単位数:20 専門科目単位数:5 計単位数:25 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:20 専門科目単位数:5 計単位数:25 ※落差単位数を超える		
	専門			機械工学セミナー(1)				環境科学(2) 技術者倫理(2)		一般科目単位数:9 専門科目単位数:10 計単位数:19 ◎必修得単位有り	一般科目単位数:9 専門科目単位数:10 計単位数:19 ◎必修得単位有り		
E. 社会と関わる ためのコミュニケーション力	一般	日本語によるコミュニケーション (ものづくりワークショップ)(1)	国語Ⅱ(3)	(機械工学セミナー)(1)	(△校外実習)(自由選択)			(◎卒業研究)(8)		一般科目単位数:9 専門科目単位数:10 計単位数:19 ◎必修得単位有り	一般科目単位数:9 専門科目単位数:10 計単位数:19 ◎必修得単位有り		
	専門	英語総合Ⅰ(2) 基礎英語演習Ⅰ(1) 基礎英語会話Ⅰ(1)	英語総合Ⅱ(3) 基礎英語演習Ⅱ(1) 基礎英語会話Ⅱ(1)	英語総合Ⅲ(3) 基礎英語演習Ⅲ(1) 基礎英語会話Ⅲ(1)	英語総合演習(2) ドイツ語Ⅰ(2)			△実用工業英語(2) △英文学 △英語会話 △英語演習 △時事英語 △コミュニケーション △ドイツ語Ⅱ △中国語 △韓国語		一般科目単位数:23 専門科目単位数:1 計単位数:24 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:23 専門科目単位数:1 計単位数:24 ※落差単位数を超える		
	専門							工業英語(1)		一般科目単位数:23 専門科目単位数:1 計単位数:24 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:23 専門科目単位数:1 計単位数:24 ※落差単位数を超える		

本科学生(準学士課程)の達成目標

- ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。
- ② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。
- ③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。
- ④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。
- ⑤ 日本語および英語の資料等を読み、適切に理解することができる。
- ⑥ 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。

- (基礎力)
- (応用力)
- (発展力)
- (倫理力)
- (コミュニケーション力)
- (コミュニケーション力)

機械工学科	
履修単位数(自由選択を除く)	一般科目単位数:82
	専門科目単位数:96
課程修了認定に必要な単位数	総履修単位数:178
	一般科目単位数:75以上
	専門科目単位数:82以上
	単位数:167以上
履修単位数-課程修了認定必要単位数: 「落差単位数」と呼称	一般科目単位数:7
	専門科目単位数:14
	総単位数:11

(出典 企画部作成資料)

資料6-1-②-1 修得単位数が最も少なかった学科別下位2名程度の達成状況確認資料

機械工学科 平成25年度準学士課程修了生 学生M03(一般79+専門91=170単位、自由選択を除く)の修得単位数説明資料

◎ : 必修(必修)科目 △ : 選択科目 () : 複数の達成目標に関連する科目

学習教育目標	細目	授業科目名								目標別の全層修得単位数 (自由選択科目を除く)	学生M03 目標別の全層修得単位数 (自由選択科目を除く)	
		本科(準学士課程) 機械工学科										
		1年 通年	2年 通年	3年 通年	4年 前期	4年 後期	5年 前期	5年 後期				
A. 技術者としての 基礎力	一般科目	数学分野	数学Ⅰ(3) 数学Ⅱ(3)	微分・積分(3) 代数・幾何(2)	解析Ⅰ(4)未修得 解析Ⅱ(2)	△解析Ⅲ(自由選択2)					一般科目単位数:49 専門科目単位数:68 計単位数:117 ◎必修得単位数有り	一般科目単位数:46 専門科目単位数:64 計単位数:110 ◎必修得単位数有り
		理科学分野	物理Ⅰ(2) 化学Ⅰ(3) 歴史Ⅰ(2)	物理Ⅱ(3) 化学Ⅱ(2) 現代社会(2)	地理(2)	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ					
		社会分野										
		保健・体育分野	保健・体育Ⅰ(3)	保健・体育Ⅱ(2)	保健・体育Ⅲ(2)	保健・体育Ⅳ(2)		保健・体育Ⅴ(1)				
		基礎教養分野	音楽Ⅰ(1) 情報リテラシー(1)	音楽Ⅱ(1)		△文学Ⅰ △文学Ⅱ	△文学Ⅲ △文学Ⅳ					
	専門科目	一般基礎知識			応用物理Ⅰ(2)	応用物理Ⅱ(2)						
		材料と構造に関する力学			材料力学Ⅰ(2) 機械材料学Ⅰ(2)	材料力学Ⅱ(2) 機械材料学Ⅱ(1)			△材料力学Ⅲ(2) △材料工学Ⅰ(1)			
		エネルギーと環境に関する力学				水力学(2) 工業熱力学(2)			流体力学(2) 熱工学(2) △エネルギー機械			
		機械システムの運動・振動・騒音に関する知識			工業力学(2) 機械学(2)		機械振動学(2)		機械動力学(2)未修得			
		機械システムの設計・生産加工に関する知識		機械工作法Ⅰ(1)	機械工作法Ⅱ(1)	機械工作法Ⅲ(1) 機械設計法(2)		生産システム工学(2)				
B. 持てる知識を 使う応用力	専門科目	情報と制御に関する知識	図形情報ワークショップⅠ(1)	図形情報ワークショップⅡ(2)	情報処理(1) 基礎電気電子工学Ⅰ(1)		メカトロニクスⅠ(1)		アタチューータ工学Ⅰ(1) 計測工学Ⅱ(2) 制御工学(4)未修得 △応用情報処理			
		ものづくりの基礎となる知識・技術	◎機械工学実験実習Ⅰ(3) 基礎製図Ⅰ(2) ものづくりワークショップ(1)	◎機械工学実験実習Ⅱ(3) 基礎製図Ⅱ(2)	◎機械工学実験実習Ⅲ(3) ◎設計製図Ⅰ(2)							
		幅広い分野に関わる基礎知識										
		◎機械工学実験実習Ⅳ(3) ◎設計製図Ⅱ(3) ◎設計製図Ⅲ(3) ◎設計製図Ⅳ(3) ◎卒業研究Ⅰ(8)										
C. 社会と自らを 高める発展力	専門科目	◎機械工学実験実習Ⅴ(3) ◎設計製図Ⅴ(3) ◎設計製図Ⅵ(3) ◎設計製図Ⅶ(3) ◎卒業研究Ⅱ(8)								一般科目単位数:0 専門科目単位数:22 計単位数:22 ◎必修得単位数有り	一般科目単位数:0 専門科目単位数:21 計単位数:21 ◎必修得単位数有り	
		◎卒業研究Ⅲ(8)								一般科目単位数:0 専門科目単位数:8 計単位数:8 ◎必修得単位数有り	一般科目単位数:0 専門科目単位数:8 計単位数:8 ◎必修得単位数有り	
D. 地球の一員と しての倫理力	一般		(歴史Ⅰ)(2) (国語Ⅰ)(4) (情報リテラシー)(1)	(現代社会)(2) (国語Ⅱ)(3)	(地理)(2) (国語Ⅲ)(2)	(△文学Ⅰ)(2) (△文学Ⅱ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)	(△文学Ⅲ)(2) (△文学Ⅳ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)			一般科目単位数:20 専門科目単位数:5 計単位数:25 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:20 専門科目単位数:5 計単位数:25 ※落差単位数を超える	
		専門			機械工学セミナー(1)			環境科学(2) 技術者倫理(2)				
E. 社会と関わる ためのコミュニケーション力	一般	日本語によるコミュニケーション	(ものづくりワークショップ)(1)	国語Ⅱ(3)	国語Ⅲ(2) (機械工学セミナー)(1)	(△校外実習)(自由選択1)				一般科目単位数:9 専門科目単位数:10 計単位数:19 ◎必修得単位数有り	一般科目単位数:9 専門科目単位数:10 計単位数:19 ◎必修得単位数有り	
		外国語によるコミュニケーション	英語総合Ⅰ(3) 基礎英語演習Ⅰ(1) 基礎英語会話Ⅰ(1)	英語総合Ⅱ(3) 基礎英語演習Ⅱ(1) 基礎英語会話Ⅱ(1)	英語総合Ⅲ(3) 基礎英語演習Ⅲ(1) 基礎英語会話Ⅲ(1)	英語総合演習Ⅱ(2) ドイツ語Ⅰ(2)		△実用工業英語(2) △英米文学 △英語会話 △英語演習 △時事英語 △コミュニケーション △ドイツ語Ⅱ △中国語 △韓国語		一般科目単位数:23 専門科目単位数:1 計単位数:24 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:23 専門科目単位数:1 計単位数:24 ※落差単位数を超える	
専門							工業英語(1)					

本科学生(準学士課程)の達成目標
 ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。
 ② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。
 ③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。
 ④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。
 ⑤ 日本語および英語の資料等を読み、適切に理解することができる。
 ⑥ 自らの専攻等について分かりやすく関係者に説明することができる。

		機械工学科
履修単位数 (自由選択を除く)	一般科目単位数	82
	専門科目単位数	96
	総履修単位数	178
課程終了認定に必要な単位数	一般科目単位数	75以上
	専門科目単位数	82以上
	総単位数	167以上
履修単位数-課程終了認定必要単位数 「落差単位数」と呼称	一般科目単位数	7
	専門科目単位数	14
	総単位数	11

(出典 企画部作成資料)

資料6-1-②-1 修得単位数が最も少なかった学科別下位2名程度の達成状況確認資料

電気情報工学科 平成25年度準学士課程修了生 学生E01(一般81+専門87=168単位、自由選択を除く)の修得単位数説明資料

◎ : 必修(必修)科目 △ : 選択科目 () : 複数の達成目標に關係する科目

学習教育目標	細目	授業科目名										目標別の全履修単位数 (自由選択科目を除く)	学生E01 目標別の全修得単位数 (自由選択科目を除く)			
		1年					2年									
		通年	通年	通年	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
A. 技術者としての基礎力	一般科目	数学分野	数学Ⅰ(3) 数学Ⅱ(3)	微分・積分(3) 代数・幾何(2)	解析Ⅰ(3) 解析Ⅱ(2)	△解析Ⅲ(自由選択2)										
		理料分野	物理Ⅰ(2) 化学Ⅰ(3)	物理Ⅱ(3) 化学Ⅱ(2)	地理(2)	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ									
		社会分野	歴史Ⅰ(2)	現代社会(2)	地理(2)	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ									
		保健・体育分野	保健・体育Ⅰ(3)	保健・体育Ⅱ(2)	保健・体育Ⅲ(2)	保健・体育Ⅳ(2)	保健・体育Ⅴ(4)未修得									
		基礎教養分野	音楽Ⅰ(1) 情報リテラシー(1)	音楽Ⅱ(1)		△文学Ⅰ △文学Ⅱ	△文学Ⅲ △文学Ⅳ									
	専門科目	一般基礎知識	電気数学(1)		応用物理Ⅰ(2)	応用物理Ⅱ(2)	応用数学Ⅰ(2)	応用数学Ⅱ(2)								
		電気情報工学の基礎知識	電気回路(2)	電気回路Ⅱ(2) 電気計測Ⅰ(1)	電気回路Ⅲ(2) 電気計測Ⅱ(1)	電気回路Ⅳ(2) 電子デバイスⅡ(2) デジタル回路(2) 電気機器Ⅰ(2)	電子回路Ⅰ(2)	電子回路Ⅱ(2) 電子回路Ⅲ(2) 電力工学(2) 制御工学(2)未修得 △電気法規(1)	△パワーエレクトロニクス(2) △エネルギー変換工学(2)	△高圧工学(2)						
		電子デバイス分野に関する知識							電子回路Ⅲ(2)未修得							
		電力エネルギー制御分野に関する知識														
		通信・情報分野に関する知識	情報処理(2)	プログラミングⅠ(2)	プログラミングⅡ(2)		コンピュータ工学(2) △情報通信法規	△ソフトウェア工学 △通信工学	情報ネットワーク工学(2)未修得							
幅広い分野に關する基礎知識								電気材料(2) 信号処理(2)未修得 △数値計算工学								
B. 持てる知識を使う応用力	一般															
	専門科目	電気情報基礎実験Ⅰ(2)	電気情報基礎実験Ⅱ(2)	電気情報基礎実験Ⅲ(3)	◎電気情報応用実験Ⅰ(3) 電気情報工学演習(2)	◎電気情報応用実験Ⅱ(3) (◎卒業研究)(8) △電気機器設計(3) △電子回路設計										
C. 社会と自らを高める発展力	一般															
	専門				△校外実習(自由選択1)	◎卒業研究(8)										
D. 地球の一員としての倫理力	一般	(歴史Ⅰ)(2) (国語Ⅰ)(4) (情報リテラシー)(1)	(現代社会)(2) (国語Ⅱ)(3)	(地理)(2) (国語Ⅲ)(2)	(△文学Ⅰ)(2) (△文学Ⅱ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)	(△文学Ⅲ)(2) (△文学Ⅳ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)										
	専門							環境科学(2)	技術者倫理(2)							
E. 社会と関わるためのコミュニケーション力	一般	日本語によるコミュニケーション	国語Ⅰ(4)	国語Ⅱ(3)	国語Ⅲ(2)	(△校外実習)(自由選択1)	(◎卒業研究)(8)									
	専門	日本語によるコミュニケーション														
	一般科目	外国語によるコミュニケーション	英語総合Ⅰ(3) 基礎英語演習Ⅰ(1) 基礎英語会話Ⅰ(1)	英語総合Ⅱ(3) 基礎英語演習Ⅱ(1) 基礎英語会話Ⅱ(1)	英語総合Ⅲ(3) 基礎英語演習Ⅲ(1) 基礎英語会話Ⅲ(1)	英語総合演習(2) ドイツ語Ⅰ(2)	△実用工業英語(2) △英米文学 △英語会話 △英語演習 △時事英語 △コミュニケーション △ドイツ語Ⅱ △中国語 △韓国語									
専門								電気情報英語(1)								

本科学生(準学士課程)の達成目標

- ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。
- ② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析、報告することができる。
- ③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。
- ④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を営むことができる。
- ⑤ 日本語および英語の資料等を調べ、適切に理解することができる。
- ⑥ 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。

- (基礎力)
- (応用力)
- (発展力)
- (倫理力)
- (コミュニケーション力)
- (コミュニケーション力)

履修単位数 (自由選択を除く)		電気情報工学科	
一般科目単位数	82	一般科目単位数	23
専門科目単位数	95	専門科目単位数	17
総履修単位数	177	総履修単位数	40
課程修了認定に必要な単位数		一般科目単位数	75以上
		専門科目単位数	82以上
		総単位数	167以上
履修単位数-課程修了認定必要単位数: 「落差単位」と呼称		一般科目単位数	7
		専門科目単位数	13
		総単位数	20

(出典 企画部作成資料)

資料6-1-②-1 修得単位数が最も少なかった学科別下位2名程度の達成状況確認資料

電気情報工学科 平成25年度準学士課程修了生 学生E02(一般80+専門87=167単位、自由選択を除く)の修得単位数説明資料

◎ : 必修(必修)科目 △ : 選択科目 () : 複数の達成目標に關係する科目

学習教育目標	細目	授業科目名										目標別の全履修単位数 (自由選択科目を除く)	学生E02 目標別の全修得単位数 (自由選択科目を除く)				
		1年					2年										
		通年	通年	通年	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
A. 技術者としての 基礎力	一般科目	数学分野	数学Ⅰ(3) 数学Ⅱ(3)	微分・積分(3) 代数・幾何(2)	解析Ⅰ(3) 解析Ⅱ(2)	△解析Ⅲ(自由選択2)											
		理料分野	物理Ⅰ(4)未修得	物理Ⅱ(3) 化学Ⅰ(3)													
		社会分野	歴史Ⅰ(2)	現代社会(2)	地理(2)	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ										
		保健体育分野	保健・体育Ⅰ(3)	保健・体育Ⅱ(2)	保健・体育Ⅲ(2)	保健・体育Ⅳ(2)											
		基礎教養分野	音楽Ⅰ(1) 情報リテラシ(1)	音楽Ⅱ(1)		△文学Ⅰ △文学Ⅱ	△文学Ⅲ △文学Ⅳ										
	専門科目	一般基礎知識	電気数学(1)		応用物理Ⅰ(2)		応用物理Ⅱ(2) 応用数学Ⅰ(2) 応用数学Ⅱ(2)										
		電気情報工学の基礎知識	電気製図(2)	電気磁気学Ⅰ(2) 電気回路Ⅰ(2)未修得 電気計測Ⅰ(1)	電気磁気学Ⅱ(2) 電気回路Ⅱ(2) 電気計測Ⅱ(1)	電気磁気学Ⅲ(2) 電気回路Ⅲ(2)											
		電子デバイス分野に関する知識			電子デバイスⅠ(2) デジタル回路(2) 電気機器Ⅰ(2)	電子デバイスⅡ(2) 電子回路Ⅰ(2) 電気機器Ⅱ(2)	電子回路Ⅱ(2) 電子回路Ⅲ(2) 電子回路Ⅳ(2)未修得										
		電力エネルギー制御分野に関する知識				電力工学(2) 制御工学(2)未修得 △電気法規(1)					△パワーエレクトロニクス(2) △エネルギー変換工学(2)	△高圧工学(2)					
		通信・情報分野に関する知識	情報処理(2)	プログラミングⅠ(2)	プログラミングⅡ(2)	コンピュータ工学(2)未修得 △情報通信法規		△ソフトウェア工学 △通信工学	情報ネットワーク工学(2)								
幅広い分野に關する基礎知識										電気材料(2) 信号処理(2) △数値計算工学							
B. 持てる知識を 使う応用力	一般																
	専門科目		電気情報基礎実験Ⅰ(2)	電気情報基礎実験Ⅱ(2)	電気情報基礎実験Ⅲ(3)	◎電気情報応用実験Ⅰ(3) 電気情報工学演習(2)				◎電気情報応用実験Ⅱ(3) (◎卒業研究)(8) △電気機器設計(3) △電子回路設計							
C. 社会と自らを 高める発展力	一般																
	専門					△校外実習(自由選択1)				◎卒業研究(8)							
D. 地球の一員と しての倫理力	一般																
	専門										環境科学(2)	技術者倫理(2)					
E. 社会と関わる ためのコミュニケーション力	一般																
	専門																
	一般科目	日本語によるコミュニケーション	英語総合Ⅰ(3) 基礎英語演習Ⅰ(1) 基礎英語会話Ⅰ(1)	英語総合Ⅱ(3) 基礎英語演習Ⅱ(1) 基礎英語会話Ⅱ(1)	英語総合Ⅲ(3) 基礎英語演習Ⅲ(1) 基礎英語会話Ⅲ(1)	英語総合演習(2) ドイツ語Ⅰ(2)				△実用工業英語(2) △英米文学 △英語会話 △英語演習 △時事英語 △コミュニケーション △ドイツ語Ⅱ △中国語 △韓国語							
専門	外国語によるコミュニケーション																

本科学生(進学士課程)の達成目標

- ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。
- ② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。
- ③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。
- ④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を営むことができる。
- ⑤ 日本語および英語の資料等を読み、適切に理解することができる。
- ⑥ 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。

- (基礎力)
- (応用力)
- (発展力)
- (倫理力)
- (コミュニケーション力)
- (コミュニケーション力)

履修単位数 (自由選択を除く)		電気情報工学科	
一般科目単位数	82	一般科目単位数	82
専門科目単位数	95	専門科目単位数	95
総履修単位数	177	総履修単位数	177
課程修了認定に必要な単位数	75以上	一般科目単位数	75以上
	82以上	専門科目単位数	82以上
	167以上	総単位数	167以上
履修単位数-課程修了認定必要単位数: 「落差単位」と呼称	7	一般科目単位数	7
	13	専門科目単位数	13
	10	総単位数	10

(出典 企画部作成資料)

資料6-1-②-1 修得単位数が最も少なかった学科別下位2名程度の達成状況確認資料

電子制御工学科 平成25年度準学士課程修了生 学生D01(一般82+専門85=167単位、自由選択を除く)の修得単位数説明資料

◎：必修(必修得)科目 △：選択科目 ()：複数の達成目標に關係する科目

学習教育目標	細目	授業科目名										目標別の全履修単位数 (自由選択科目を除く)	学生D01 目標別の全修得単位数 (自由選択科目を除く)															
		1年					2年							3年					4年					5年				
		通年	通年	通年	前期	後期	通年	前期	後期	前期	後期			通年	前期	後期	前期	後期	通年	前期	後期	前期	後期					
A. 技術者としての 基礎力	一般科目	数学分野	数学Ⅰ(3) 数学Ⅱ(3)	微分・積分(3) 代数・幾何(2)	解析Ⅰ(3) 解析Ⅱ(2)	△解析Ⅲ(自由選択)																		一般科目単位数:49 専門科目単位数:73 計単位数:122 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:49 専門科目単位数:65 計単位数:114 ※落差単位数を超える			
		理科分野	物理Ⅰ(2) 化学Ⅰ(3)	物理Ⅱ(3) 化学Ⅱ(2)																								
		社会分野	歴史Ⅰ(2)	現代社会(2)	地理(2)	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ																					
		保健体育分野	保健・体育Ⅰ(3)	保健・体育Ⅱ(2)	保健・体育Ⅲ(2)	保健・体育Ⅳ(2)																						
		基礎教養分野	音楽Ⅰ(1) 情報リテラシ(1)	音楽Ⅱ(1)		△文学Ⅰ △文学Ⅱ	△文学Ⅲ △文学Ⅳ																					
	専門科目	一般基礎知識			応用物理Ⅰ(2)	応用物理Ⅱ(2) 応用数学Ⅰ(2) 応用数学Ⅱ(2)																						
		電気・電子及び計測・制御に関する知識		電磁気学Ⅰ(2) デジタル回路Ⅰ(1)	デジタル回路Ⅱ(2) 電気回路Ⅰ(2) 電子回路Ⅰ(2)未修得 電子計測(2) 電気・電子回路演習(1)	電子デバイス(2)未修得 電気回路Ⅱ(2) 電子回路Ⅱ(2)未修得 パルス回路設計(1)	電磁気学Ⅱ(2) 自動制御(2) 電気回路Ⅱ(2) 電子回路Ⅱ(2)未修得 △電子物性	電気電子材料(2) 工業数学(2)																				
		情報・コンピュータに関する知識	情報処理Ⅰ(2)	情報処理Ⅱ(2)	計算機概論(2)	計算機工学Ⅰ(2)																						
		機械システムとその制御に関する知識			材料力学Ⅰ(2)	材料力学Ⅱ(2) 機械運動学(2) 機械設計法(2)																						
		ものづくりの基礎となる知識・技術	工学実験実習Ⅰ(2) 基礎製図(2) 電子制御基礎(1)	工学実験実習Ⅱ(2) 設計製図(2)	工学実験実習Ⅲ(3)																							
B. 持てる知識を 使う応用力	一般																											
	専門					◎工学実験実習Ⅳ(3)																						
C. 社会と自らを 高める先駆力	一般																											
	専門						△校外実習(自由選択)																					
D. 地球の一端と しての倫理力	一般																											
	専門																											
E. 社会と関わる ためのコミュニケーション力	一般																											
	専門																											

本科学士(準学士課程)の達成目標

- ①学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。(基礎力)
- ②実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。(応用力)
- ③関心のある分野について継続的に学習していくことができる。(発展力)
- ④地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を営むことができる。(倫理力)
- ⑤日本語および英語の資料等を読み、適切に理解することができる。(コミュニケーション力)
- ⑥自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。(コミュニケーション力)

		電子制御工学科	
履修単位数(自由選択を除く)	一般科目単位数	82	
	専門科目単位数	95	
課程修了認定に必要な単位数	総履修単位数	177	
	一般科目単位数	75以上	
履修単位数-課程修了認定必要単位数: 「落差単位」と呼称	専門科目単位数	82以上	
	総単位数	167以上	
	一般科目単位数	7	
	専門科目単位数	13	
	総単位数	10	

(出典 企画部作成資料)

資料6-1-②-1 修得単位数が最も少なかった学科別下位2名程度の達成状況確認資料

物質工学科 平成25年度準学士課程修了生 学生C01(一般80+専門89=169単位、自由選択を除く)の修得単位数説明資料

◎ : 必修(必修得)科目 △ : 選択科目 () : 複数の達成目標に關係する科目

学習教育目標	細目	授業科目名										目標別の全履修単位数 (自由選択科目を除く)	学生C01 目標別の全修得単位数 (自由選択科目を除く)					
		1年					2年											
		通年	通年	通年	前期	後期	通年	通年	通年	前期	後期							
A. 技術者としての基礎力	一般科目 教養基礎知識	数学分野	数学Ⅰ(3) 数学Ⅱ(3)	微分・積分(3) 代数・幾何(2)	解析Ⅰ(3) 解析Ⅱ(2)未修得	△解析Ⅲ(自由選択2)												
		理科分野	物理Ⅰ(2) 基礎化学(3) 生物学(2)	物理Ⅱ(3)														
		社会分野	歴史Ⅰ(2)	現代社会(2)	地理(2)	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ											
		保健体育分野	保健・体育Ⅰ(3) 音楽Ⅰ(1)	保健・体育Ⅱ(2) 音楽Ⅱ(1)	保健・体育Ⅲ(2)	保健・体育Ⅳ(2)	△文学Ⅰ △文学Ⅱ	△文学Ⅲ △文学Ⅳ										
		基礎教養分野	情報/テラシ(1)															
	専門科目 専門基礎知識	一般基礎知識	物質工学基礎演習(1)	情報科学Ⅰ(1)	情報科学Ⅱ(1) 応用物理Ⅰ(2)	△工業数学Ⅰ(2)未修得	工業数学Ⅱ(2)											
		有機化学系		有機化学基礎(1)	高分子化学基礎(1)	有機化学Ⅰ(2)	有機化学Ⅱ(2)	有機材料(材料C)(1) 高分子化学(材料C)(2)未修得										
		無機化学系			無機化学基礎(1)	無機化学Ⅰ(2)	無機化学Ⅱ(2)	無機材料(材料C)(1)										
		物理化学系			物理化学基礎(1)	物理化学Ⅰ(2)未修得	物理化学Ⅱ(2)未修得											
		分析化学系		分析化学基礎(1)		分析化学Ⅰ(2)	分析化学Ⅱ(2)											
		生物化学系		生化学基礎(1) 微生物学基礎(1)		生化学Ⅰ(2)	生化学Ⅱ(2)	分子生物学(生物C)(2) 酵素化学(生物C)(2) 細胞工学(生物C)(1) 応用微生物学(生物C)(1)										
		プロセス系			化学工学基礎(1)	化学工学Ⅰ(2)	化学工学Ⅱ(2)	材料プロセス工学(材料C)(2)										
		物質工学系	物質工学概論(1)		材料・生物工学概論(1)													
		幅広い分野に關わる基礎知識				情報工学Ⅰ(2)	情報工学Ⅱ(2)未修得	生産工学(1) 機械工学概論(1) 電気工学概論(1)										
		B. 持てる知識を 使う応用力	一般															
専門	◎物質工学基礎実験(3)		◎分析化学基礎実験(3) 物質工学創造実習(2)	◎有機化学基礎実験(3) ◎生化学・微生物学基礎実験(3)	◎物質工学実験Ⅰ(3) ◎物質工学実験Ⅱ(3)													
C. 社会と自らを 高める発展力	一般																	
	専門		基礎化学演習(1)	分析化学基礎演習(1) 有機化学基礎演習(1) 生化学基礎演習(1)	無機化学・物理化学基礎演習(1)未修得 △校外実習(自由選択1)													
D. 地球の一員と しての倫理力	一般	(歴史Ⅰ)(2) (国語Ⅰ)(4) (情報/テラシ)(1)	(現代社会)(2) (国語Ⅱ)(3)	(地理)(2) (国語Ⅲ)(2)	(△文学Ⅰ)(2) (△文学Ⅱ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)	(△文学Ⅲ)(2) (△文学Ⅳ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)												
	専門			環境科学基礎(1)														
E. 社会と関わる ためのコミュニケーション力	一般																	
	専門	日本語によるコミュニケーション	国語Ⅰ(4)	国語Ⅱ(3)	国語Ⅲ(2)	(△校外実習)(自由選択1)												
	一般科目	外国語によるコミュニケーション	英語総合Ⅰ(3) 基礎英語演習Ⅰ(1) 基礎英語会話Ⅰ(1)	英語総合Ⅱ(3) 基礎英語演習Ⅱ(1) 基礎英語会話Ⅱ(1)	英語総合Ⅲ(3) 基礎英語演習Ⅲ(1) 基礎英語会話Ⅲ(1)	英語総合演習(2) ドイツ語Ⅰ(2)	△実用工業英語(2) △英米文学 △英語会話 △英語演習 △時事英語 △コミュニケーション △ドイツ語Ⅱ △中国語 △韓国語											

本科学士(準学士課程)の達成目標

- ①学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。
- ②実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。
- ③関心のある分野について継続的に学習していくことができる。
- ④地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。
- ⑤日本語および英語の資料等を読み、適切に理解することができる。
- ⑥自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。

- (基礎力)
- (応用力)
- (発展力)
- (倫理力)
- (コミュニケーション力)
- (コミュニケーション力)

		物質工学科	
履修単位数 (自由選択を除く)	一般科目単位数	82	
	専門科目単位数	100	
	総履修単位数	182	
課程修了認定に必要な単位数	一般科目単位数	75以上	
	専門科目単位数	82以上	
	総単位数	167以上	
履修単位数-課程修了認定必要単位数: 「落差単位」と呼称	一般科目単位数	7	
	専門科目単位数	18	
	総単位数	15	

(出典 企画部作成資料)

資料6-1-②-1 修得単位数が最も少なかった学科別下位2名程度の達成状況確認資料

物質工学科 平成25年度準学士課程修了生 学生C02(一般79+専門91=170単位、自由選択を除く)の修得単位数説明資料

◎ : 必修(必修得)科目 △ : 選択科目 () : 複数の達成目標に關係する科目

学習教育目標	細目	授業科目名										目標別の全修得単位数 (自由選択科目を除く)	学生C02 目標別の全修得単位数 (自由選択科目を除く)	
		本科(準学士課程) 物質工学科												
		1年 通年	2年 通年	3年 通年	4年		5年							
A. 技術者としての基礎力	一般科目 教養基礎知識	数学分野	数学Ⅰ(3) 数学Ⅱ(3)	微分・積分(3) 代数・幾何(2)	解析Ⅰ(3) 解析Ⅱ(2)未修得	△解析Ⅲ(自由選択2)							一般科目単位数:49 専門科目単位数:64 計単位数:113 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:47 専門科目単位数:57 計単位数:104 ※落差単位数を超える
		理科分野	物理Ⅰ(2) 基礎化学(3) 生物学(2)	物理Ⅱ(3)										
		社会分野	歴史Ⅰ(2)	現代社会(2)	地理(2)	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ							
		保健体育分野	保健・体育Ⅰ(3)	保健・体育Ⅱ(2)	保健・体育Ⅲ(2)	保健・体育Ⅳ(2)		保健・体育Ⅴ(1)						
		基礎教養分野	音楽Ⅰ(1) 情報リテラシ(1)	音楽Ⅱ(1)		△文学Ⅰ △文学Ⅱ	△文学Ⅲ △文学Ⅳ							
	専門科目 専門基礎知識	一般基礎知識	物質工学基礎演習(1)	情報科学Ⅰ(1)	情報科学Ⅱ(1) 応用物理Ⅰ(2)	工業数学Ⅰ(2)	工業数学Ⅱ(2)							
		有機化学系		有機化学基礎(1)	高分子化学基礎(1)	有機化学Ⅰ(2)	有機化学Ⅱ(2)	有機材料(材料C)(1) 高分子化学(材料C)(2)						
		無機化学系			無機化学基礎(1)	無機化学Ⅰ(2)	無機化学Ⅱ(2)	無機材料(材料C)(1)						
		物理化学系			物理化学基礎(1)	物理化学Ⅰ(2)未修得	物理化学Ⅱ(2)未修得							
		分析化学系		分析化学基礎(1)		分析化学Ⅰ(2)未修得	分析化学Ⅱ(2)							
		生物化学系		生化学基礎(1) 微生物学基礎(1)		生化学Ⅰ(2)	生化学Ⅱ(2)	分子生物学(生物C)(2) 酵素化学(生物C)(2) 細胞工学(生物C)(1) 応用微生物学(生物C)(1)						
		プロセス系			化学工学基礎(4)未修得	化学工学Ⅰ(2)	化学工学Ⅱ(2)	材料プロセス工学(材料C)(2)						
		物質工学系	物質工学概論(1)		材料・生物工学概論(1)									
		幅広い分野に關わる基礎知識				情報工学Ⅰ(2)	情報工学Ⅱ(2)	生産工学(1) 機械工学概論(1) 電気工学概論(1)						
		B. 持てる知識を使う応用力	一般											
C. 社会と自らを高める発展力	一般										一般科目単位数:0 専門科目単位数:17 計単位数:17 ◎必修得単位有り	一般科目単位数:0 専門科目単位数:16 計単位数:16 ◎必修得単位有り		
	専門		基礎化学演習(1)	分析化学基礎演習(1) 有機化学基礎演習(1) 生化学基礎演習(1)	無機化学・物理化学基礎演習(4)未修得 △校外実習(自由選択1)		◎卒業研究(12)							
D. 地球の一員としての倫理力	一般	(歴史Ⅰ)(2) (国語Ⅰ)(4) (情報リテラシ)(1)	(現代社会)(2) (国語Ⅱ)(3)	(地理)(2) (国語Ⅲ)(2)	(△文学Ⅰ)(2) (△文学Ⅱ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)	(△文学Ⅲ)(2) (△文学Ⅳ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)					一般科目単位数:20 専門科目単位数:5 計単位数:25 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:20 専門科目単位数:5 計単位数:25 ※落差単位数を超える		
	専門			環境科学基礎(1)			環境科学(2)	技術者倫理(2)						
E. 社会と関わるためのコミュニケーション力	一般		国語Ⅰ(4)	国語Ⅱ(3)	国語Ⅲ(2)						一般科目単位数:9 専門科目単位数:12 計単位数:21 ◎必修得単位有り	一般科目単位数:9 専門科目単位数:12 計単位数:21 ◎必修得単位有り		
	専門	日本語によるコミュニケーション				(△校外実習)(自由選択1)		◎卒業研究(12)						
	一般科目	外国語によるコミュニケーション	英語総合Ⅰ(3) 基礎英語演習Ⅰ(1) 基礎英語会話Ⅰ(1)	英語総合Ⅱ(3) 基礎英語演習Ⅱ(1) 基礎英語会話Ⅱ(1)	英語総合Ⅲ(3) 基礎英語演習Ⅲ(4)未修得 基礎英語会話Ⅲ(1)	英語総合演習(2) ドイツ語Ⅰ(2)		△実用工業英語(2) △英米文学 △英語会話 △英語演習 △時事英語 △コミュニケーション △ドイツ語Ⅱ △中国語 △韓国語			一般科目単位数:23 専門科目単位数:0 計単位数:23 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:22 専門科目単位数:0 計単位数:22 ※落差単位数を超える		

本科学生(準学士課程)の達成目標

- ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。
- ② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。
- ③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。
- ④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を営むことができる。
- ⑤ 日本語および英語の資料等を読み、適切に理解することができる。
- ⑥ 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。

- (基礎力)
- (応用力)
- (発展力)
- (倫理力)
- (コミュニケーション力)
- (コミュニケーション力)

		物質工学科
履修単位数(自由選択を除く)	一般科目単位数	82
	専門科目単位数	100
	総履修単位数	182
課程修了認定に必要な単位数	一般科目単位数	75以上
	専門科目単位数	82以上
	総単位数	167以上
履修単位数-課程修了認定必要単位数: 「落差単位」と呼称	一般科目単位数	7
	専門科目単位数	18
	総単位数	15

(出典 企画部作成資料)

資料6-1-②-1 修得単位数が最も少なかった学科別下位2名程度の達成状況確認資料
 建築学科 平成25年度準学士課程修了生 学生A01(一般82+専門86=168単位、自由選択を除く)の修得単位数説明資料

◎：必修(必修)科目 △：選択科目 ()：複数の達成目標に關係する科目

学習教育目標	細目	授業科目名								目標別の全履修単位数 (自由選択科目を除く)	学生A01 目標別の全修得単位数 (自由選択科目を除く)					
		本科(準学士課程) 建築学科														
		1年		2年		3年		4年				5年				
通年		通年		通年		前期		後期		前期		後期				
A. 技術者としての基礎力 および 自持する知識を 使う応用力 (右で下線の付いた科目は、応用力の実践に 關する科目を示す)	一般科目	数学分野	数学Ⅰ(3) 数学Ⅱ(3)	微分・積分(3) 代数・幾何(2)	解析Ⅰ(3) 解析Ⅱ(2)	△解析Ⅲ(自由選択)										
		理科分野	物理Ⅰ(2) 化学Ⅰ(3)	物理Ⅱ(3) 化学Ⅱ(2)												
		社会分野	歴史Ⅰ(2)	現代社会(2)	地理(2)	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ		△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ								
		保健体育分野	保健・体育Ⅰ(3)	保健・体育Ⅱ(2)	保健・体育Ⅲ(2)	保健・体育Ⅳ(2)		保健・体育Ⅴ(1)								
		基礎教養分野	音楽Ⅰ(1) 情報リテラシ(1)	音楽Ⅰ(1)		△文学Ⅰ △文学Ⅱ		△文学Ⅲ △文学Ⅳ								
	専門科目	数学、自然科学、情報工学の幅広い分野に關わる基礎知識				応用数学(2) 応用物理(2)		(環境科学)(2)								
		建築設計、デザイン の知識(d1)	デザイン基礎Ⅰ(2) 設計製図Ⅰ(2)	デザイン基礎Ⅱ(2) 設計製図Ⅱ(3)	デザイン基礎Ⅲ(2) 設計製図Ⅲ(6)	△設計製図Ⅳ(6)未修得		△設計製図Ⅴ(3)								
		建築専門の基礎・ 応用知識	建築計画、都市計 画の知識(d2)		建築計画Ⅰ(2)	建築計画Ⅱ(2) 都市計画Ⅰ(2)		都市計画Ⅱ(2)								
		JABEE 建築分野 要件の 知識(d3)~(d5)	建築環境・設備の 知識(d3)		建築環境(2)	建築設備(2)										
		建築構造の知識 (d4)	建築構造Ⅰ(2)	建築構造Ⅱ(2)	構造力学Ⅰ(2) 構造力学Ⅱ(2)	構造力学Ⅲ(2)		構造Ⅰ(2)、木質構造(1)、基礎構造(1) 鉄筋コンクリート構造(2) △構造解析(2)								
建築生産、材料、 施工の知識(d5)				建築材料(2)		建築生産(2)										
C. 社会と自らを 高める発展力	一般				設計製図Ⅳ(6)未修得 建築ゼミナール(2) △校外実習(自由選択)		◎卒業研究(6) 設計製図Ⅴ(3)									
	専門															
	一般		(歴史Ⅰ)(2) (国語Ⅰ)(4) (情報リテラシ)(1)	(現代社会)(2) (国語Ⅱ)(3)	(地理)(2) (国語Ⅲ)(2)	(△文学Ⅰ)(2) (△文学Ⅱ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)	(△文学Ⅲ)(2) (△文学Ⅳ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)	(保健・体育Ⅴ)(1)								
	専門					(保健・体育Ⅳ)(2)		環境科学(2)	技術者倫理(2)未修得							
D. 地球の一員と しての倫理力	一般															
	専門															
E. 社会と関わる ためのコミュニ ケーション力	一般		日本語によるコミュニケーション	国語Ⅰ(4)	国語Ⅱ(3)	国語Ⅲ(2)										
	専門		(設計製図Ⅰ)(2)	(設計製図Ⅱ)(3)	(設計製図Ⅲ)(6)	(△校外実習)(自由選択)		◎卒業研究(6)								
F. 社会と関わる ためのコミュニ ケーション力	一般		外国語によるコミュニケーション	英語総合Ⅰ(3) 基礎英語演習Ⅰ(1) 基礎英語会話Ⅰ(1)	英語総合Ⅱ(3) 基礎英語演習Ⅱ(1) 基礎英語会話Ⅱ(1)	英語総合Ⅲ(3) 基礎英語演習Ⅲ(1) 基礎英語会話Ⅲ(1)	英語総合演習(2) ドイツ語Ⅰ(2)		△実用工業英語(2) △英英文学 △英語会話 △英語演習 △時事英語 △コミュニケーション △ドイツ語Ⅱ △ドイツ語Ⅰ △中国語 △韓国語							
	専門															

A. 技術者としての基礎力 一般科目単位数:49 専門科目単位数:74 計単位数:123 ※落差単位数を超える	A. 技術者としての基礎力 一般科目単位数:49 専門科目単位数:74 計単位数:123 ※落差単位数を超える
B. 持てる知識を使う応用 力 一般科目単位数:0 専門科目単位数:20 計単位数:20 ◎必修得単位数有り	B. 持てる知識を使う応用 力 一般科目単位数:0 専門科目単位数:14 計単位数:14 ◎必修得単位数有り
一般科目単位数:0 専門科目単位数:17 計単位数:17 ◎必修得単位数有り	一般科目単位数:0 専門科目単位数:11 計単位数:11 ◎必修得単位数有り
一般科目単位数:23 専門科目単位数:4 計単位数:27 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:23 専門科目単位数:4 計単位数:27 ※落差単位数を超える
一般科目単位数:9 専門科目単位数:17 計単位数:26 ◎必修得単位数有り	一般科目単位数:9 専門科目単位数:17 計単位数:26 ◎必修得単位数有り
一般科目単位数:23 専門科目単位数:0 計単位数:23 ※落差単位数を超える	一般科目単位数:23 専門科目単位数:0 計単位数:23 ※落差単位数を超える

本科学生(準学士課程)の達成目標
 ①学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。
 ②実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。
 ③関心のある分野について継続的に学習していくことができる。
 ④地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。
 ⑤日本語および英語の資料等を読み、適切に理解することができる。
 ⑥自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。

		建築学科
履修単位数(自由選択を除く)	一般科目単位数	82
	専門科目単位数	94
	総履修単位数	176
課程修了認定に必要な単位数	一般科目単位数	75以上
	専門科目単位数	82以上
	総単位数	167以上
履修単位数-課程修了認定必要単位数: 「落差単位数」と呼称	一般科目単位数	7
	専門科目単位数	12
	総単位数	11

(出典 企画部作成資料)

資料6-1-②-1 修得単位数が最も少なかった学科別下位2名程度の達成状況確認資料
 建築学科 平成25年度準学士課程修了生 学生A02(一般80+専門87=167単位、自由選択を除く)の修得単位数説明資料

学習教育目標	科目	細目	授業科目名										目標別の全履修単位数 (自由選択科目を除く)	学生A02 目標別の全履修単位数 (自由選択科目を除く)			
			本科(準学士課程) 建築学科														
			1年		2年		3年		4年		5年						
通年		通年		通年		前期		後期		前期		後期					
A.技術者としての基礎力 および B.持てる知識を 使う応用力 (右で下線の付 いた科目は、応 用の意味に關 する科目を示す)	一般科目	教養基礎知識	数学分野	数学Ⅰ(3) 数学Ⅱ(3)	微分・積分(3) 代数・幾何(2)	解析Ⅰ(3) 解析Ⅱ(2)	△解析Ⅲ(自由選択2)										
			理科学分野	物理Ⅰ(2) 化学Ⅰ(3)	物理Ⅱ(3) 化学Ⅱ(2)												
			社会科学分野	歴史Ⅰ(2)	現代社会(2)	地理(2)	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ	△社会科学Ⅰ(2) △社会科学Ⅱ △社会科学Ⅲ									
			保健体育分野	保健・体育Ⅰ(3)	保健・体育Ⅱ(2)	保健・体育Ⅲ(2)	保健・体育Ⅳ(2)		保健・体育Ⅴ(1)								
			基礎教養分野	音楽Ⅰ(1) 情報リテラシー(1)	音楽Ⅱ(1)		△文学Ⅰ △文学Ⅱ	△文学Ⅲ △文学Ⅳ									
	専門科目	建築専門の基礎・応用知識	数学、自然科学、情報工学の幅広い分野に關する基礎知識				応用数学(2) 応用物理(2)			(環境科学)(2)							
			建築設計、デザインの知識(d1)	デザイン基礎Ⅰ(2) 設計製図Ⅰ(2)	デザイン基礎Ⅱ(2) 設計製図Ⅱ(3)	デザイン基礎Ⅲ(2) 設計製図Ⅲ(6)	設計製図Ⅳ(6)		設計製図Ⅴ(3)								
			建築計画、都市計画の知識(d2)			建築計画Ⅰ(2)	建築計画Ⅱ(2) 都市計画Ⅰ(2)	建築計画Ⅱ(2) 都市計画Ⅱ(2)	都市計画Ⅱ(2)								
			JABEE建築分野要件の知識(d3)～(d5)	建築環境・設備の知識(d3)		建築環境(2)	建築設備(2)										
			建築構造の知識(d4)	建築構造Ⅰ(2)	建築構造Ⅱ(2)	構造力学Ⅰ(2) 構造力学Ⅱ(2)	構造力学Ⅱ(2)未修得		鋼構造(2)、木質構造(1)、基礎構造(4)未修得 鉄筋コンクリート構造(2) △構造解析(2)未修得								
専門科目	建築専門の基礎・応用知識	建築生産、材料、施工の知識(d5)				建築材料(2)		建築生産(2)									
		専門分野を横断し、包括する基礎・応用知識	法規に関する知識					都市計画Ⅱ(2)									
		JABEE建築分野要件の知識(d6)(d2)	建築史に関する知識		建築史Ⅰ(2)	建築史Ⅱ(2)	建築史Ⅱ(2)	近代建築論(2) △建築意匠論									
		上記の複数の知識を応用する知識	情報処理、情報の基礎の総合力		建築情報Ⅰ(2)	建築情報Ⅱ(2)	建築情報Ⅲ(2) CAD・CG(2)										
		創造実験・演習(3) (◎卒業研究)(6)															
C.社会と自らを 高める発展力	一般																
	専門					設計製図Ⅳ(6) 建築ゼミナール(2) △校外実習(自由選択1)		◎卒業研究(6) 設計製図Ⅴ(3)									
D.地球の一員と しての倫理力	一般		(歴史Ⅰ)(2) (国語Ⅰ)(4) (情報リテラシー)(1)	(現代社会)(2) (国語Ⅱ)(3)	(地理)(2) (国語Ⅲ)(2)	(△文学Ⅰ)(2) (△文学Ⅱ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)	(△文学Ⅲ)(2) (△文学Ⅳ) (△社会科学Ⅰ) (△社会科学Ⅱ) (△社会科学Ⅲ)	(保健・体育Ⅴ)(1)									
	専門							環境科学(2)未修得	技術者倫理(2)								
E.社会と関わる ためのコミュニ ケーション力	一般	日本語によるコミュニケーション	国語Ⅰ(4)	国語Ⅱ(3)	国語Ⅲ(2)												
	専門		(設計製図Ⅰ)(2)	(設計製図Ⅱ)(3)	(設計製図Ⅲ)(6)	(△校外実習)(自由選択1)		(◎卒業研究)(6)									
	一般	外国語によるコミュニケーション	英語総合Ⅰ(3) 基礎英語演習Ⅰ(1) 基礎英語会話Ⅰ(1)	英語総合Ⅱ(3) 基礎英語演習Ⅱ(1) 基礎英語会話Ⅱ(1)	英語総合Ⅲ(3) 基礎英語演習Ⅲ(1) 基礎英語会話Ⅲ(1)	英語総合演習(2)未修得 ドイツ語Ⅰ(2)			△実用工業英語(2) △英米文学 △英語会話 △英語演習 △時事英語 △コミュニケーション △ドイツ語Ⅱ △ドイツ語Ⅰ △中国語 △韓国語								

本科学士(準学士課程)の達成目標
 ①学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。(基礎力)
 ②実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。(応用力)
 ③関心のある分野について継続的に学習していくことができる。(発展力)
 ④地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。(倫理力)
 ⑤日本語および英語の資料等を読み、適切に理解することができる。(コミュニケーション力)
 ⑥自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。(コミュニケーション力)

		建築学科	
履修単位数(自由選択を除く)	一般科目単位数		82
	専門科目単位数		94
課程修了認定に必要な単位数	総履修単位数		176
	一般科目単位数		75以上
履修単位数-課程修了認定必要単位数 「落差単位」と呼称	専門科目単位数		82以上
	総単位数		167以上
	一般科目単位数		7
	専門科目単位数		12
	総単位数		11

(出典 企画部作成資料)

資料6-1-②-2 単位取得率

年度	学科	1年		2年		3年		4年		5年		合計	
		一般科目	専門科目	一般科目	専門科目	一般科目	専門科目	一般科目	専門科目	一般科目	専門科目	一般科目	専門科目
H21年度	M	93.21	90.70	98.21	100.00	97.30	98.81	98.43	94.32	99.17	97.12	97.26	96.19
	E		93.60		99.17		95.96		97.88		99.26		97.17
	D		96.11		94.63		94.44		99.52		96.07		96.16
	C		99.21		97.87		97.67		74.73		94.00		92.69
	A		93.92		98.44		97.68		94.66		96.94		96.33
	Ave.		94.46		98.05		96.98		93.26		97.09		95.97
H22年度	M	96.54	95.45	98.11	98.68	95.78	95.91	98.43	99.53	97.01	97.47	97.17	97.41
	E		99.43		94.50		95.01		95.64		97.30		96.38
	D		99.38		97.67		87.22		92.74		95.09		94.80
	C		100.00		98.78		98.57		89.17		95.95		96.49
	A		99.38		99.26		99.39		96.27		96.42		98.14
	Ave.		98.37		98.15		95.31		95.30		96.54		96.73
H23年度	M	95.31	100.00	96.77	99.38	95.56	97.50	97.61	96.05	96.39	95.38	96.33	97.66
	E		95.51		92.61		94.59		91.72		92.10		93.31
	D		94.38		97.67		90.21		96.37		91.56		94.04
	C		100.00		98.13		95.56		89.00		87.80		94.10
	A		97.50		98.03		96.64		93.78		83.06		93.80
	Ave.		97.12		97.10		95.01		94.09		91.05		94.87
H24年度	M	95.23	100.00	94.90	100.00	96.33	95.10	96.98	94.64	97.70	97.80	96.23	97.51
	E		98.89		91.71		97.47		97.74		96.54		96.47
	D		94.51		95.50		89.90		86.88		94.64		92.29
	C		99.22		98.44		99.45		95.33		90.67		96.62
	A		96.25		94.44		96.34		91.98		94.91		94.78
	Ave.		97.35		95.83		95.77		93.92		95.38		95.65
H25年度	M	96.16	99.38	97.52	98.89	94.37	97.98	97.45	92.86	97.53	92.93	96.60	96.41
	E		97.56		97.33		91.60		96.09		96.45		95.81
	D		95.83		100.00		87.57		86.49		92.86		92.55
	C		100.00		98.21		98.85		97.17		94.67		97.78
	A		96.43		94.77		97.06		95.96		94.62		95.77
	Ave.		97.56		97.79		94.57		94.34		94.84		95.82

注) 単位取得率=修得科目数/修得可能科目数×100
 休学・中途退学による単位未修得者を除く
 欠課オーバーは含む
 自由選択科目は除く

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料6-1-②-3 留年、中途退学、休学者数

年度	学科	1年		2年		3年		4年		5年		合計	
		留年者	中途退学・休学者										
H23年度	M	1		2		1		1				5	0
	E	1	1	3	1	3		3	1		2	10	5
	D	2	1	4		6	4		1	1		13	6
	C	2				1		1		2		6	0
	A	3	2			3		1	5	3		10	7
	Total	9	4	9	1	14	4	6	7	6	2	44	18
H24年度	M			1	2	2		1	1			4	3
	E	1	1	2		2	1			1		6	2
	D	4	1			9		5	1			18	2
	C	2		1		2					1	5	1
	A	2	1	5	1	2	1	2				11	3
	Total	9	3	9	3	17	2	8	2	1	1	44	11
H25年度	M		2		1	4		1	1		1	5	5
	E					6						6	0
	D	1	2			8		4		1		14	2
	C	2							1		1	2	2
	A	2	2	6	1	2		1	3		1	11	7
	Total	5	6	6	2	20	0	6	5	1	3	38	16

年度	専攻	1年		2年		合計	
		留年者	退学・休学者	留年者	退学・休学者	留年者	退学・休学者
H23年度	生産		1			0	1
	物質			1		1	0
	建築					0	0
	Total	0	1	1	0	1	1
H24年度	生産		1			0	1
	物質					0	0
	建築					0	0
	Total	0	1	0	0	0	1
H25年度	生産					0	0
	物質					0	0
	建築					0	0
	Total	0	0	0	0	0	0

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料6-1-②-4 進級率

年度	学科	1年			2年			3年			4年			5年			合計		
		在籍数	進級数	進級率	在籍数	進級数	進級率												
H23年度	M	45	44	97.78	40	38	95.00	40	39	97.50	38	37	97.37	46	46	100.00	209	204	97.61
	E	40	38	95.00	47	43	91.49	39	36	92.31	45	41	91.11	39	37	94.87	210	195	92.86
	D	41	38	92.68	43	39	90.70	46	36	78.26	37	36	97.30	33	32	96.97	200	181	90.50
	C	42	40	95.24	40	40	100.00	45	44	97.78	45	44	97.78	41	39	95.12	213	207	97.18
	A	42	37	88.10	38	38	100.00	34	31	91.18	42	36	85.71	37	34	91.89	193	176	91.19
	Total	210	197	93.81	208	198	95.19	204	186	91.18	207	194	93.72	196	188	95.92	1025	963	93.95
H24年度	M	44	44	100.00	46	43	93.48	39	37	94.87	41	39	95.12	37	37	100.00	207	200	96.62
	E	46	44	95.65	41	39	95.12	45	42	93.33	38	38	100.00	40	39	97.50	210	202	96.19
	D	42	37	88.10	40	40	100.00	44	35	79.55	35	29	82.86	36	36	100.00	197	177	89.85
	C	43	41	95.35	40	39	97.50	42	40	95.24	46	46	100.00	46	45	97.83	217	211	97.24
	A	41	38	92.68	37	31	83.78	40	37	92.50	34	32	94.12	38	38	100.00	190	176	92.63
	Total	216	204	94.44	204	192	94.12	210	191	90.95	194	184	94.85	197	195	98.98	1021	966	94.61
H25年度	M	42	40	95.24	46	45	97.83	45	41	91.11	41	39	95.12	39	38	97.44	213	203	95.31
	E	41	41	100.00	45	45	100.00	41	35	85.37	42	42	100.00	39	39	100.00	208	202	97.12
	D	44	41	93.18	37	37	100.00	42	34	80.95	41	37	90.24	29	28	96.55	193	177	91.71
	C	42	40	95.24	42	42	100.00	40	40	100.00	38	37	97.37	46	45	97.83	208	204	98.08
	A	44	40	90.91	44	37	84.09	34	32	94.12	39	35	89.74	32	31	96.88	193	175	90.67
	Total	213	202	94.84	214	206	96.26	202	182	90.10	201	190	94.53	185	181	97.84	1015	961	94.68

年度	専攻	1年			2年			合計		
		在籍数	進級数	進級率	在籍数	進級数	進級率	在籍数	進級数	進級率
H23年度	生産	16	15	93.75	19	19	100.00	35	34	97.14
	物質	4	4	100.00	6	5	83.33	10	9	90.00
	建築	5	5	100.00	8	8	100.00	13	13	100.00
	Total	25	24	96.00	33	32	96.97	58	56	96.55
H24年度	生産	18	17	94.44	15	15	100.00	33	32	96.97
	物質	4	4	100.00	5	5	100.00	9	9	100.00
	建築	5	5	100.00	5	5	100.00	10	10	100.00
	Total	27	26	96.30	25	25	100.00	52	51	98.08
H25年度	生産	14	14	100.00	17	17	100.00	31	31	100.00
	物質	5	5	100.00	4	4	100.00	9	9	100.00
	建築	7	7	100.00	5	5	100.00	12	12	100.00
	Total	26	26	100.00	26	26	100.00	52	52	100.00

注) 進級後、進路変更した学生も進級者数に含む。

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料6-1-②-5 卒業・修了率

	本科						専攻科				
	M	E	D	C	A	Total	生産	物質	建築	合計	
H19年度入学生	46	44	42	41	44	217	H22年度入学生	19	6	8	33
H21年度留学生	1		1			2					
H22年度編入学生			3		2	5					
H23年度卒業生	46	37	32	39	34	188	H23年度修了生	19	5	8	32
H23年度卒業生 (留年生除く)	40	33	32	35	32	172	H23年度修了生 (留年生を除く)	19	5	8	32
卒業率	85.11	75.00	69.57	85.37	69.57	76.79	修了率	100.00	83.33	100.00	96.97
H20年度入学生	40	43	42	41	44	210	H23年度入学生	16	4	5	25
H22年度留学生	1			2		3					
H23年度編入学生	1		1	2		4					
H24年度卒業生	37	39	36	45	38	195	H24年度修了生	15	5	5	25
H24年度卒業生 (留年生除く)	36	35	31	41	34	177	H24年度修了生 (留年生を除く)	15	4	5	24
卒業率	85.71	81.40	72.09	91.11	77.27	81.57	修了率	93.75	100.00	100.00	96.00
H21年度入学生	42	43	41	41	38	205	H24年度入学生	18	4	5	27
H23年度留学生	1	2		3		6					
H24年度編入学生	2	1		1	1	5					
H25年度卒業生	38	39	28	45	31	181	H25年度修了生	17	4	5	26
H25年度卒業生 (留年生除く)	37	35	25	42	30	169	H25年度修了生 (留年生を除く)	17	4	5	26
卒業率	82.22	76.09	60.98	93.33	76.92	78.24	修了率	94.44	100.00	100.00	96.30

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

平成23年度資格試験合格者

キャリア支援室長 玉井 孝 幸

資格は、就職する際に大きなアピールポイントになります。理由は、学生中から資格を取得している学生は、就職後も「自己研鑽に励み」、「さらに高度な資格を取得」してくれると考えるからです。また、企業の評価点の中に有資格社員数もあり、営業活動上でも有資格者は非常に重要で、給与等の面でも優遇されることもあります。授業の課題等で忙しいと思いますが、ぜひ資格を取得して下さい。

最後に、学生の資格取得のため日々ご尽力いただいている教職員に皆様に厚くお礼申し上げます。

資格名	取得者
T O E I C	E2 平賀 克己 E3 アミン E4 松本 凌 D4 内藤 寛晃 C4 赤井 大気 C4 クリス A4 廣谷 慶太 A4 船越 杏子 M5 高平 真生 M5 イズワン D5 影山 大介 D5 古磯 和樹 D5 田保橋光樹 D5 アスマウィ C5 梶間 光法 C5 竹中 慎 C5 村尾 彰郁 C5 来福 至 A5 宇野 孝史
実用英語検定2級	D3 寺西 心
実用英語検定準2級	E1 大黒 由貴 C1 綿谷白菜子 M2 清水 達暉 C4 植田 咲香
工業英検3級	D2 木下 和音 D3 高森 暁
工業英検4級	M1 上根 直也 M1 権藤 正也 M1 立脇 正規 M1 中西明日可 M1 福頼 青 M1 持田 宝 E1 小林 周平 E1 田邊 貴友 E1 中山 健太 D1 内田 幸佑 D1 中野 真吾 D1 松本 宏貴 C1 小笠原宙樹 C1 亀井信之助 C1 北村 和也 C1 杉本 竜一 C1 竹信 龍 C1 中西 叶 C1 野坂 夏子 C1 細田 千尋 C1 山本 直樹 C1 綿谷白菜子 A1 古杉 千佳 A1 原本 佳歩 M2 山内 健司 M2 中村 駿斗 M2 藤村 謙造 E2 井中 雄也 E2 寺本 誠司 D2 大野 貴昭 D2 河合 冬馬 D2 八田 周平 D2 松本 颯太 D2 森澤 裕介 D2 矢島 駿 C2 稲葉 幹平 C2 岩本茉莉子 C2 七瀬 浩希 C2 西尾 幸祐 C2 南口 弓子 C2 波多野 瑤 C2 吉田 友輝 A2 吉原 理子
危険物取扱者乙種第4類	C1 山本 直樹 C3 才原 知里
国家資格2級ボイラー技士	M4 松原 央樹 M5 妹尾 康徳
第一種電気工事士	E4 岩浅 純平 E4 松本 凌
第二種電気工事士	E4 二村信之祐 E4 松本 凌
第三種電気主任技術者 (科目合格者)	E4 中村 宏② E4 三浦 将人① E4 本多 史弥① E4 森 健二朗② E4 松上 寿支① E5 井上 桃佳①
基本情報技術者	D3 木山 雄太 D3 西村 憲治 D3 高橋健太郎 E4 木村 勇太 E4 成相 雅樹 E5 阿部宗一郎 D5 鈴木 達己
二級建築士	S2 速藤 佳純 S2 田中 良和
宅地建物取引主任者	E4 拜藤 聖
ITパスポート	D3 柴田 泰樹
工事担任者AI・DD総合種	E4 成相 雅樹
工事担任者AI・DD総合種(科目合格)	E4 上本 光太 E4 上川 優樹
ファイナンシャルプランナー3級 (個人資産相談業務)	E4 拜藤 聖
日本習字教授免許(漢字部)	C3 桑 ひとみ

(出典 平成24年3月発行 広報誌彦名通信第168号 P.9)

平成24年度資格試験合格者

キャリア支援室長 玉井 孝 幸

資格は、就職する際に大きなアピールポイントになります。理由は、学生中から資格を取得している学生は、就職後も「自己研鑽に励み」、「さらに高度な資格を取得」してくれると考えるからです。また、企業の評価点の中に資格社員数もあり、営業活動上でも有資格者は非常に重要で、給与等の面でも優遇されることもあります。授業の課題等で忙しいと思いますが、ぜひ資格を取得して下さい。最後に、学生の資格取得のため日々ご尽力いただいている教職員に皆様に厚くお礼申し上げます。

資格名	取得者
T O E I C	C5 ヤンドゥルハフィズ C4 ザムリ M4 ファイス E4 アミン M5 アメル A4 船越 杏子 C5 赤井 大気 E4 オーシャダ C4 ムーン D5 生田 和也 A5 清水 優里 C5 松井 郁也 C4 トウイ C4 垂永 早月 M5 松下 壮 M5 松原 央樹 D4 木山 雄太 C4 久保田知子 C2 山本 直樹 D4 安田 大介 M5 宇根 輝 C5 竹内 祐太
実用英語検定2級	A5 清水 優里
実用英語検定準2級	M1 前高 匠登 D1 篠原 實史 C3 竹中 和也
工業英検3級	C2 竹信 龍
工業英検4級	M1 門永 聖護 M1 池内 悠人 M1 磯岩 尚汰 M1 小谷 季澄 M1 妹尾 真希 M1 井上 航輔
	M1 青山 千歩 M1 塚田亮太郎 E1 関 雅俊 E1 野口 慶 E1 澤田 涼平 E1 根来 由晋
	E1 石倉 直樹 D1 後藤 圭 C1 三上 大貴 C1 井上 耕多 C1 田原 早央莉 C1 竹内 彩結美
	C1 高田 知里 A1 松本 遼 A1 遠藤 紗也花 A1 高下 弘路 A1 石橋 洋平 A1 畠山 瑞稀
	A1 足立 香織 A1 貝田 萌花 M2 高津 昇吾 M2 大木 悠平 M2 竹内 大貴 M2 友森 祐介
	M2 和田 直樹 M2 澤田 龍一 M2 生田 広大 M2 上原 康平 M2 藤澤 康太 E2 小西 那奈
	E2 福田 駿 E2 田中 聖也 E2 森田 寛人 E2 福田 亮 E2 前田 祥吾 E2 近藤 由典
	E2 小林 和史 E2 長岡 友菜 E2 勝部 佳揮 E2 岸 智久 E2 田 健太郎 E2 可知 佳晃
	E2 松本 侑也 E2 神庭 大智 E2 長谷川 卓也 E2 安木 岳規 E2 米原 涼平 D2 小椋 康弘
	D2 細田 前行 D2 田中 寛大 D2 宮勝 郁也 D2 吉江 晴海 D2 林 聖高 D2 長谷川 凜介
	D2 角田 俊哉 D2 田村 樹 D2 妹尾 隼一郎 D2 山田 峻兵 D2 船越 巨留 D2 福田 雄大
	D2 松田 郁也 C2 小林 美優 C2 弓手 理沙 C2 村上 明音 C2 青戸 淳和 C2 内田 萌夏
	A2 古田 彩花 C2 土山 颯太 A2 高島 慎太郎 A2 矢田 白凌太 E1 西村 匠平 D1 竹崎 大輔
	技術士補(機械部門)
危険物取扱者甲種	S2 大岩 正和 S1 廣見 祐太 C5 野々村拓也
危険物取扱者乙種第4類	E5 高山 和浩
第二種電気工事士(科目合格)	E5 松本 凌①
第三種電気主任技術者	E4 添田 圭佑 E5 森 健二朗 E5 中村 宏
第三種電気主任技術者(科目合格)	E5 三浦 将人① E5 松本 凌②
基本情報技術者二級 建築士	E5 中村 宏 D3 矢口 由季 D2 小椋 康弘
二級建築士(学科合格)	S1 小池 僚子 S1 松本幸太郎
工事担任者DD3種	S1 前畑 佑二 S1 下根奈史人
工事担任者DD3種(科目合格)	E2 可知 佳晃 E2 西澤 侑吾 E3 成瀬 翼 E3 青山 正樹 E3 角 敏彦 E3 梅林 浩規
工事担任者AI-DD総合種	E3 西尾 知美 E3 阿部 舜也 E3 盛山翔太郎 E3 林原 真史 E3 橋本 拓也 E3 堀越 絵廉
消防設備士乙種第六類	E5 上本 光太
第4級アマチュア無線技士	E5 澤下 陽
ファイナンシャルプランナー2級(個人資産相談業務)	E4 山西晋太郎
	E5 拜藤 聖

(出典 平成25年3月発行 広報誌彦名通信第172号 P.9)

平成25年度資格試験合格者

キャリア支援室長 松本 至

在学中に資格を取得した学生は就職後も「自己研鑽に励み」、「さらに高度な資格を取得」してくれると考えられるため、資格の取得は就職の際に大きなアピールポイントとなります。また、企業活動においても有資格者は非常に重要で、給与等の面で優遇されることもあります。授業の課題等で忙しいとは思いますが、ぜひ資格取得に挑戦してみてください。

最後に、学生の資格取得のために日々ご尽力いただいている教職員の皆様に厚くお礼申し上げます。

資格名	取得者																																																																																																												
TOEIC(600~699)	5E オーシャダ	4E 平賀 克己																																																																																																											
TOEIC(500~599)	5D 生田 和也	4C 七瀬 浩希	3C 竹信 龍	3C 山根 直樹																																																																																																									
TOEIC(400~499)	5C 安部 希綱	5C 神庭 佑也	4M 渡 卓磨	4D 矢口 由季	4C 石水 友梨	4C 乾 萌絵																																																																																																							
TOEIC(400~499)	3C 杉本 竜一	2D 竹崎 大輔	2C 杉岡大志郎																																																																																																										
実用英語検定2級	3E 大黒 由貴	3E 綿谷日菜子																																																																																																											
実用英語検定準2級	1D 松原 圭亮	1D 井上 耕太																																																																																																											
工業英語検定3級	3E 田辺 貴友	3C 杉本 竜一																																																																																																											
工業英語検定4級	2M 伊藤 大輝	2M 尾坂 昌紀	2M 恩田 晃匠	2M 景山 晴規	2M 門脇 大介	2M 田中 尚弥	2M 中山 康裕	2M 西村康太郎	2M 野嶋 元揮	2M 浜田 洸太	2M 林 洸太	2M 福光侍太郎	2M 前高 匠登	2M 宮本 孝輝	2M 守部 勇希	2M 山上 大地	2M 山村 真人	2M 渡部 航大	2M 渡辺 大偉	2E 糸賀 輝明	2E 岩佐 聖	2E 恩田 辰吉	2E 加藤 公貴	2E 草巻 真吾	2E 谷口 正明	2E 中村 星斗	2E 圓岡 浩和	2E 諸遊 伸也	2E 山崎 千裕	2D 大杉 健人	2D 小椋 創太	2D 日下部将規	2D 楠 知之	2D 小林 峻平	2D 佐々木亨太	2D 佐和 優樹	2D 澤田 将吾	2D 篠原 貴史	2D 地頭 知章	2D 永田 蓮	2D 西村 章吾	2D 西本 樹	2D 酒田 幸雅	2D 森 翔一	2D 安田 海斗	2D 山口 翔太	2D 山崎 雅史	2D 山根 匡翔	2D 横田 篤紀	2D 泉 拓矢	2C 伊藤 蓮	2C 柿本 玲子	2C 小村 勇人	2C 清川 葉月	2C 鷲見 直人	2C 田口 舞	2C 伊藤 哲昌	2C 名和 真佑	2C 横山 淳平	2C 吉川 優	2A 有藤 瑠夏	2A 足立 勇仁	2A 木下 実優	2A 新宮 晃平	2A 高田 穂乃香	2A 角田 幸輝	2A 中村 佳世	2A 永瀬 康樹	2A 中島 惇太	2A 中山 貴裕	2A 野津 直樹	2A 林原 智輝	2A 平野 颯太	2A 平山 勇利	2A 松本 涼太	2A 森脇 美那	2A 山根 拓也	1M 石倉 睦月	1M 井上 大樹	1M 入江 史也	1M 岩崎 龍斗	1M 遠藤 鉄郎	1M 刈田 寿樹	1M 蔵増 直人	1M 高力 海里	1M 田上 祐樹	1M 辻 薫	1M 西中 健人	1M 丸瀬 彩花	1E 中村 将大	1E 佐々木 瞭	1D 安達 康平	1D 清水 大輝	1D 瀨恒 梨玖	1D 武中 幹人	1D 林 大地	1D 松原 圭亮	1C 今本 憲成	1C 石場 清子	1C 植地 康太	1C 岡元 征希	1C 小椋 健司	1C 小林 健司	1C 小林 怜加	1C 中原 広喜	1C 中村英里子	1C 津本 歩	1C 前田 千澄	1A 朝久 喬太
	1A 貝田 利菜																																																																																																												
	危険物取扱者甲種	5C 才原 知理																																																																																																											
	危険物取扱者乙種第4類	2M 門永 星護	2M 山本 歩夢	2C 小村 勇人	3C 亀井信之介	4M 池淵 智史	4M 石質 博志	4M 末海 拓己	4M 名倉 裕輝	4C 岩本茉莉子	4C 柳樂 紫帆	4C 南口 弓子	5C 久保田知子	5C 三島 瑠美																																																																																															
		4C 波多野 瑠																																																																																																											
		5E 山西晋太郎 (法規)	4E 平賀 克己 (理論)	4E 山根 大典 (理論, 機械)	4E 影岡 大輔 (電力)																																																																																																								
	第三種電気主任技術者(科目合格者)	4E 手嶋 潤 (機械)	4E 盛山翔太郎 (機械)	3E 片岡 範行 (理論)																																																																																																									
	工事担任者DD3種	3E 稲田 雄馬	3E 片岡 範行	3E 島根 奈月	3E 田中 聖也	3E 田中 宏尚	3E 田邊 貴友																																																																																																						
	ITパスポート	5E 西垣 祐介																																																																																																											
	基本情報技術者試験	3D 田村 樹	4D 山根健太郎																																																																																																										
	応用情報技術者試験	5D 木山 雄太																																																																																																											
	2級建築士	S1 遠藤 貴子																																																																																																											
	2級建築施工管理技士の学科試験	S1 中田 朋幸	S1 吉田 千紜	S1 石指 友基																																																																																																									
	宅建	S2 松本幸太郎																																																																																																											

電気・情報関連学会中国支部大会で3件の奨励賞を受賞

5E 前田 果澄、S1 松本 凌、S2 荒木 優一

10月19日、岡山大学において平成25年度 電気・情報関連学会中国支部第64回連合大会が開催されました。その中で電気情報工学科 田中博美研究室所属の5E前田果澄、S1松本凌、S2荒木優一が、それぞれ奨励賞を受賞しました。

【前田】私の研究は昨年田中博美研究室で考案された新規育成方法において、解明されていなかった点を明らかにすることで高温超伝導体を高効率に作製することができたという内容です。この新規育成方法についての研究を任せてくださった指導教員の田中博美先生、そして育成方法の考案者である上本氏（現KDDIエンジニアリング（株））に厚く御礼申し上げます。

【松本】色々な方と共に今までにない波形解析ソフトウェアを開発しました。開発したソフトウェアは間もなく、Internetを通じて世界中へと配信されます。無料ですのでみなさんも是非、入手して使ってみてくださいね（<http://www.sasj.jp/COMPRO/>）。最後に、指導教員の田中博美先生、(独)物質、材料研究機構の吉川氏、田沼氏、オミクロンの吉原氏に厚く御礼申し上げます。

【荒木】昨年の雪辱を果たすことができ、大変光栄に存じます。ちなみに、私の研究は高温超伝導体を実用化の際に必ず付きまとう問題をほとんど無視できる程度までに改善したという内容となっております。この結果は指導教員の田中博美先生をはじめ、共同研究者の皆様のご協力あってこそその結果でございます。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。



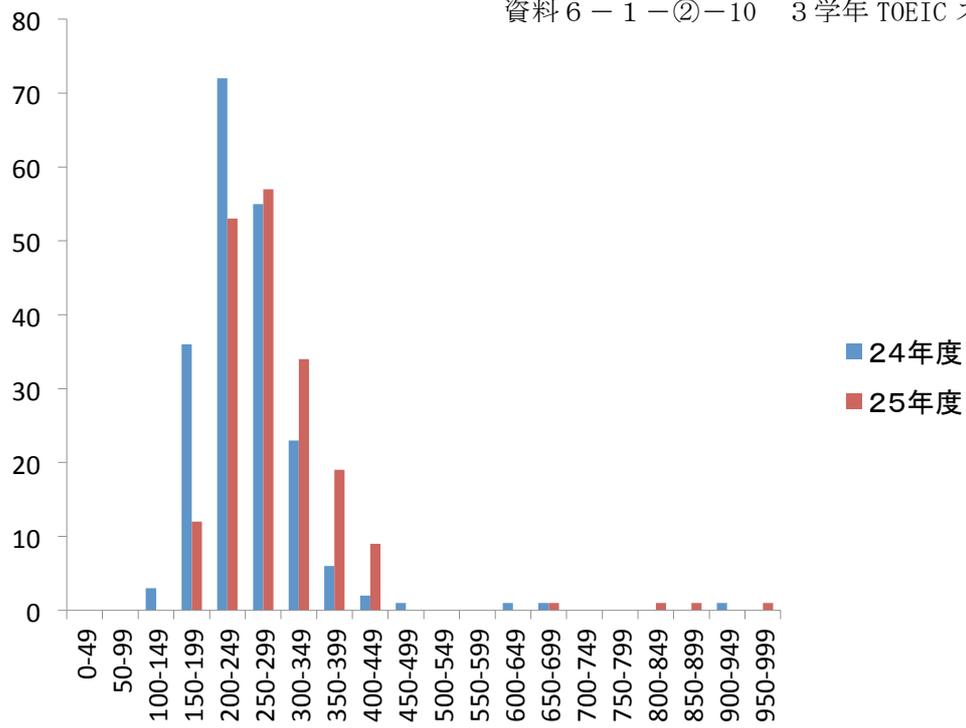
(出典 平成26年3月発行 広報誌彦名通信第176号 P.14)

資料6-1-②-9

試験の種類	級・得点	単位数	H23年度	H24年度	H25年度	合計
実用英語技能検定	準2級	2	4	3	3	10
	2級	3	1	1	2	4
工業英語能力検定	4級	1	43	78	109	230
	3級	2	2	1	2	5
TOEIC	400～499点	2	6	13	11	30
	500～599点	3	6	3	6	15
	600～699点	4	1	2	2	5
	700～749点	5				0
	750～799点	6	2	1		3
	800～899点	7	1	1	1	3
	900点～	8	1	1		2

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料6-1-②-10 3学年 TOEIC スコア集計結果



(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料6-1-②-11

発表プログラム(発表時間7分,質問3分,交代1分)

【物質工学専攻】

※座長:物質工学科 小川

(4件 9:35~10:18)

- | | |
|----------|-------------------------------|
| 1. 濱橋 大樹 | ジスルフィド結合を主鎖に有する有機硫黄化合物の合成 |
| 2. 廣見 祐太 | シクロデキストリンおよびグリセリンを用いた吸着材の開発 |
| 3. 安田 一平 | 二重管式光触媒マイクロリアクタを用いた有機塩素化合物の分解 |
| 4. 來福 至 | TiNを出発物質とする色材の開発 |

【建築学専攻】

※座長:建築学科 細田

(5件 10:28~11:22)

- | | |
|----------|---|
| 5. 小池 僚子 | 明治~昭和前期の建築系雑誌掲載図面に見る「住宅庭園」の分析 |
| 6. 下根奈央人 | 事務所ビルの空調システムにおけるペリメータとインテリアゾーンの制御に関する研究 |
| 7. 中嶋 健太 | 東日本大震災におけるガレキ処理の実態と課題について |
| 8. 前畑 佑二 | 構造体コンクリート強度の評価手法に関する研究 |
| 9. 松本幸太郎 | 木くず灰の混入がモルタルの特性に及ぼす影響に関する研究 |

【生産システム工学専攻】

※座長:機械工学科 山口

(5件 12:50~13:44)

- | | |
|-----------|---|
| 10. 足立 和也 | 波力発電用直線翼垂直軸タービンに関する実験的研究 |
| 11. 岩田 岳 | 関節シミュレータを用いた人工股関節の摩耗試験におけるバルク温度上昇の影響 |
| 12. 遠藤 弘樹 | テイラー・クエット流れ中における運動精子の挙動に関する実験的研究 |
| 13. 川上 渉 | 支点移動幅を考慮した倒立振子のロバスト振り上げ制御 |
| 14. 妹尾 康德 | ECAP加工と焼鈍による微細粒Cu多結晶材の繰返し変形挙動ーひずみ振幅およびひずみ速度による効果ー |

※座長:機械工学科 山根

(5件 13:54~14:48)

- | | |
|-----------|--|
| 16. 高平 真生 | プレコート鋼板における塗膜/クロメート処理被膜界面における破壊じん性評価 |
| 17. 中川 拓実 | 超音波による多孔質焼結含油軸受の油膜厚さ測定(周波数分析を用いた油膜厚さ測定方法の基礎検討) |
| 18. 中澤 諒一 | アミンフリー水溶性加工液のリサイクル使用に関する研究 |
| 19. 藤井 祐太 | 金属熱処理における数値シミュレーションの適用 |
| 20. 圓岡 成央 | 多孔質動圧スラスト・ラジアル複合軸受における非定常時潤滑特性の実験的検討 |

※座長:電気情報工学科 宮田

(7件 14:58~16:14)

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| 21. 荒木 優一 | Bi系高温超伝導体における臨界電流密度異方性の改善 |
| 22. 日下部裕一 | マイクロ水力発電システムの電力変換器の製作 |
| 23. 柳原 圭 | 心理音響評価量を用いたスピーカーシステムの音質評価 |
| 24. 門永 健 | 2相発振器を応用した小規模R/Dコンバータの開発 |
| 25. 花井 浩介 | タブレット端末とeラーニングシステムを連動させた教材コンテンツの開発と評価 |
| 26. 安井 貴浩 | 無方向性けい素鋼板における画像解析を用いた局所磁化特性の推定 |
| 27. 山根 大明 | 実時間信号処理システムへの音声信号ブラインド分離アルゴリズムの実装と評価 |

(出典 平成25年度 特別研究成果発表会プログラム)

資料6-1-②-12

平成25年12月25日

米子高専振興協力会
会員企業各位

米子工業高等専門学校
物質工学科 学科長
小田 耕平

平成25年度卒業研究・特別研究発表会の開催について

日頃より、本校の教育研究に御理解と御協力を賜っておりますことに深く御礼申し上げます。さて、物質工学科・専攻科（物質工学専攻）では、学生の資質向上のため、卒業研究および特別研究の成果発表会を校外公共施設にて実施しております。本研究発表会は、皆様の忌憚のない御意見をうかがい、研究の発展に資するよう一般公開しております。本年度は下記日程で執り行う予定でありますので、ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

名 称：平成25年度物質工学科卒業研究・物質工学専攻特別研究発表会

開催日：平成26年1月31日（金）

時 間： 9：05～12：30 口頭発表の部（研究概要の説明）

13：45～15：35 ポスター発表の部（研究内容の説明・質疑応答）

会 場：鳥取県立米子コンベンションセンター“ビッグシップ”

口 頭 発 表：小ホール（ホール棟2階）

ポスター発表：会議室（会議棟3階）

会場案内図



※米子駅より徒歩3分

(出典 平成25年度物質工学科卒業研究・物質工学専攻特別研究発表会案内)

NHK鳥取県のニュース 鳥取放送局

■ 機械工学学んだ高専生卒業発表

国立米子工業高等専門学校で機械工学を学んだ学生の卒業発表会が米子市で開かれています。

この発表会は国立米子工業高等専門学校が、学習の成果を知ってもらおうと毎年、開いているもので、会場の米子商工会議所には機械工学科の5年生の男女46人が集まりアイデアや技術を発表しています。

中国地方の高等専門学校によるロボットのコンテストで優勝したチームは、製作したロボットについて、相手より速くボールをパスするため、回転する2つの円盤にボールをはさんで発射するよう工夫したなどと説明しました。

人間のように2本の足で歩くロボットを製作したチームは、足を伸び縮みさせながら一定の歩幅に制御することで、安定した歩行が可能になったと説明しました。

それぞれの発表のあとは質疑が行われ、会場の教官や学生などが、疑問点や実用化の可能性について発表した学生と意見を交わしていました。

ロボットコンテストで優勝したチームの中川拓実さんは、「緊張したが、分かりやすく説明できた。将来は、人の役に立つ介護ロボットを作りたい」と話していました。

02月07日 12時04分

(出典 平成24年2月7日 報道内容)

資料6-1-②-14

平成24年度各種コンペティション等実績	
コンペティション等の名称	結 果
中国四国地区生物系三学会合同大会	最優秀プレゼンテーション賞
工作機械技術振興賞	奨励賞
先端技術大賞	特別賞
第59回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会	準優勝、制作奨励賞
廃棄物資源循環学会研究討論会	最優秀ポスター賞
第79回NHK全国学校音楽コンクール鳥取県コンクール	金賞
第51回全日本合唱コンクール鳥取県大会	銀賞
第79回NHK全国学校音楽コンクール中国ブロックコンクール	奨励賞
第51回全日本合唱コンクール中国コンクール	銅賞
吹奏楽コンクール鳥取県大会	銀賞
吹奏楽コンクール中国大会	銅賞
第17回全日本高校・大学生書道展	展賞、優秀賞
豊橋技術科学大学 高専連携教育研究プロジェクト学生成果報告会	優秀発表賞
第18回日本高専学会年会講演会	優秀ポスター賞
公益社団法人日本動物学会第83回学会大会	優秀賞
第16回スターリングテクノロジー【00Vケーラー部門】	金賞
第16回スターリングテクノロジー【Vケーラー部門】	金賞
3分映画宴	奨励賞
全国高等専門学校デザインコンペティション 構造デザインコンペティション部門	最優秀賞(国土交通大臣賞)、審査員特別賞
全国高等専門学校デザインコンペティション 空間デザインコンペティション部門	優秀賞
第28回中国地区高等専門学校英語弁論大会 スピーチ部門	優勝
第28回中国地区高等専門学校英語弁論大会 暗誦部門	第2位
日本化学会西日本大会	優秀ポスター賞
第11回流れの夢コンテスト	最優秀賞
NHKミニミニ映像大賞	奨励賞
2012 ハロゲン利用 ミニシンポジウム	ポスター賞
イトコトトリ鳥取動画コンテスト 映画祭	優秀賞
平成24年度廃棄物資源循環学会第23回研究発表会	廃棄物資源循環学会中四国支部奨励賞
第9回高校化学グランドコンテスト	文部科学大臣賞
日本農芸化学会2013年度大会 ジュニア農芸化学会	金賞
日本機械学会中国四国学生会 第43回学生員卒業研究発表講演会	優秀発表賞

(出典 学生課学生係資料)

平成25年度学生表彰

今年度、「特別優秀賞」、「優秀賞」として表彰を受ける学生は次の通りです。

★特別優秀賞：在学中顕著な成績を修め、優秀賞を複数回受賞した者。

★優秀賞：県大会3位以上の成績を修めた者。

なお、紙面の都合上、大会名・種目名、成績については代表的なもののみ記載としました。

学生表彰被推薦者の詳細は、本校ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

・ 特別優秀賞 ・

学業優秀

S2 来福 至 (日本化学会中国四国支部支部長賞)	5M 湖山 貴之 (日本機械学会島山賞)
5E 前田 果澄 (電気・情報関連学会中国支部賞)	5D 高橋健太郎 (電気・情報関連学会中国支部賞)
5C 重永 暁月 (日本化学会中国四国支部支部長賞)	5A 永井 萌 (日本建築学会中国支部優秀卒業生)
スターリングエンジン部 第16回スターリングテクノロジー100Vカー部門 1位 ほか	
5M 谷村 幸太 5M 新田 晃大 5E 平木 飛鳥	
柔道部 第48回全国高等専門学校体育大会 柔道 男子個人 90kg超級 3位 ほか	
5E 中曾 哲史	
ヨット部 第50回中国高等学校ヨット選手権大会 女子FJ級デュエット 2位 ほか	
5A 砂原香菜栄	
バスケットボール部(女子) 第46回全国高等専門学校体育大会バスケットボール(女子)競技 3位 ほか	
5A 永井 萌 5A 藤山 愛己	
デザコン 全国高等専門学校デザインコンペティション2012in小山 構造デザインコンペティション部門 最優秀賞 ほか	
5A 石賀 恵太	
プロコン 全国高等専門学校第23回プログラミングコンテスト自由部門 特別賞 ほか	
5D 鷺見 知洋	
第8回高校化学グランドコンテスト 文部科学大臣賞 ほか	
5C 安部 希綱 5C 香川奈緒子 5C 重永 暁月 5C 谷輪 弥音	
平成25年度 電気・情報関連学会中国支部第64回連合大会 情報処理学会中国支部奨励賞 ほか	
S2 荒木 優一	

・ 優秀賞 ・

陸上競技部 第48回全国高等専門学校体育大会 男子走幅跳 2位 ほか						
4E 小谷 健太 4D 荻原 有綺 3M 勝部 侑磨 3E 山脇 克海 3C 亀井信之介 2C 清川 葉月						
2C 松井 千佳 2A 橋本 涼華 1M 中村 国裕 1A 田川 桜						
卓球部 第48回全国高等専門学校体育大会 女子ダブルス 1位 ほか						
5M 飯田 京佑 5E 米田 俊一 5C 野見 昌史 4M 松原 一喜 4E 河本 航大 4D 石塚 智大						
4D 山崎 大智 3M 永井 知明 3M 持田 宝 3E 原田 敦史 3D 出井 雄大 3C 大畑ひかり						
3A 箱木 昂 2D 但井 友美 2C 伊藤 蓮 1E 小西 沙季 1D 大口 陽生 1D 河本 大地						
1C 森下 優希						
柔道部 第48回全国高等専門学校体育大会 柔道 女子個人 48kg級 2位 ほか						
5E 中曾 哲史 4C 南口 弓子 1E 箕浦 瑛						
水泳部 平成25年度(第63回)鳥取県高校新人水泳競技大会 男子 50m自由形 3位 ほか						
2C 北本 昌也						
ヨット部 第29回全国高等学校選抜ヨット選手権大会 シーホッパー級 SR 1位 ほか						
4E 西尾 知美 2M 平岡 哲磨						
テニス部 第49回中国地区高等専門学校体育大会 テニス 女子ダブルス 1位 ほか						
4D 佐々木 泉 2E 橋本侑太郎 1E 岡田 彩						
空手道部 平成25年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 男子団体組手 2位 ほか						
2M 福光侖太郎 2E 生田 悠華 2A 木下 実優 2A 中山 貴裕 2A 平野 颯太 1M 田上 祐樹						
1E 岸田 光司 1D 岡本 優花						
吹奏楽部 第36回全日本アンサンブルコンテスト 鳥取県大会 銀賞						
4D 矢口 由季 4C 鶴田しおり 4A 潮 駿太郎 3M 柳田 賢悟 2M 妹尾 真希 2C 原 美咲						
1E 須山健太郎 1C 安部美紗子						
科学部 2014年「天文ガイド」2月号読者の天体写真月例コンテスト 入選 ほか						
4E 林原 真史 4C 大脇 秀捷 4C 加川 庸一 4C 川上 優太 4C 久古 貴将 4C 富田 拓也						
4C 波多野 瑤 3C 笹谷 航 2C 田原早央莉 2C 永見 莉奈 2A 田中 佐知 2A 山根 優香						
1E 永井 俊一 1E 堀江 洸介 1D 尾上 創 1A 勝部 桃子						
放送部 第8回高校生映画コンクール 優秀作品賞 ほか						
5D 辻 美季 4D 西尾 彩加 4A 岩本 直樹 4A 潮 駿太郎 4A 田中 優哉 4A 松本里佳子						
3M 権藤 正也 3E 稲田 雄馬 3E 可知 佳晃 3E 勝部 佳揮 3E 小西 那奈 3E 澤田亜伊里						
3E 田草健太郎 3D 小森 涉 3D 中野 真吾 3C 村上 明音 2M 武田 成洋 2E 石田 宇宙						

資料6-1-②-15

2E 糸賀 輝明	2E 草巻 真吾	2E 菅 尚史	2E 谷口 正明	2D 山根 匡翔	2C 田口 舞
2C 竹内彩結実	2C 田中 佑季	2A 荒田 侔利	2A 高下 弘路	2A 畠山 瑞稀	1M 丸瀬 彩花
1E 平井 悠翔	1E 下垣美沙希	1D 大久保真世	1C 神庭 宏実	1C 中村英里子	1C 長谷川真梨菜
1A 大浦 和恵					
スターリングエンジン部 第17回スターリングテクノロジー100Vクーラー部門					
					1位 ほか
4M 石賀 博志	4M 柴田 夏来	4E 影岡 大輔	4E 山根 大典	3M 高津 昇吾	3M 安田 慎
2M 影岡 翔太	2M 影山 千春	2E 山田 隼	2D 大杉 健人	2D 澤田 将吾	2A 小川 祥吾
1M 岡田 一志	1M 高力 海里	1M 辻 薫	1M 平野 克磨	1M 福井 海斗	1E 松本 智之
1D 八幡 拓音					
書道部 第18回全日本高校・大学生書道展					
					大賞 ほか
3A 秦 瑞希	4M 池淵 智史	2E 生田 悠華			
ボート 第25回全国高等学校選抜ボート大会中国予選会 男子ダブルスカル					
					3位
2M 桑名 維吹	1D 石畑修一郎				
スキー 第69回大山リーゼンスラローム大会 少年男子満18歳以下及び高校生(小中学生を除く)の部					
					3位
1A 天根 誓哉					
将棋 第20回全国高等専門学校将棋大会 団体					
					3位
4D 八木 智弥	4D 塩見 竜平	3A 河本 和希			
ボーイスカウト ボーイスカウト日本連盟 ベンチャースカウト					
					富士章
3E 田中 聖也					
デザコン 全国高等専門学校デザインコンペティション2013in米子 構造デザイン部門					
					最優秀賞 ほか
S1 浦木 博之	S1 吉田 千紘	S1 遠藤 貴子	5A 石賀 恵太	5A 上田 信良	5A 岡崎 棕平
5A 永井 萌	5A 濱本 眞子	5A 藤山 愛己	5A 藤原 淳	5A 愿山 翔	4A 石川 奈瑠
4A 石原 優奈	4A 薩摩 佳美	4A 柴田 孝祐	4A 高森 伸仁	4A 田中 優哉	4A 中町 将人
4A 野津 美晴	4A 藤原 圭康	4A 渡部 侔生	4A 渡部 裕生	2M 渡部 航大	
ロボコン アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2013 全国大会					
					3位
4M 角 聖哉	4M 藤原 大和	4M 村岡 健太	3M 澤田 龍一	3M 大木 悠平	3M 河越 大典
3M 生田 広大	2E 山本紗矢香				
珠算 第32回さんいん珠算競技大会 個人総合中学校以上の部 読上暗算					
					2位 ほか
3C 竹信 龍					
平成25年度 電気・情報関連学会中国支部第64回連合大会					
					最優秀論文賞
5E 前田 果澄	5E 添田 圭佑				
平成25年度 電気学会高校生懸賞論文コンテスト					
					ポスター賞
3E 西澤 侑吾					
第10回高校化学グランドコンテスト					
					大阪市長賞
3E 可知 佳晃	3E 小西 那奈	3E 小林 周平	3C 田中 美樹	3C 若槻 千晶	
第19回日本高専学会年会					
					奨励賞
5C 安部 希綱	5C 香川奈緒子	5C 重永 皇月	5C 谷輪 弥音	4C 井田健太郎	4C 大江ひかる
4C 西尾 幸祐	3C 杉本 竜一	3C 田中 美樹	3C 若槻 千晶		
Asia Science Camp 2013					
					ゴールドアワード
3C プリシラ					
中国四国地区生物系三学会合同大会					
					最優秀プレゼン賞
3E 小西 那奈	3C 田中 美樹	3C 若槻 千晶			
日本農芸化学会2013年度大会 ジュニア農芸化学会					
					金賞(最優秀賞)
4C 井田健太郎	4C 大江ひかる	4C 西尾 幸祐	3C 田中 美樹	3C 若槻 千晶	
第16回ヨウ素学会シンポジウム					
					ポスター賞
5C 安部 希綱					
日本機械学会中国四国学生会 第43回学生会卒業研究発表講演会					
					優秀発表賞
S2 圓岡 成央	S1 田原功一郎				
豊橋技術科学大学 高専連携教育研究プロジェクト学生成果報告会					
					優秀発表賞 ほか
S2 荒木 優一					
平成25年度 電気・情報関連学会中国支部第64回連合大会					
					情報処理学会中国支部奨励賞 ほか
S1 松本 凌					
学会表彰					
5M 山本 直人(日本設計工学会武藤栄次賞優秀学生賞)	5E 前田 果澄(電気学会中国支部奨励賞)				
5E 添田 圭佑(電気学会優秀論文発表賞B)	5C 久保田知子(日本農芸化学会中国四国支部学生奨励賞)				
5C 野見 昌史(化学工学会中国四国支部支部長賞)	5A 小泉友伽菜(日本建築学会中国支部優秀卒業設計作品)				
S2 松本幸太郎(日本建築学会中国支部構造賞)	S1 松本 凌(情報処理学会中国支部奨励賞)				
S2 荒木 優一(電気学会中国支部奨励賞・情報処理学会中国支部奨励賞)					

資料6-1-③-1

進学士課程		教育の成果【基準6】									
年度	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率	進学希望者数	進学者数	進学率	主な就職先業種	主な進学先の学部・専攻科等	主な就職先業種	
平成21年度	180	110	107	97.2	70	65	92.8	製造業、建設業、専門・技術サービス業	工学部、理学部、理工学部	(その他 2名)	
平成22年度	183	116	113	97.2	67	65	97.0				
平成23年度	188	122	115	94.2	64	62	96.8				
平成24年度	195	125	121	96.8	70	69	98.5				
平成25年度	181	113	111	98.2	68	64	94.1				
計	927	586	567	96.7	339	325	95.8				
年度	修了者数	就職希望者数	就職者数	就職率	進学希望者数	進学者数	進学率	主な就職先業種	主な進学先の専攻科等	主な就職先業種	
平成21年度	40	32	32	100.0	8	8	100.0	製造業、建設業、専門・技術サービス業	工学研究科	(その他 1名)	
平成22年度	24	21	21	100.0	3	3	100.0				
平成23年度	32	28	28	100.0	4	3	75.0				
平成24年度	25	21	20	95.2	4	4	100.0				
平成25年度	26	22	22	100.0	3	3	100.0				
計	147	124	123	99.0	22	21	95.0				

(出典 現況表)

卒業（修了）生進路実績票【米子工業高等専門学校】

1. 卒業（修了）者の就職率（平成21～25年度）

平成26年4月1日現在

(1)就職希望者数

学科専攻名 就職希望者数 (人)	平成21年度					平成22年度					平成23年度					平成24年度					平成25年度																		
	種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程																
	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A														
23	24	25	14	24	17	8	7	25	25	23	17	28	14	3	4	25	30	20	26	21	15	5	8	22	30	24	28	23	12	4	5	21	28	20	27	17	14	3	5

(2)就職者数

学科専攻名 就職者数 (人)	平成21年度					平成22年度					平成23年度					平成24年度					平成25年度																		
	種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程																
	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A				
23	24	23	13	24	17	8	7	24	25	23	15	28	14	3	4	25	29	17	23	21	15	5	8	22	29	24	23	23	12	3	5	21	28	20	25	17	14	3	5

(3)就職率=就職者数/就職希望者数

学科専攻名 就職率 (%)	平成21年度					平成22年度					平成23年度					平成24年度					平成25年度																	
	種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程			種学士課程		専攻科課程															
	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A	M	E	D	C	A			
1	1	0.92	0.929	1	1	1	1	0.96	1	0.882	1	1	1	1	1	1	0.967	0.85	0.885	1	1	1	1	1	1	0.967	1	0.885	1	1	0.75	1	1	1	0.926	1	1	1

※ 学科・専攻名の略称

- [M] = 機械工学科
- [E] = 電気情報工学科
- [D] = 電子制御学科
- [C] = 物質工学科
- [A] = 建築学科
- [生] = 生涯システム工学専攻
- [物] = 物質工学専攻
- [建] = 建築学専攻

(出典 進路実績票)

資料6-1-③-1
平成26年4月1日現在

2. 卒業（修了）者の産業別就職状況（平成25年度）

	就 職 者 数						生産システム 工学専攻	物質工学専攻	建築学専攻	合計
	機械工学科	電気情報学科	電子制御学科	物質工学科	建築学科	合計				
A. 農業、林業						0				0
B. 漁業						0				0
C. 鉱業、採石業、砂利採取業						0				0
D. 建設業	4	3	2	1	12	22	1	0	3	4
E. 製造業	15	16	9	20	0	60	10	3	0	13
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	0	2	2	1	0	5	0	0	0	0
G. 情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H. 運輸業、郵便業	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
I. 卸売業・小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
J. 金融業・保険業						0				0
K. 不動産業、物品賃貸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
L. 学術研究、専門・技術サービス業	0	7	7	1	2	17	2	0	1	3
M. 宿泊業、飲食サービス業						0				0
N. 生活関連サービス業、娯楽業						0				0
O. 教育、学習支援業						0				0
P. 医療、福祉						0				0
Q. 複合サービス事業						0				0
R. サービス業（他に分類されないもの）	0	0	0	1	3	4	1	0	0	1
S. 公務（他に分類されるものを除く）	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1
T. 分類不能の産業						0				0
合計	21	28	20	25	17	111	14	3	5	22

（出典 進路実績票）

平成26年4月1日現在

3. 卒業（修了）者の進学率（平成21～25年度）

(1) 進学希望者数

学科・専攻名 進学希望者数 (人)	平成21年度					平成22年度					平成23年度					平成24年度					平成25年度																			
	進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程																	
	M	E	D	C	A	生	物	建	M	E	D	C	A	生	物	建	M	E	D	C	A	生	物	建																
16	7	15	20	12	6	1	1	12	12	9	20	14	1	1	1	1	21	5	12	13	13	4	0	0	15	9	12	19	15	3	1	0	17	11	8	18	14	2	1	0

(2) 進学者数

学科・専攻名 進学者数 (人)	平成21年度					平成22年度					平成23年度					平成24年度					平成25年度																			
	進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程																	
	M	E	D	C	A	生	物	建	M	E	D	C	A	生	物	建	M	E	D	C	A	生	物	建	M	E	D	C	A	生	物	建								
15	6	14	18	12	6	1	1	12	12	8	19	14	1	1	1	1	21	5	12	13	11	3	0	0	15	9	11	19	15	3	1	0	14	10	8	18	14	2	1	0

(3) 進学率＝進学者数÷進学希望者数

学科・専攻名 進学率 (%)	平成21年度					平成22年度					平成23年度					平成24年度					平成25年度																			
	進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程			進学上課程		専攻科課程																	
	M	E	D	C	A	生	物	建	M	E	D	C	A	生	物	建	M	E	D	C	A	生	物	建	M	E	D	C	A	生	物	建								
0.938	0.857	0.933	0.9	0.9	1	1	1	1	1	1	0.889	0.95	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.846	0.75		1	1	0.917	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※ 学科・専攻名の略称
 「M」＝機械工学科
 「E」＝電気情報工学科
 「D」＝電子制御学科
 「C」＝物産工学科
 「A」＝建築学科
 「生」＝生涯システム工学専攻
 「物」＝物質工学専攻
 「建」＝建築学専攻

資料6-1-③-1

(出典 進路実績票)

資料6-1-③-1

4. 卒業（修了）者の進学先（平成25年度）

平成26年4月1日現在

(1) 卒業者の進学先（平成25年度）

大学・高等専門学校名	学部・専攻科名	学科・課程名	進学者数
東北大学	工学部	機械知能・航空工学科	1
千葉大学	工学部	機械工学科	1
	工学部	電気電子工学科	1
東京農工大学	工学部	化学システム工学科	2
	工学部	応用分子化学科	
お茶の水女子大学	理学部	化学科	1
山梨大学	工学部	電気電子工学科	1
豊橋技術科学大学		機械工学課程	2
		電気・電子情報課程	3
		環境・生命工学課程	1
		建築・都市システム学系	3
京都工芸繊維大学	工芸科学部	物質工学課程	2
	工芸科学部	造形科学領域	
島根大学	綜合理工学部	物質科学科（物理系）	1
岡山大学	理学部	化学科	1
	理学部	生物学科	1
	理学部	地球科学科	1
	工学部	化学生命系学科	2
山口大学	工学部	電気電子工学科	1
徳島大学	工学部	化学応用工学科	1
高知工科大学	環境理工学部		1
九州工業大学	情報工学部	知能情報工学科	2
	情報工学部	システム創成情報工学科	
大分大学	工学部	福祉環境工学科建築コース	1
琉球大学	工学部	電気電子工学科	1
岡山県立大学		デザイン工学科建築・都市デザイ	1
立命館大学	理工学部	電子情報工学科	2
	理工学部	建築都市デザイン学科	
流通科学大学	商学部		1
就実大学	薬学部	薬学科	1
東京高専専攻科	物質工学専攻		1
米子高専専攻科	生産システム工学専攻		12
	物質工学専攻		3
	建築学専攻		6
大学編入学者計			36
専攻科進学者計			22
総計			58

(2) 修了者の進学先（平成25年度）

大学名	研究科名	専攻名	進学者数
豊橋技術科学大学	大学院工学研究科		1
奈良先端科学技術大学院大学	物質創成科学研究科		1
九州工業大学	大学院生命体工学研究科		1
総計			3

(出典 進路実績票)

資料6-1-③-2

3 平成25年度求人及び進路状況

	卒業者数	就職者数	進学者数	その他	求人数	求人倍率
機械工学科	38 ①	21	14	3 ①	455	21.7
電気情報工学科	39 (3) ②	28 (2) ①	10 (1) ①	1	481	17.2
電子制御工学科	28 (3)	20 (3)	8		408	20.4
物質工学科	45(17) ③	25(10)	18 (5) ③	2 (2)	185	6.9
建築学科	31(14)	17 (5)	14 (9)		229	13.5
計	181(37) ⑥	111(20) ①	64(15) ④	6 (2) ①	1,758	15.6

	修了者数	就職者数	進学者数	その他	求人数	求人倍率
専攻科	26 (1)	22 (1)	3	1	1,005	47.9

()は女子内数 ○は外国人留学生内数

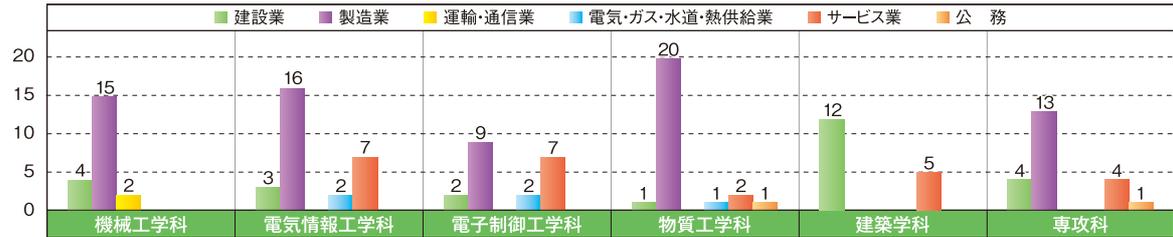
(出典 平成26年度学校要覧 P.34)

Employment and Going to Universities

07 就職及び進学

1 就職状況

平成25年度業種別就職状況



平成25年度 就職先

	機械	電気	電子	物質	建築	専攻科
(建設業)						
(株)新井組	4	3	2	1	12	4
(株)大林組					1	1
奥村組土木興業(株)					1	
(株)三晃空調					1	
高砂熟学工業(株)		1		1		
東洋建設(株)					1	
東急建設(株)					1	
西日本高速道路ファシリティーズ(株)						1
(株)フィディア					1	
富士&古河E&C(株)	1	1	1			
美保テクノス(株)					1	
新日本空調(株)						1
ダイダン(株)					1	
ダイキンエアテクノ(株)	1					
中電プラント(株)	1		1			
東芝プラントシステム(株)						1
JXエンジニアリング(株)	1					
日本オーチス・エレベータ(株)					2	
日立ビルシステム(株)					1	
(株)ベッセルテクノサービス		1				
(製造業)						
オハヨー乳業(株)		1				
サントリーブロダクツ(株)	1	1		1		
(株)澤井珈琲				1		
昭和産業(株)		1				
雪印メグミルク(株)				1		
不二製油(株)		1				
セツカートン(株)		1				
旭化成(株)						1
出光興産(株)		1		1		
宇部興産(株)				1		
(株)エースバック鳥取倉吉工場		1				
戎屋化学工業(株)				1		
花王(株)	1					
KBツツキ(株)						1
榎東石油工業合同会社				1		
住友精化(株)				1		
JX日鉱日石エネルギー(株)川崎製造所				1		
JX日鉱日石エネルギー(株)水島製油所				1		
(株)精工				1		
第一工業製薬(株)				1		
第一三共ケミカルファーマ(株)				1		
東亜石油(株)				1		
日東電工(株)尾道事業所						1
日本ゴア(株)				1		
日本ゼオン(株)水島工場				1		
三菱化学エンジニアリング(株)			1			
東燃ゼネラル石油(株)			2	1		2
東和薬品(株)		1				
鳥取ピラコステック(株)				1		
ユニチカ(株)				1		
JFEスチール(株)西日本製鉄所	1		1			
日本鋼板工業(株)						1
大島機工(株)	1					
(株)ゴール 米子工場	1					
神鋼テクノ(株)						1
ダイキン工業(株)	1	1	1			

	機械	電気	電子	物質	建築	専攻科
(株)鶴見製作所 米子工場						2
三浦工業(株)	1	1				
(株)名南製作所	1					
(株)モリタ製作所	1					
大和製罐(株)	1					
松江第一精工(株)	1					
日本自動ドア(株)		1				
パナソニック(株)AVCネットワークス社						1
富士電機(株)		1				
日本電産(株)	1					
気高電機(株)		1				1
カネカソーラーテック(株)		1				
ダイヘン産業機器(株)		1				
ジャパンマリンユナイテッド(株)呉事業所	1					
ダイハツ工業(株)	1					
トヨタ自動車(株)			1			
富士重工業(株)						1
マツダ(株)E&T			1			
三菱重工業(株)高砂製作所	1					
三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所			1			
(有)河島農具製作所						1
関西チューブ(株)				1		
キャンオン(株)			1			
(株)東京精密		1				
島根ナカバヤシ(株)松江工場		1				
(運輸・通信業)						
JR西日本旅客鉄道(株)	2	0	0	0	0	0
	2					
(電気・ガス・水道・熱供給業)						
関西電力(株)	0	2	2	1	0	0
中国電力(株)		2	1			
東京ガス(株)			1			
(サービス業)						
(株)アクス	0	7	7	2	5	4
NTTコムテクノロジー			1			
(株)NTTネオमित			1			
(株)NTTファシリティーズ						1
オムロンフィールドエンジニアリング(株)						1
シークス(株)						1
東芝電機サービス(株)		1	2			
ムラテック販売(株)		1				
リコーテクノシステムズ(株)			1			
テラインターナショナル(株)			1			
JFEシビル(株)						1
三機工業(株)						1
CTCテクノロジー(株)		1				
総合警備保障(株)			1			
向洋電機(株)		1				
カラタニエンジニアリング(株)		1				
(株)井セキ中国		1				
(株)ティヴィエム		1				
(株)エム・シーネットワークスジャパン						1
(株)鳥取ワールドカップ						1
(株)俳優座劇場						1
(有)フローレス						1
(株)リンリン						1
(公務)						
島根県庁	0	0	0	1	0	1
鳥取大学						1

(出典 平成26年度学校要覧 P.33)

【取扱注意】

物質工学科	就職・進学先	建築学科	就職・進学先	専攻科	就職・進学先
雪印メグミルク (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	生産システム工学専攻	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科
東亜石油 (株)	日立ビルシステム (株)	日立ビルシステム (株)	日立ビルシステム (株)	就職希望	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科
丸井珈琲 (株)	興村組土木興業 (株)	興村組土木興業 (株)	興村組土木興業 (株)	豊橋技術科学大学 工学部環境工学科・建築コース	日本鋼板工業 (株)
東京農工大学工学部化学システム工学科	大分大学 工学部福祉環境工学科・建築コース	大分大学 工学部福祉環境工学科・建築コース	大分大学 工学部福祉環境工学科・建築コース	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	九州工業大学 大学院 生命体工学研究科
有会社プロレス	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	(株) フィデア	東芝プラントシステム (株)
岡山大学理学部化学科	美保テクノス (株)	美保テクノス (株)	美保テクノス (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	神鋼テクノ (株)
高知工科大学環境理工学部	東洋建設 (株)	東洋建設 (株)	東洋建設 (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	(有) 河島農具製作所
就職希望	JFEシビレ (株)	JFEシビレ (株)	JFEシビレ (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	旭化成 (株)
日本ゴア (株)	ダイダン (株)	ダイダン (株)	ダイダン (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	留学希望
JX日鉱日石エネルギー (株) 川崎製造所	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	(株) 鶴見製作所 米子工場
サントリープロダクツ (株)	岡山県立大学 デザイン工学科建築・都市デザイン領域	岡山県立大学 デザイン工学科建築・都市デザイン領域	岡山県立大学 デザイン工学科建築・都市デザイン領域	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	富士重工 (株)
就職希望	(株) 三晃空調	(株) 三晃空調	(株) 三晃空調	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	パナソニック (株) AVCネットワークス社
岡山大学工学部化学系生命系学科	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	気高電機 (株)
鳥取ビブラテック (株)	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	オムロンワールドエンジニアリング (株)
日本ゼオン (株)	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	東燃ゼネラル石油 (株)
岡山大学理学部生物学科	(株) N T T ファシリティーズ中国	(株) N T T ファシリティーズ中国	(株) N T T ファシリティーズ中国	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	(株) シークス
第一工業製薬 (株)	(株) エム・シー・ネットワークスジャパン	(株) エム・シー・ネットワークスジャパン	(株) エム・シー・ネットワークスジャパン	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	物質工学専攻
(株) アグシス	京都工芸繊維大学 工学部造形科学領域	京都工芸繊維大学 工学部造形科学領域	京都工芸繊維大学 工学部造形科学領域	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	日東電工 (株) 尾道事業所
岡山大学工学部化学系生命系学科	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	KBツツキ (株)
お茶の水女子大学理学部化学科	(株) 俳優座劇場	(株) 俳優座劇場	(株) 俳優座劇場	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	東燃ゼネラル石油 (株)
学部課程 (株)	立命館大学 理工学部建築都市デザイン学科	立命館大学 理工学部建築都市デザイン学科	立命館大学 理工学部建築都市デザイン学科	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科
米子高専専攻科物質工学専攻	(株) 大林組	(株) 大林組	(株) 大林組	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	建築学専攻
(株) 精工	日本オーチス・エレベータ (株)	日本オーチス・エレベータ (株)	日本オーチス・エレベータ (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	西日本高速道路フアシリティアーズ (株)
関西電力 (株)	流通科学大学 商学部	流通科学大学 商学部	流通科学大学 商学部	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	新日本空調 (株)
鳥取大学医学部非常勤職員	(株) リンリン	(株) リンリン	(株) リンリン	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	島根県 (株) 大林組
ユニチカ (株)	東急建設 (株)	東急建設 (株)	東急建設 (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	三機工業 (株)
住友精化 (株)	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
体学	(株) 新井組	(株) 新井組	(株) 新井組	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
東京農工大学工学部応用分子化学科	日本オーチス・エレベータ (株)	日本オーチス・エレベータ (株)	日本オーチス・エレベータ (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
米子高専専攻科物質工学専攻	流通科学大学 商学部	流通科学大学 商学部	流通科学大学 商学部	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
関西チュウブ (株)	(株) リンリン	(株) リンリン	(株) リンリン	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
JX日鉱日石エネルギー (株) 水島製油所	東急建設 (株)	東急建設 (株)	東急建設 (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
就職希望	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
高砂熱学工業 (株)	(株) 新井組	(株) 新井組	(株) 新井組	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
第一三共ケミカルフアーマ (株)	日本オーチス・エレベータ (株)	日本オーチス・エレベータ (株)	日本オーチス・エレベータ (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
丸屋化学工業 (株)	流通科学大学 商学部	流通科学大学 商学部	流通科学大学 商学部	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
米子高専専攻科物質工学専攻	(株) リンリン	(株) リンリン	(株) リンリン	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
京都工芸繊維大学工学部物質工学課程	東急建設 (株)	東急建設 (株)	東急建設 (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
東燃ゼネラル石油 (株)	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
出光興産 (株)	(株) 新井組	(株) 新井組	(株) 新井組	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
岡山大学理学部地球科学科	日本オーチス・エレベータ (株)	日本オーチス・エレベータ (株)	日本オーチス・エレベータ (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
極東石油工業合同会社	流通科学大学 商学部	流通科学大学 商学部	流通科学大学 商学部	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
徳島大学工学部応用工学科	(株) リンリン	(株) リンリン	(株) リンリン	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
豊橋技術科学大学工学部環境・生命工学課程	東急建設 (株)	東急建設 (株)	東急建設 (株)	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
東京工業高等専門学校専攻科	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	米子高専専攻科建築学専攻	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	
米子高専専攻科物質工学専攻	(株) 新井組	(株) 新井組	(株) 新井組	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	

2014. 2. 25現在

(出典 平成 26 年 3 月 5 日 教員会議資料)

平成25年度進路先一覧

【取扱注意】

機械工学科	就職・進路先	電気情報工学科	就職・進路先	電子制御工学科	就職・進路先
	日本電産(株)		㈱アイエイエム		東京ガス(株)
	(株)モリタ製作所		不二製油㈱		立命館大学理工学部電子情報工学科
	JXエンジニアリング(株)		㈱キセキ中国		総合警備保障(株)
	米子高専 専攻科 生産システム工学専攻		日本自動車ア㈱		富士古河E&C(株)
	米子高専 専攻科 生産システム工学専攻		ダイハイン産業機器㈱		YMC&A米子医療福祉専門学校 理学療法士科
	富士古河E&C(株)		カラタニエニジニアリング㈱		東燃ゼネラル石油(株)
	ダイハツ工業(株)		ダイキン工業㈱		ダイキン工業(株)
	三菱重工(株)高砂製作所		カネカソーラーテック㈱		キヤノン(株)
	米子高専 専攻科 生産システム工学専攻		東芝電機サービス㈱		九州工業大学情報工学部知能情報工学科
	ダイキン工業(株)		豊橋技術大 電気・電子情報課程		
	(株)ゴール米子工場		富士古河E&C㈱		トヨタ自動車(株)
	ダイキンエアテック(株)		琉球大学 工学部電気電子工学科		NTTコムテック/ロジエ(株)
	米子高専 専攻科 生産システム工学専攻		ベッセルテックノサービス㈱		九州工業大学情報工学部システム創成情報工学科
	JFEスチール(株)西日本製鉄所		オハヨー乳業㈱		(株)NTTネオメイト
	(株)名南製作所		気高電機㈱		東芝電機サービス(株)
	米子高専 専攻科 生産システム工学専攻		出光興産㈱		米子高専 専攻科 生産システム工学専攻
	就職希望		昭和産業㈱		中国電力(株)
	豊橋技術科学大学 機械工学課程		向洋電機㈱		三菱重工(株)名古屋航空宇宙システム製作所
	松江第一精工(株)		進学希望		山口大学工学部電気電子工学科
	千葉大学 工学部 機械工学科		セツンカーボン㈱		山梨大学工学部電気電子工学科
	進学希望		豊橋技術大 電気・電子情報課程		中電プラント(株)
	三浦工業(株)		CTCテックノロジエ㈱		リコーテックノシステムズ(株)
	米子高専 専攻科 生産システム工学専攻		三浦工業㈱		東北大学工学部機械知能・航空工学科
	西日本旅客鉄道(株)		進学希望		三菱化学エンジニアリング(株)
	米子高専 専攻科 生産システム工学専攻		ムラテック販売㈱		テラインターナショナル(株)
	米子高専 専攻科 生産システム工学専攻		大阪鶴光専門学校 鉄道サービス科		東芝電機サービス(株)
	大島機工(株)		豊橋技術大 電気・電子情報課程		JFEスチール(株)西日本製鉄所
	西日本旅客鉄道(株)		中国電力㈱		(株)マツダE&T
	ワタナベ・エンターテインメント・カレッジ		島根ナカバヤシ㈱松江工場		東燃ゼネラル石油(株)
	進学希望		中国電力㈱		
	米子高専 専攻科 生産システム工学専攻		東和薬品㈱		
	中電プラント(株)		高砂熱学工業㈱		
	サントリープロダクツ(株)		エースパック㈱鳥取倉吉工場		
	豊橋技術科学大学 機械工学課程		富士電機㈱		
	花王(株)		米子高専 専攻科 生産システム専攻		
	進学希望		米子高専 専攻科 生産システム専攻		
	ジャパンマリンユニオンアイテッド(株) 呉事業所		㈱東京精密		
	大和製罐(株)		千葉大学 工学部電気電子工学科		
			島根大学 総合理工学部物質科学科(物理系)		

(出典 平成26年3月5日 教員会議資料)

基準6-1-③-4

2014.2.25現在

2 進学状況

大学等への編入

学校名	年度				
	22	23	24	25	26
東北大学					1
茨城大学	1	1			
筑波大学				1	
埼玉大学		1	1		
千葉大学	1	2	3	4	2
横浜国立大学				1	
東京大学	1				
東京農工大学		1	1		2
お茶の水女子大学					1
長岡技術科学大学	2		2	1	
福井大学	1		1		
山梨大学	1			1	1
信州大学	1		1	1	
静岡大学		1			
豊橋技術科学大学	3	2	4	3	9
金沢大学				1	
三重大学	1			3	
京都工芸繊維大学	2			1	2
大阪大学	1	1			
神戸大学				3	
奈良女子大学			1	2	
和歌山大学				1	
島根大学	4	5	3	2	1
岡山大学	4	2	5	3	5
広島大学	3	1		1	
山口大学				1	1
徳島大学	2	1	4	2	1
香川大学		1			
愛媛大学	1	2			
高知大学	1				
高知工科大学					1
九州大学		2	1		
九州工業大学	3	3	2	2	2
佐賀大学	1	1		1	
大分大学			1	1	1
熊本大学			1	1	
宮崎大学		1			
鹿児島大学			3		
琉球大学					1
大阪市立大学		1			
岡山県立大学					1
鳥取環境大学				1	
東京都立大学		1			
武蔵野美術大学		1			
創価大学			1		
立命館大学				1	2
京都造形芸術大学		1			
神戸芸術工科大学		1			
流通科学大学					1
就実大学				1	1
東京高専専攻科					1
呉高専専攻科		1			
米子高専専攻科	30	25	27	26	21
計	64	59	62	66	58

大学院入学

学校名	年度				
	22	23	24	25	26
長岡技術科学大学	2	1	1	3	
豊橋技術科学大学	1				1
奈良先端科学技術大学院大学	1				1
岡山大学	1	1	2		
広島大学		1			
徳島大学	1				
九州大学				1	
九州工業大学	2				1
計	8	3	3	4	3



進路資料室

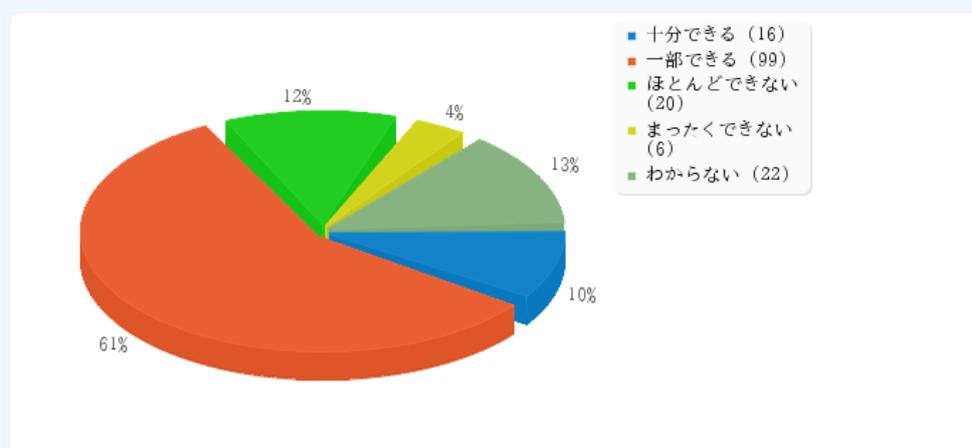
(出典 平成 26 年度学校要覧 P. 34)

資料6-1-④-1

5001 フィールドの概要

【問11】あなたは、学び習得した知識を適切に表現し、活用することができますか？

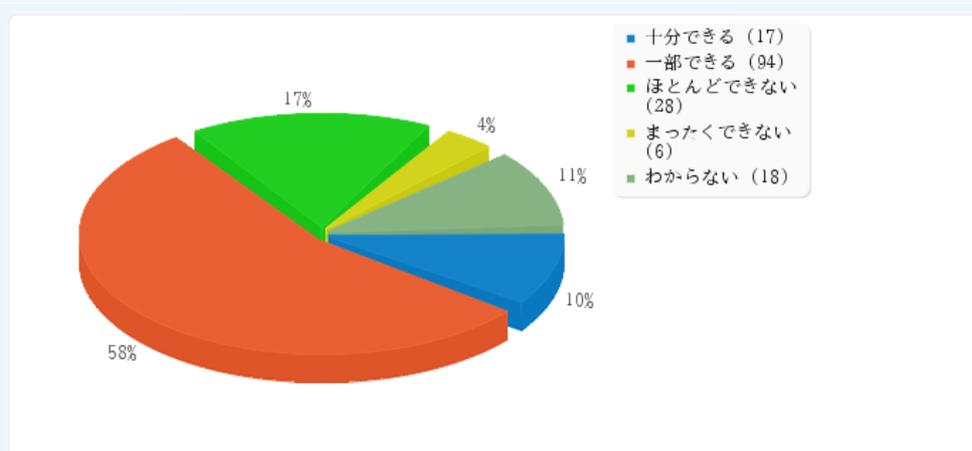
回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	16	9.82%
一部できる (A2)	99	60.74%
ほとんどできない (A3)	20	12.27%
まったくできない (A4)	6	3.68%
わからない (A5)	22	13.50%
わからない	0	0.00%



5002 フィールドの概要

【問12】あなたは、実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができますか？

回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	17	10.43%
一部できる (A2)	94	57.67%
ほとんどできない (A3)	28	17.18%
まったくできない (A4)	6	3.68%
わからない (A5)	18	11.04%
わからない	0	0.00%



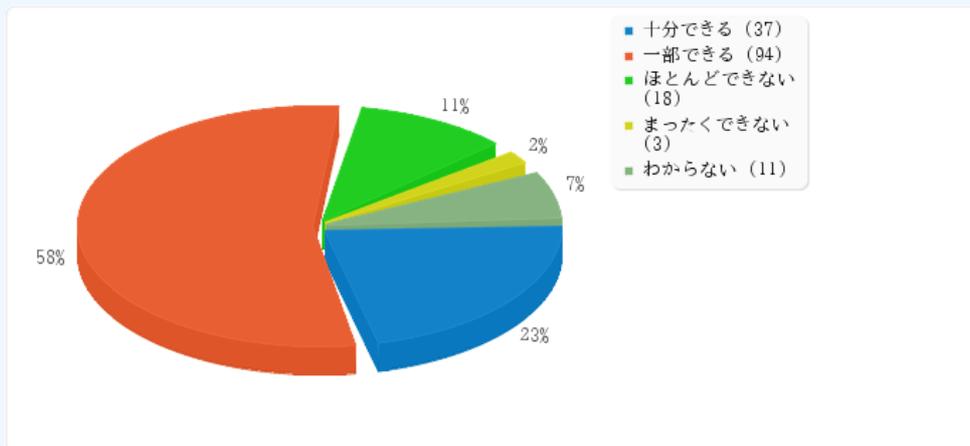
(出典 企画部平成25年度学生アンケート結果 準学士課程卒業予定者)

資料6-1-④-1

5003 フィールドの概要

【問13】あなたは、関心のある分野について継続的に学習していくことができるようになったと思いますか？

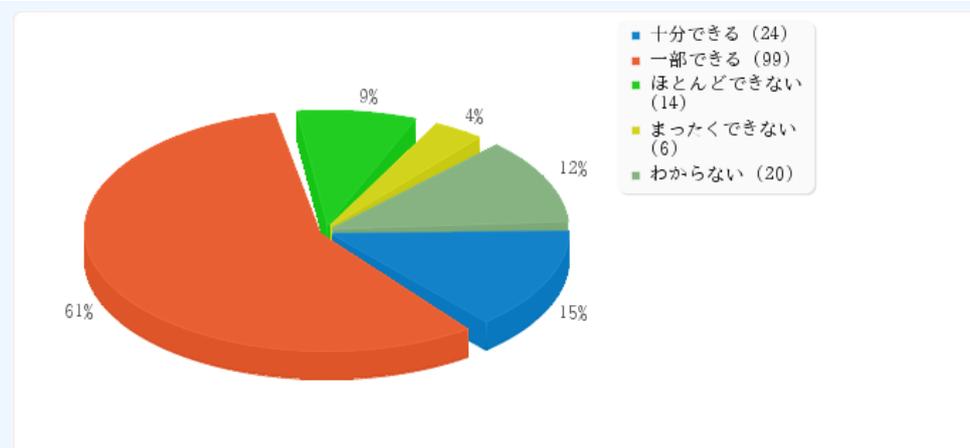
回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	37	22.70%
一部できる (A2)	94	57.67%
ほとんどできない (A3)	18	11.04%
まったくできない (A4)	3	1.84%
わからない (A5)	11	6.75%
わからない	0	0.00%



5004 フィールドの概要

【問14】あなたは、地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができるようになったと思いますか？

回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	24	14.72%
一部できる (A2)	99	60.74%
ほとんどできない (A3)	14	8.59%
まったくできない (A4)	6	3.68%
わからない (A5)	20	12.27%
わからない	0	0.00%



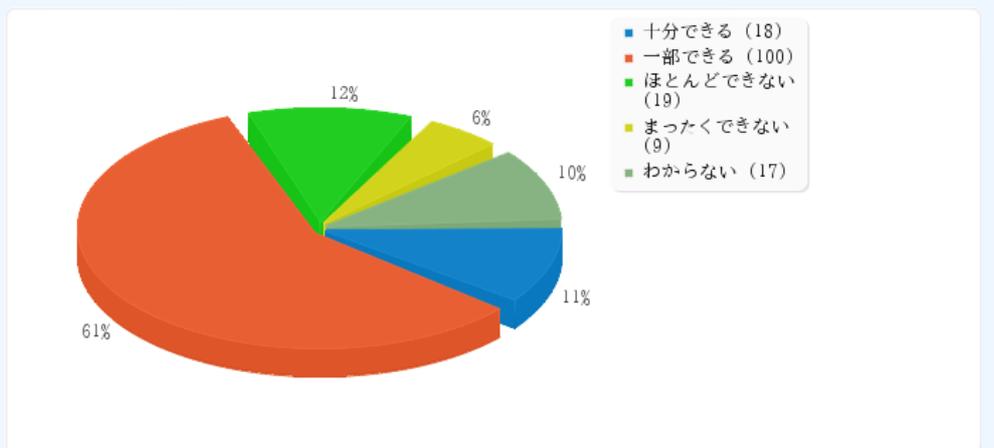
(出典 企画部平成25年度学生アンケート結果 準学士課程卒業予定者)

資料6-1-④-1

5005 フィールドの概要

【問15】あなたは、日本語及び英語の資料等を読み、適切に理解することができるようになりましたか？

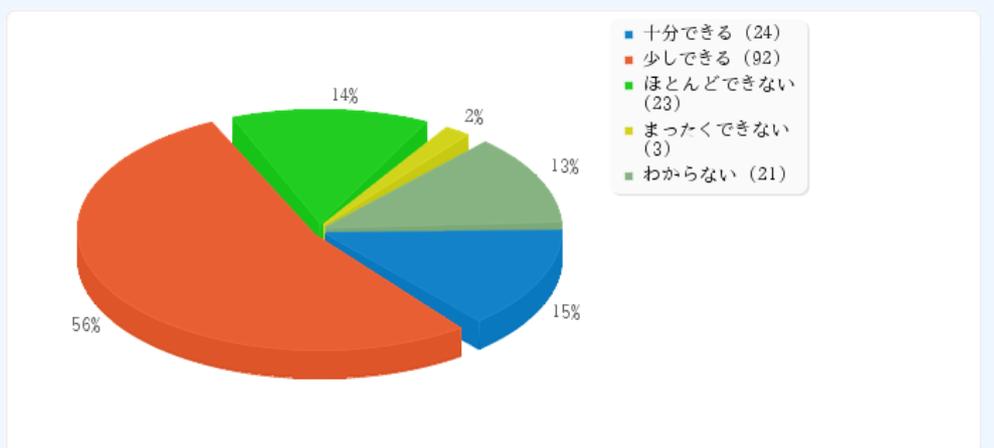
回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	18	11.04%
一部できる (A2)	100	61.35%
ほとんどできない (A3)	19	11.66%
まったくできない (A4)	9	5.52%
わからない (A5)	17	10.43%
わからない	0	0.00%



5006 フィールドの概要

【問16】あなたは、自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができるようになりましたか？

回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	24	14.72%
少しできる (A2)	92	56.44%
ほとんどできない (A3)	23	14.11%
まったくできない (A4)	3	1.84%
わからない (A5)	21	12.88%
わからない	0	0.00%



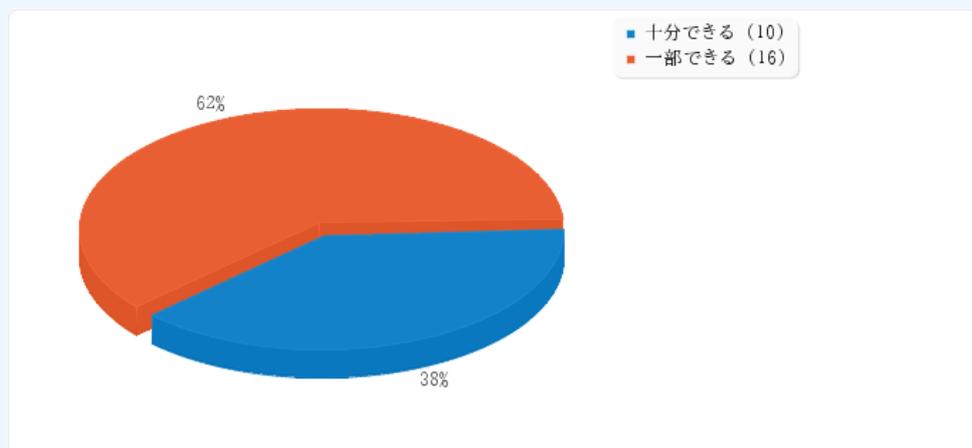
(出典 企画部平成25年度学生アンケート結果 準学士課程卒業予定者)

資料6-1-④-2

7001 フィールドの概要

【問14】あなたは、工学に関する様々な問題等を自ら発見することができるようになったと思いますか？

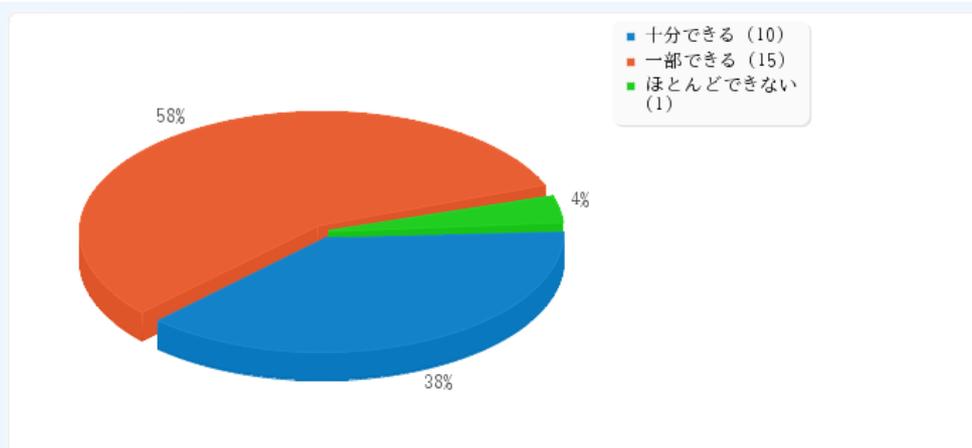
回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	10	38.46%
一部できる (A2)	16	61.54%
ほとんどできない (A3)	0	0.00%
まったくできない (A4)	0	0.00%
わからない (A5)	0	0.00%
わからない	0	0.00%



7002 フィールドの概要

【問15】あなたは、発見した問題を解析し、自ら設定した行動計画の下で解決することができるようになったと思いますか？

回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	10	38.46%
一部できる (A2)	15	57.69%
ほとんどできない (A3)	1	3.85%
まったくできない (A4)	0	0.00%
わからない (A5)	0	0.00%
わからない	0	0.00%



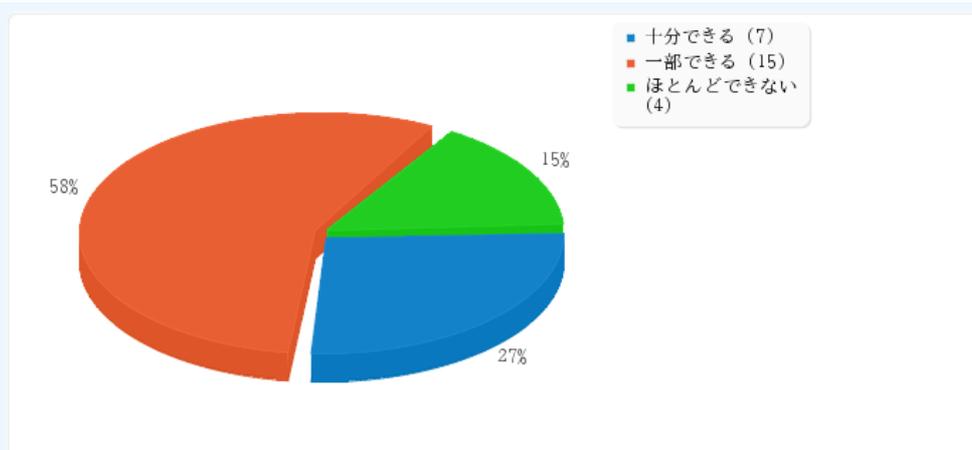
(出典 企画部平成25年度学生アンケート結果 専攻科課程修了予定者)

資料6-1-④-2

7003 フィールドの概要

【問16】あなたは、専門的な英語の文献等を読み、理解することができるようになりましたか？

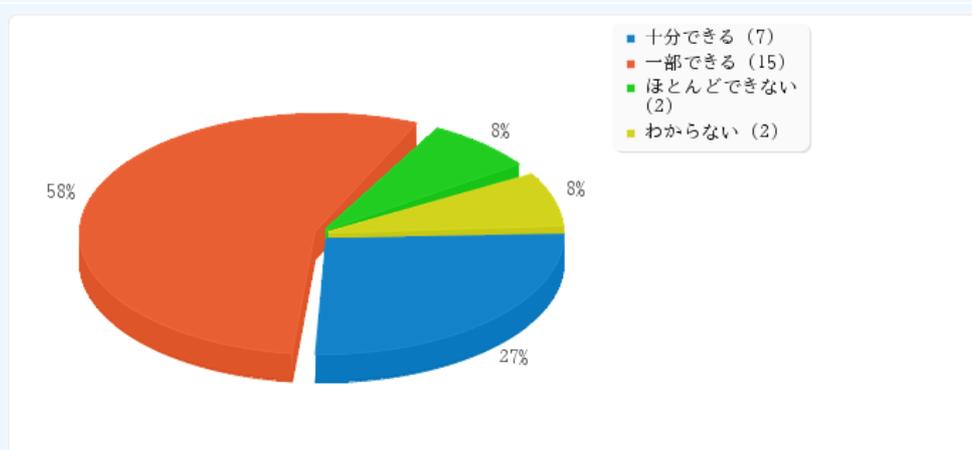
回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	7	26.92%
一部できる (A2)	15	57.69%
ほとんどできない (A3)	4	15.38%
まったくできない (A4)	0	0.00%
わからない (A5)	0	0.00%
わからない	0	0.00%



7004 フィールドの概要

【問17】あなたは、自らの専門的知識・技術及び関連する分野の知識について、時代の進展に対応し、フォローアップすることができるようになったと思いますか？

回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	7	26.92%
一部できる (A2)	15	57.69%
ほとんどできない (A3)	2	7.69%
まったくできない (A4)	0	0.00%
わからない (A5)	2	7.69%
わからない	0	0.00%



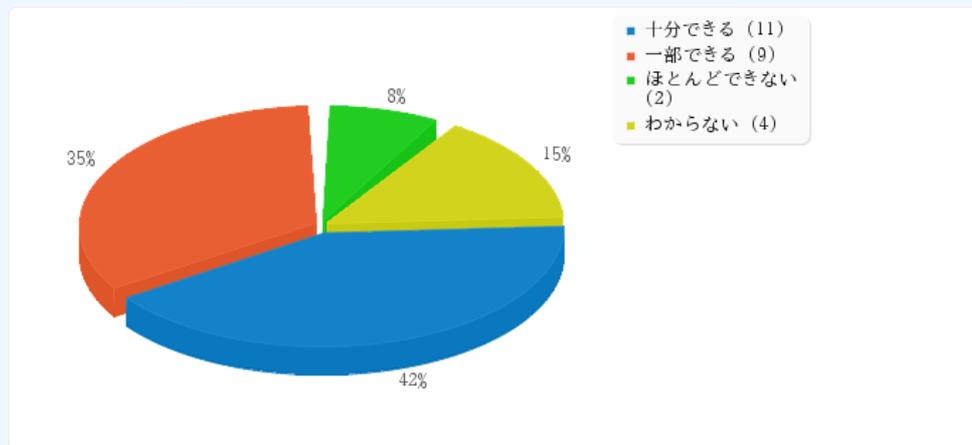
(出典 企画部平成25年度学生アンケート結果 専攻科課程修了予定者)

資料6-1-④-2

7005 フィールドの概要

【問18】あなたは、持続可能な社会を念頭に置きながら、仕事その他の社会生活を送ることができるようになったと思いますか？

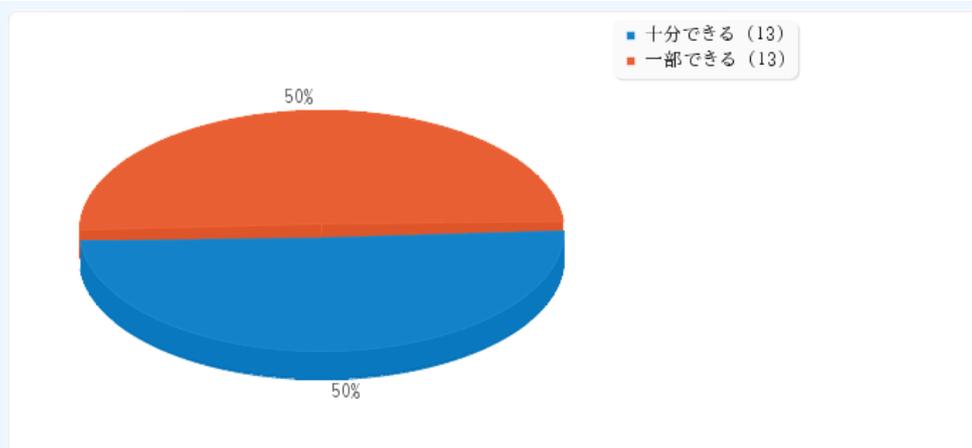
回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	11	42.31%
一部できる (A2)	9	34.62%
ほとんどできない (A3)	2	7.69%
まったくできない (A4)	0	0.00%
わからない (A5)	4	15.38%
わからない	0	0.00%



7006 フィールドの概要

【問19】あなたは、問題解決に向けて、チームの中で自己の意見を述べ、また他者の意見を聞きながら適切に作業を進めることができるようになったと思いますか？

回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	13	50.00%
一部できる (A2)	13	50.00%
ほとんどできない (A3)	0	0.00%
まったくできない (A4)	0	0.00%
わからない (A5)	0	0.00%
わからない	0	0.00%



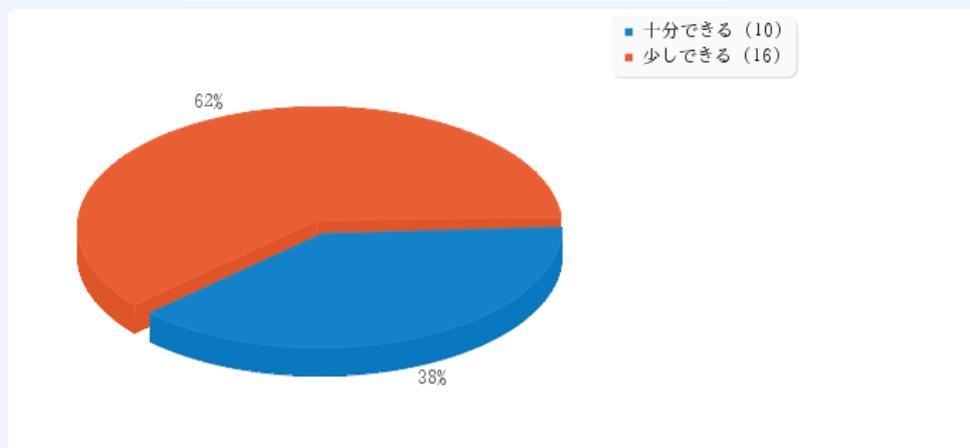
(出典 企画部平成25年度学生アンケート結果 専攻科課程修了予定者)

資料 6 - 1 - ④ - 2

7007 フィールドの概要

【問20】あなたは、専門分野の課題について報告書等を作成し、適切な資料を用いて関係者に分かりやすく説明することができるようになりましたか？

回答	カウント	百分率
十分できる (A1)	10	38.46%
少しできる (A2)	16	61.54%
ほとんどできない (A3)	0	0.00%
まったくできない (A4)	0	0.00%
わからない (A5)	0	0.00%
わからない	0	0.00%

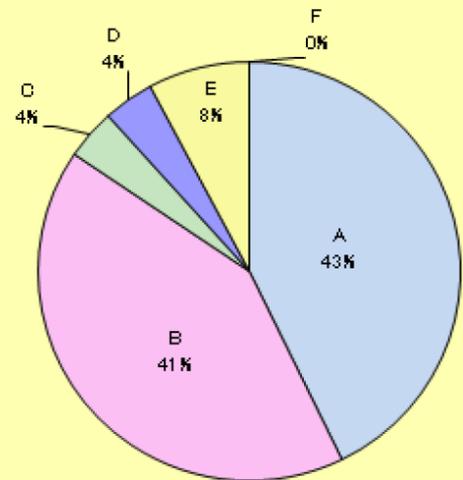


(出典 企画部平成 25 年度学生アンケート結果 専攻科課程修了予定者)

資料6-1-⑤-1

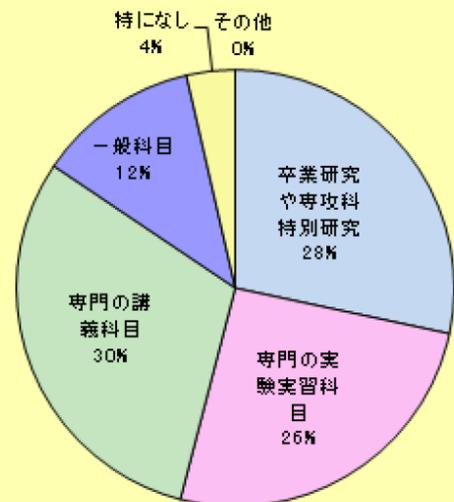
【問8】今の自分にとって高専における準学士課程の5年間一貫教育は意義があったと思いますか。

A	高専在学中もそう感じていたし、今でも意義があったと思う	77
B	高専在学中はそう感じていなかったが、今では意義があったと思う。	75
C	高専在学中はそう感じていたが、今では特に意義があったとは思わない	7
D	高専在学中もそう感じなかったし、今でも特に意義があったとは思わない	7
E	何とも言えない	14
F	その他	0



【問16】[6] 高専在学中に受けた授業の中で、その後の自分に特に役立った科目は何ですか。
(複数回答可)

卒業研究や専攻科特別研究	95
専門の実験実習科目	86
専門の講義科目	102
一般科目	40
特になし	12
その他	0

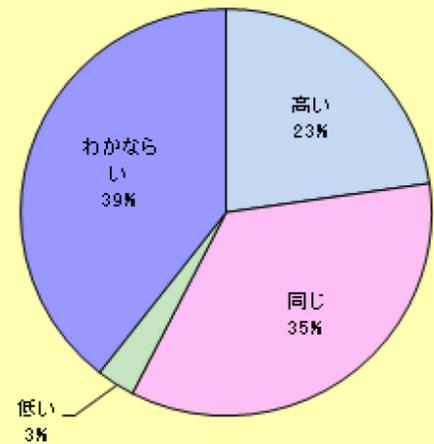


(出典 平成22年度卒業(修了)生アンケート結果)

資料6-1-⑤-2

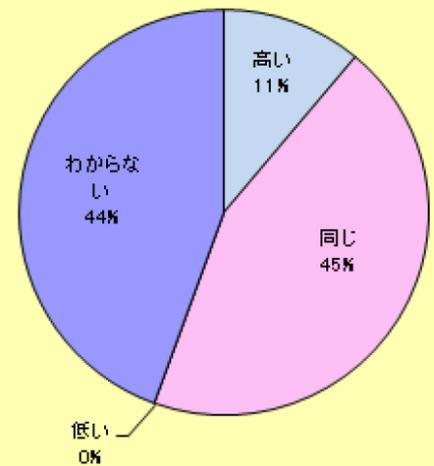
【問18】米子高専本科卒業生の採用2年後の全体的な能力は、大学学士課程卒業生(学部卒)と比較してどのような水準とお感じですか。

高い	15
同じ	23
低い	2
わからない	26



【問25】米子高専専攻科修了生の全般的な能力は、大学学部卒業生と比較してどのような水準であるとお感じですか。

高い	2
同じ	8
低い	0
わからない	8



(出典 平成22年度採用実績のある企業アンケート結果)

平成27年度実施予定 卒業・修了生に対するアンケート

同 卒業生・修了生採用企業向けアンケート 実施計画書(案)

平成26年5月13日 企画部スタッフ会議資料
(平成26年6月4日 認証評価専門部会資料)

米子高専では、卒業(修了)生及び採用実績のある企業に対し、在学時に身に付けた学力や資質・能力等に関する意見聴取として5年毎にアンケートを実施している。今回は平成22年度に実施しており、次回平成27年度実施予定のアンケートについては以下のように計画している。

1) 実施スケジュール

平成26年度中にアンケート内容を決定。平成27年度前期に配布。同後期に回収分析。

2) 実施対象者

卒業・修了生に対するアンケート 平成22-23-24年度卒業・修了生(企業・大学等経験2年以上)
卒業生・修了生採用企業向けアンケート 近年(5年程度)の採用実績のある企業

3) 実施方法

両アンケート共に、紙面郵送及び返送で実施。

送付先データについては同窓会名簿情報、教務・キャリア支援係情報を活用。

4) 卒業・修了生に対するアンケートの設問内容

- ・フェースシート部分(氏名、卒業・修了年度、出身学科・専攻など)
- ・卒業修了後の進路状況(就職、大学編入、専攻科進学、大学院進学など)
- ・現在の状況や職種
- ・在学中の教育に関する満足度など
- ・学習・教育目標A～Eを卒業・修了時にどの程度身につけたか
→企業・大学等でその力は有用だったか(4年制大学生・卒業生との比較も含む)。
- ・達成目標: 準学士課程①～⑥、専攻科課程①～⑦を卒業・修了時にどの程度身につけたか
→企業・大学等でその力は有用だったか(4年制大学生・卒業生との比較も含む)。

5) 卒業生・修了生採用企業向けアンケートの設問内容

- ・フェースシート部分(業種など)
- ・本校卒業生及び修了生の近年(5年程度)の採用実績(人数、出身学科・専攻など)
- ・本校卒業生及び修了生において、学習・教育目標A～Eに相当する力について、どの程度備えているか。十分か(4年制大学生・卒業生との比較も含む)。
- ・本校卒業生及び修了生において、準学士課程①～⑥、専攻科課程①～⑦に相当する力について、どの程度備えているか。十分か(4年制大学生・卒業生との比較も含む)。
- ・今後、養成・充実させてほしい能力としてどのようなものが期待されるか。

(出典 平成26年5月13日 企画部スタッフ会議資料)

資料6-1-⑤-4

平成26年5月30日

米子高専振興協力会会員企業様 各位

国立米子工業高等専門学校
校長 齊藤 正美
校長補佐（企画担当） 大塚 茂
地域共同テクノセンター長 新田 陽一
キャリア支援室長 松本 至

国立米子高専本科卒業生及び専攻科修了生の達成度評価に関わるアンケートへ のご協力をお願い

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。米子高専振興協力会ならびに会員企業の皆様には、本校の教育研究・校外実習・求人について、日頃より多大なるご協力をいただき感謝致しております。

本校では、教育研究を行う基本方針として、別紙1のような本校の目的、教育理念、学習・教育目標、および学生の達成目標をそれぞれ定めた上で、本科5年間、専攻科2年間の教育研究指導を行っております。

このたびご回答をお願いする別紙2のアンケートは、御社にご採用いただいた本校の本科卒業生及び専攻科修了生について、御社からの視点で上記米子高専の達成目標などに基づいた能力をどの程度身に付けていると感じられるか、また今後どのような能力を養成・充実させて欲しいとお考えであるかについて伺うものです。

本校は平成26年度中に大学評価・学位授与機構が実施する高等教育機関としての機関別認証評価の審査と共に、日本技術者教育認定機構(JABEE)が実施する技術者教育の質保証に関する審査も受ける予定です。別紙2のアンケート結果はその折りの重要資料にもなりますので、ご多忙中とは存じますが、ご回答の程よろしくお願い申し上げます。

ご回答いただいたアンケート用紙（別紙2）は、振興協力会総会の出欠届と共に、FAXでご返送ください。

本件に関するご質問などの連絡先
米子高専企画主事補 細田智久（建築学科）
tel 0859-24-5181、email hosoda@yonago-k.ac.jp

（出典 平成26年5月13日 企画部スタッフ会議資料）

別紙1

国立米子工業高等専門学校が掲げる目的、学習・教育目標など

本校の目的

米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）は、教育基本法（昭和22年法律第25号）の精神にのっとり、学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づいて、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

専攻科は、高等専門学校における教育の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する創造性豊かな人材を育成することを目的とする。

教育理念

我が国の将来を担うものづくりの基盤技術を支える創造性に富んだ技術者を養成するため、地域社会と連携し、実験・実習を重視した実践的な技術教育を行う。

養成すべき人材像

本校では、この教育理念に基づき、次のような人材を養成することを目標としています。

- ① 豊かな感性と高い倫理観に裏打ちされた幅広い教養を持つ人材
- ② 専門的知識と技術を活用して、実践的なものづくりを行える人材
- ③ 主体的に問題を発見し、それを解決していく能力を有する人材
- ④ 環境保全も視野に入れて国際的に活動するとともに、地域への貢献が果たせる人材
- ⑤ 幅広い工学知識を複合させ、活用できる人材

学習・教育目標

本校では、上記の人材を養成するため、学生が身につけるべき能力として次の学習・教育目標を定めています。

- A 技術者としての基礎力
- B 持てる知識を使う応用力
- C 社会と自らを高める発展力
- D 地球の一員としての倫理力
- E 社会とかかわるためのコミュニケーション力

達成目標

本校では、上記の学習・教育目標に基づき本科卒業時及び専攻科修了時において、学生が具体的に身に付けるべき能力として次のような達成目標を定めています。【 】内の記号は上記学習・教育目標との対応を示しています。

【本科学生の達成目標】

- ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。【A】
- ② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。【B】
- ③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。【C】
- ④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。【D】
- ⑤ 日本語及び英語の資料等を読み、適切に理解することができる。【E】
- ⑥ 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。【E】

【専攻科学生の達成目標】

- ① 工学に関する様々な問題等を自ら発見することができる。【A】
- ② 発見した問題を解析し、自ら設定した行動計画の下で解決することができる。【B】
- ③ 専門的な英語の文献等を読み、理解することができる。【E】
- ④ 自らの専門的知識・技術及び関連する分野の知識について、時代の進展に対応し、フォローアップすることができる。【C】
- ⑤ 持続可能な社会を念頭に置きながら、仕事その他の社会生活を送ることができる。【D】
- ⑥ 問題解決に向けて、チームの中で自己の意見を述べ、また他者の意見を聞きながら適切に作業を進めることができる。【E】
- ⑦ 専門分野の課題について報告書等を作成し、適切な資料を用いて関係者に分かりやすく説明することができる。【E】

（出典 平成26年5月13日 企画部スタッフ会議資料）

資料6-1-⑤-5

別紙2

国立米子高専本科卒業生及び専攻科修了生が備えている能力に関するアンケート(案)

米子高専振興協力会会員企業の皆様には、本校の教育研究・校外実習・求人について、日頃から多大なご協力をいただき感謝しております。御社にご採用いただいた本科卒業生及び専攻科修了生の備えている能力について、以下をお答えください。

1. 御社の業種

- 製造業 運輸・通信業 電気・ガス・水道業 建設業 サービス業
卸売業 官公庁 その他 ()

2. 御社の米子高専卒業生・修了生の採用実績

本科卒業生の採用実績 あり なし

→ありの場合 近年5年間の合計採用人数 () 人

→ありの場合 4年制大学卒業生と比較して技術的能力は十分でしょうか?
同程度以上 ほぼ同程度 同程度以下

専攻科修了生の採用実績 あり なし

→ありの場合 近年5年間の合計採用人数 () 人

→ありの場合 4年制大学卒業生と比較して技術的能力は十分でしょうか?
同程度以上 ほぼ同程度 同程度以下

自由回答(劣ると思われる能力があれば:)

3. 今後、米子高専学生に養成・充実させてほしい能力としてどのようなものを期待されますか?

自由回答 ()

※以下の質問は、本校卒業生及び修了生の採用実績のある企業の方のみお答えください。

4. 本校では卒業・修了時に備える能力として「学習・教育目標(別紙1参照)」を掲げています。ご採用いただいた卒業・修了生について、以下の力を十分に備えているでしょうか?

- A 技術者としての基礎力 十分備えている やや備えている やや不十分
B 持てる知識を使う応用力 十分備えている やや備えている やや不十分
C 社会と自らを高める発展力 十分備えている やや備えている やや不十分
D 地球の一員としての倫理力 十分備えている やや備えている やや不十分
E 社会とかかわるためのコミュニケーション力
十分備えている やや備えている やや不十分

5. 本校ではさらに卒業・修了時に備えるべき能力として、より具体的な「達成目標(別紙1参照)」も掲げています。

【本科卒業生】ご採用いただいた卒業生について、以下の能力を十分に備えているでしょうか?

- ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。
十分備えている やや備えている やや不十分
② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。
十分備えている やや備えている やや不十分
③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。
十分備えている やや備えている やや不十分
④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。
十分備えている やや備えている やや不十分

※裏面へ

(出典 平成26年5月13日 企画部スタッフ会議資料)

資料6-1-⑤-5

- ⑤ 日本語及び英語の資料等を読み、適切に理解することができる。
十分備えている やや備えている やや不十分
- ⑥ 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。
十分備えている やや備えている やや不十分

【専攻科修了生】ご採用いただいた修了生について、以下の能力を十分に備えているでしょうか？

- ①工学に関する様々な問題等を自ら発見することができる。
十分備えている やや備えている やや不十分
- ②発見した問題を解析し、自ら設定した行動計画の下で解決することができる。
十分備えている やや備えている やや不十分
- ③専門的な英語の文献等を読み、理解することができる。
十分備えている やや備えている やや不十分
- ④自らの専門的知識・技術及び関連する分野の知識について、時代の進展に対応し、フォローアップすることができる。
十分備えている やや備えている やや不十分
- ⑤持続可能な社会を念頭に置きながら、仕事その他の社会生活を送ることができる。
十分備えている やや備えている やや不十分
- ⑥問題解決に向けて、チームの中で自己の意見を述べ、また他者の意見を聞きながら適切に作業を進めることができる。
十分備えている やや備えている やや不十分
- ⑦専門分野の課題について報告書等を作成し、適切な資料を用いて関係者に分かりやすく説明することができる。
十分備えている やや備えている やや不十分

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

(出典 平成26年5月13日 企画部スタッフ会議資料)